

健康に関するアンケート調査 報告書

清須市

目次

I 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1

II 調査結果

1 回答者について	3
1-1 性別	3
1-2 年齢	3
1-3 居住地区	3
1-4 職業	4
1-5 夜勤の有無	4
1-6 家族構成	4
1-7 同居の子ども	5
1-8 身長・体重・BMI	5
1-9 適正体重の認知度	8
2 食生活について	9
2-1 朝食の摂取状況	9
2-2 朝食を食べない理由	11
2-3 きちんとした食事の摂取状況	12
2-4 食事について気をつけていること	13
2-5 適切な食事内容・量の認知度	15
2-6 外食頻度	16
2-7 栄養成分表示の活用	18
2-8 自分の食生活について	19
2-9 食生活の改善意向	20
3 運動について	21
3-1 運動不足の実感度	21
3-2 身体を動かす心がけ	22
3-3 運動習慣	23
3-4 運動をしていない理由	24
3-5 運動習慣の改善意向	26

4	ストレスや休養について	27
4-1	ストレスの感じ方.....	27
4-2	大きなストレスの有無.....	29
4-3	ストレス解消法の有無.....	30
4-4	ストレス解消方法.....	31
4-5	睡眠時間.....	32
4-6	睡眠の充足度.....	33
4-7	疲れの解消度.....	34
4-8	睡眠時の症状.....	35
4-9	生きがい、楽しみ.....	36
4-10	心の相談窓口の認知度.....	37
5	たばこについて	38
5-1	喫煙状況.....	38
5-2	喫煙開始時期.....	40
5-3	受動喫煙への配慮.....	41
5-4	禁煙意向.....	42
5-5	禁煙外来の利用意向.....	42
5-6	禁煙の動機.....	43
5-7	たばこが影響する病気.....	44
6	お酒について	45
6-1	節度ある適度な飲酒の認知度.....	45
6-2	飲酒状況.....	46
6-3	飲酒量.....	47
6-4	節度ある適度な飲酒の実施意向.....	48
7	歯の健康について	49
7-1	残存歯数.....	49
7-2	歯ぐきの異常の有無.....	50
7-3	歯の健康管理.....	51
7-4	歯科医院の受診状況.....	53
7-5	歯科医院の受診理由.....	54
7-6	8020 運動の認知度.....	55
7-7	歯周病の認知度.....	56
8	健康全般について	57
8-1	健康的な生活習慣.....	57
8-2	健康状態.....	59
8-3	健康に関する悩みや不安.....	61
8-4	健康への配慮.....	62

8-5	健康に気をつけるようになったきっかけ	63
8-6	生活習慣病の認知度	64
8-7	生活習慣の改善意向	66
8-8	内臓脂肪症候群の認知度	68
8-9	健診の受診状況	69
8-10	健診結果の活用	71
8-11	がん検診の受診状況	72
8-12	がん検診を受けた項目	74
8-13	健（検）診を受けなかった理由	75
9	行政の取り組み等について	77
9-1	保健事業の利用意向	77
9-2	実施希望の保健事業	79
9-3	行政が力を入れて取り組むべきこと	80
9-4	自由意見	81
10	中学生以下の子どもがいる保護者への質問	82
10-1	子どもの食について気をつけていること	82
10-2	子どもの運動	82
10-3	子どもの生活習慣	83
10-4	家庭内喫煙者の有無	83
10-5	子どもの受動喫煙への配慮	83
10-6	子どもの飲酒	83
10-7	子どもの歯科健診	84
10-8	子どもの様子で気になっていること	84

I 調査概要

1 調査の目的

市民の健康に関する意識や生活習慣等を把握し、市民の健康の保持・増進を目指した「健康日本 21 清須計画」策定の基礎資料を得る目的で実施した。

2 調査の設計

調査地域： 清須市全域
調査対象： 清須市在住の 20 歳以上の男女
サンプル数： 2,000 件
調査方法： 郵送配布、郵送回収
調査時期： 平成 22 年 8 月

3 回収結果

配布数	回収数	有効	無効
2,000	863	862	1
100.0%	43.2%	43.1%	0.1%

※白紙票は無効とした。

4 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。そのためパーセントの合計が 100 にならないこともある。
- (2) 基数となるべき実数は、件数として掲載した。したがって比率は、件数を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をする。そのため、各項目の比率の合計は通常 100%を超える。
- (4) 肥満の判定は、BMI (Body Mass Index) で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会による肥満の判定基準により判定した。この指数は 22 を標準とし、18.5 未満ではやせすぎ、25.0 以上では肥満となる。

計算方法：BMI = 体重 kg / (身長 × 身長) m

やせ	BMI 18.5 未満
正常	BMI 18.5 以上 25.0 未満
肥満	BMI 25.0 以上

(5) 調査結果の中で、愛知県の調査結果と清須市の調査結果との比較を盛り込んでいる設問がある。愛知県の調査の詳細は以下の通りである。

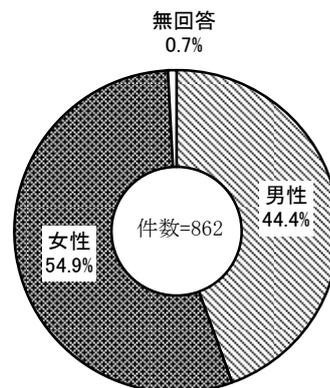
調査名称	平成 21 年度 愛知県生活習慣関連調査
調査地域	愛知県全域
調査対象	県内在住の 16 歳以上の男女
サンプル数	6,455 件
有効回収数 (有効回収率)	3,105 件 (48.1%)
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	平成 21 年 10 月 30 日～11 月 20 日

II 調査結果

1 回答者について

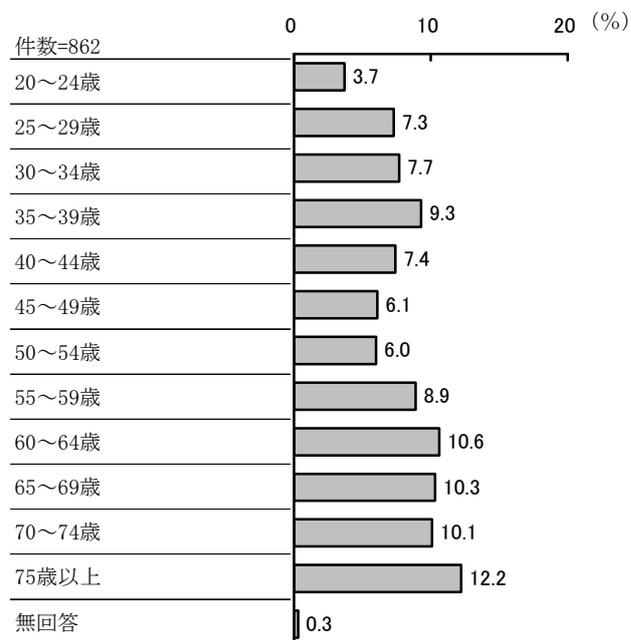
1-1 性別

- 回答者の性別は、「男性」が44.4%、「女性」が54.9%で、女性の割合が高くなっている。



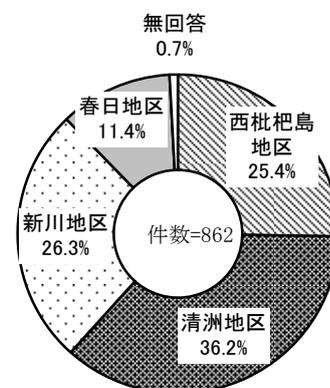
1-2 年齢

- 回答者の年齢は、60歳以上の各項目で1割以上となっており、高年齢層の回答が多くなっている。最も低いのは「20～24歳」で3.7%となっている。



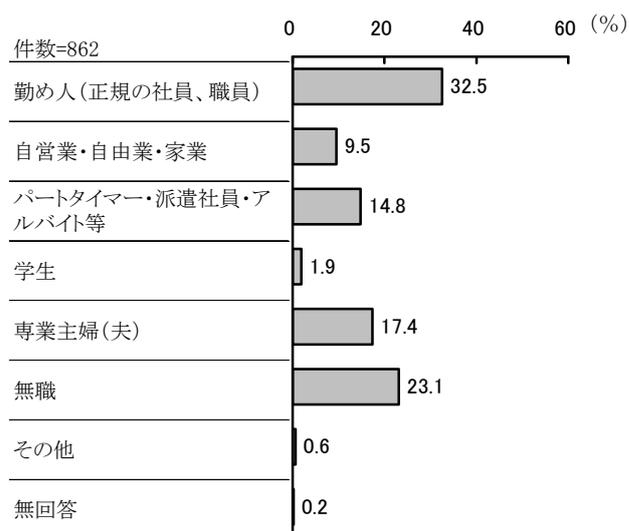
1-3 居住地区

- 居住地区は、「清洲地区」が36.2%で最も高く、次いで「新川地区」が26.3%、「西枇杷島地区」が25.4%、「春日地区」が11.4%となっている。



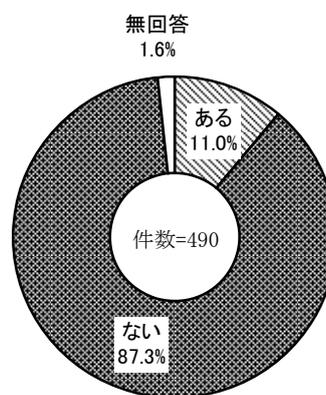
1-4 職業

- 職業は、「勤め人（正規の社員、職員）」が 32.5%で最も高く、次いで「無職」が 23.1%、「専業主婦（夫）」が 17.4%、「パートタイマー・派遣社員・アルバイト等」が 14.8%となっている。



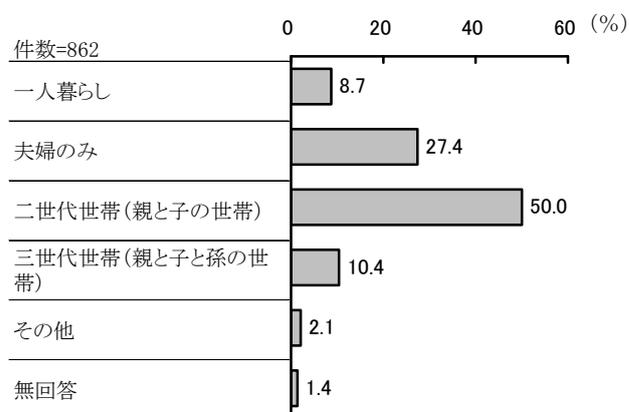
1-5 夜勤の有無

- 「勤め人」「自営業・自由業・家業」「パートタイマー・派遣社員・アルバイト等」と回答した人に夜勤の有無をたずねたところ、「ある」と回答したのは 11.0%で、およそ 9 人に 1 人の割合となっている。



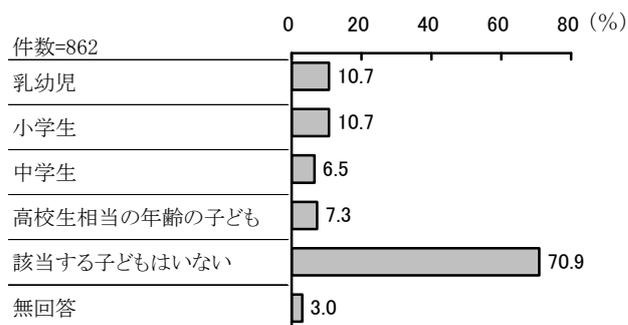
1-6 家族構成

- 家族構成は、「二世世代世帯（親と子の世帯）」が半数を占めている。これに次いで「夫婦のみ」が 27.4%、「三世世代世帯（親と子と孫の世帯）」が 10.4%、「一人暮らし」が 8.7%となっている。



1-7 同居の子ども

- 高校生相当の年齢以下の子どもがいる家庭 ※は 26.1%で、そのうち「乳幼児」「小学生」がいる家庭が約1割となっている。一方、「該当する子どもはいない」は 70.9%を占めている。

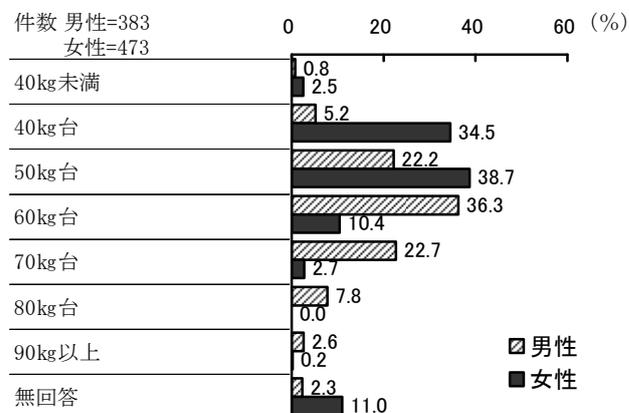
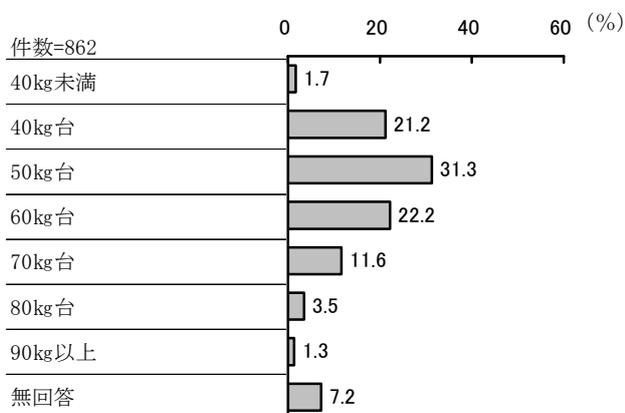


※全体から「該当する子どもはいない」「無回答」を除いた割合

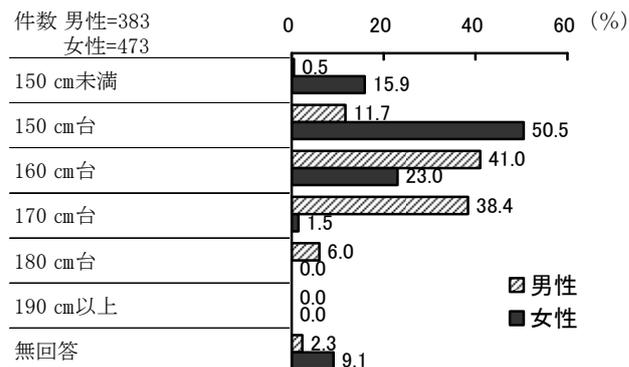
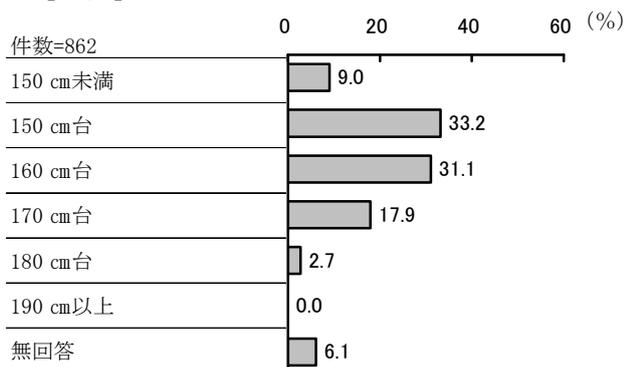
1-8 身長・体重・BMI

- 現在の体重は、男性は「60 kg台」(36.3%)が最も高く、女性は「50 kg台」(38.7%)、「40 kg台」(34.5%)の順に高くなっている。平均体重は、男性が 65.4 kg、女性が 51.8 kgとなっている。
- 身長は、男性は「160 cm台」(41.0%)と「170 cm台」(38.4%)が高く、女性は「150 cm台」(50.5%)が半数を占めている。平均身長は、男性が 168.1 cm、女性が 155.2 cmとなっている。

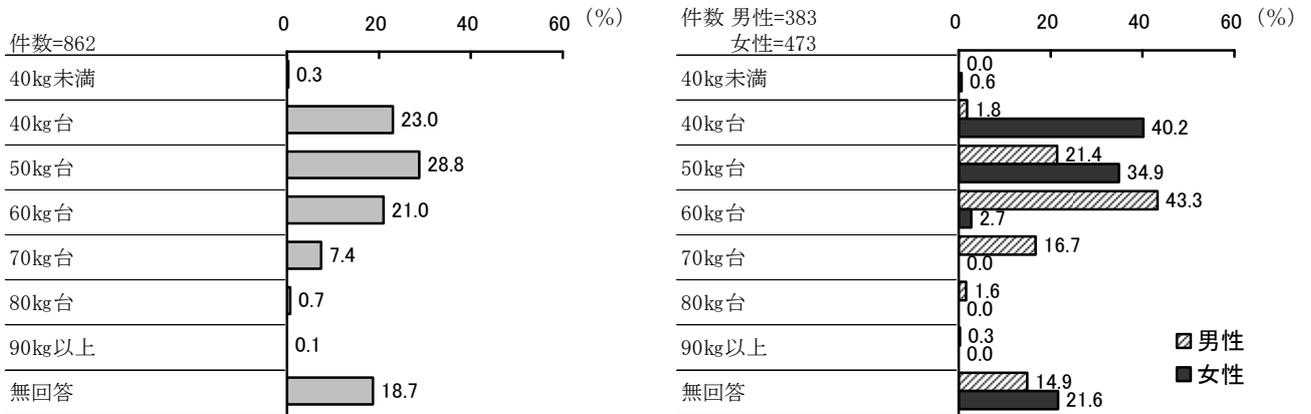
【現在の体重】



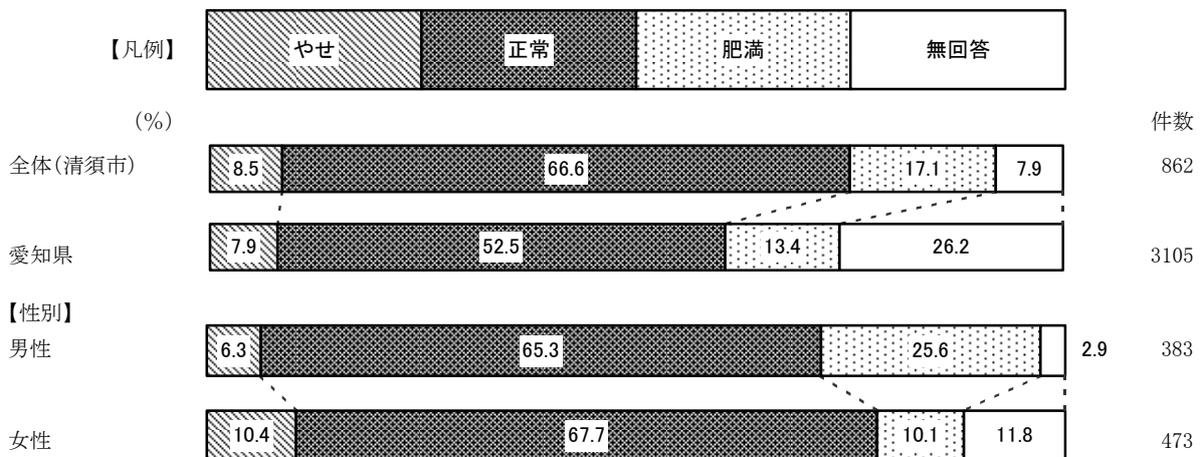
【身長】



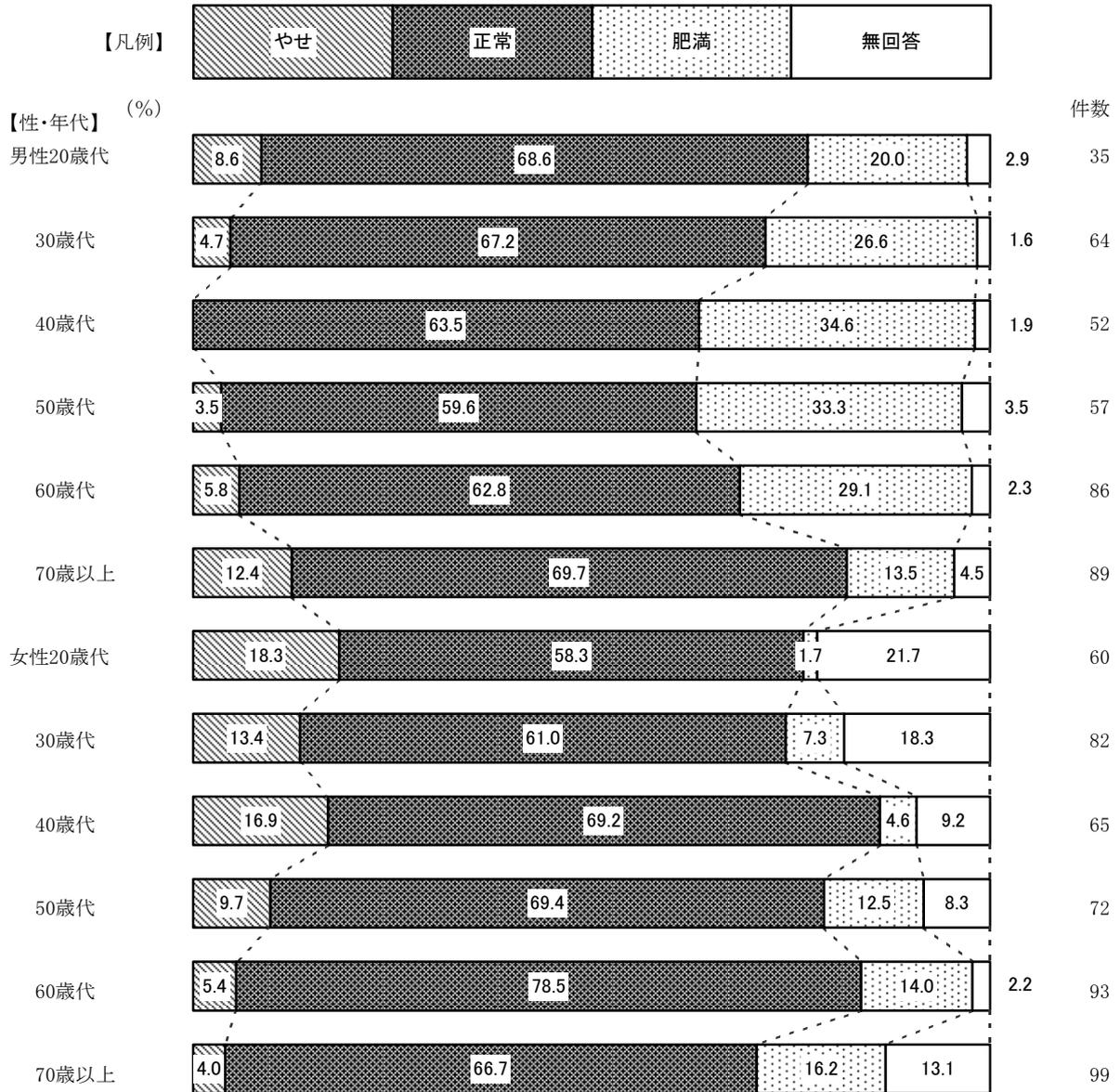
- 理想の体重は、男性は「60 kg台」(43.3%) が最も高く、女性は「40 kg台」(40.2%)、「50 kg台」(34.9%) の順に高くなっている。平均体重は、男性が 62.8 kg、女性が 49.0 kg となっており、現在の平均体重と比べ、男性は 2.6 kg、女性は 2.8 kg 少ない。



- 日本肥満学会の基準で現在のBMIをみると、「正常 (18.5以上25.0未満)」が66.6%で最も高く、次いで「肥満 (25.0以上)」が17.1%、「やせ (18.5未満)」が8.5%となっている。
- 愛知県と比較すると、愛知県のBMI値の平均は22.2、清須市は22.3となっており、大きな差はみられない。
- 性別でみると、「肥満」は男性 (25.6%) の割合が高く、およそ4人に1人の割合となっている。



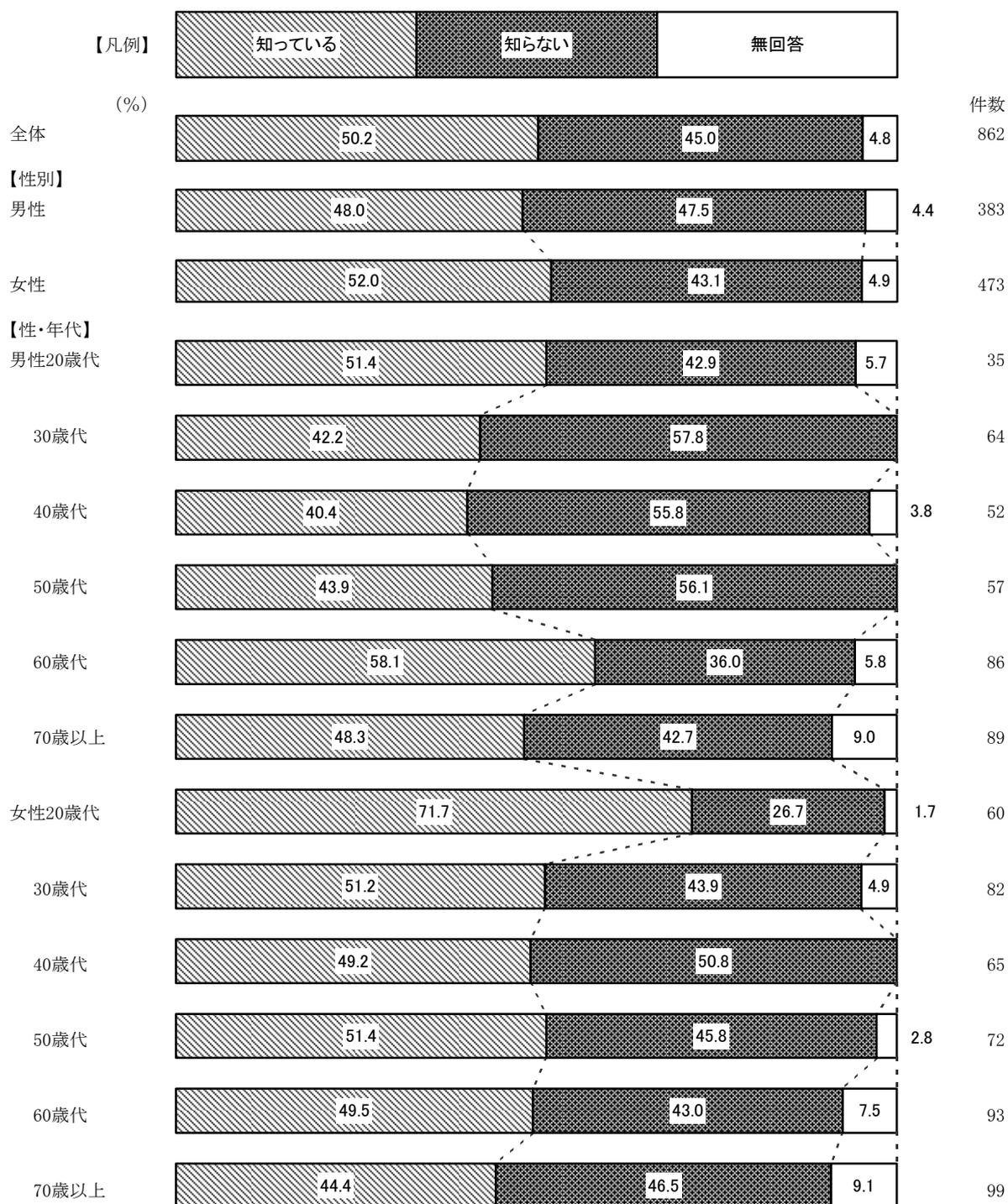
- 性・年代別でみると、「やせ」は女性の20歳代、40歳代の割合が高くなっている。また、「肥満」は男性の30～60歳代が約3割と高くなっている。



1-9 適正体重の認知度

問8 自分の適正体重を知っていますか。

- 適正体重の認知度は、「知っている」が50.2%、「知らない」が45.0%となっている。
- 性別でみると、「知っている」は男性（48.0%）よりも女性（52.0%）の割合が若干高くなっている。
- 性・年代別でみると、「知っている」は女性20歳代（71.7%）の割合が高くなっている。また、「知らない」は男性30～50歳代で高く5割を超えている。



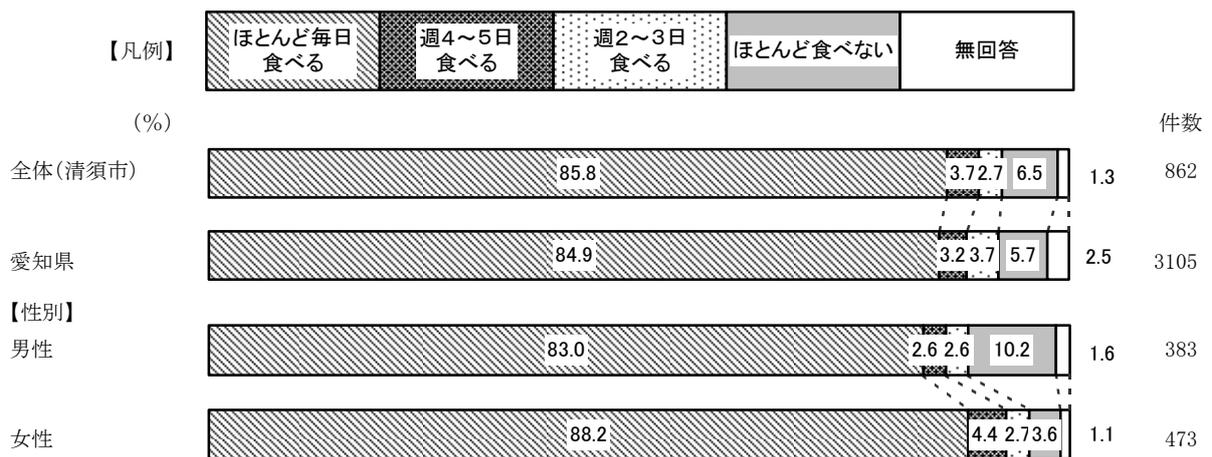
2 食生活について

2-1 朝食の摂取状況

問9 朝食を食べますか。(○は1つ)

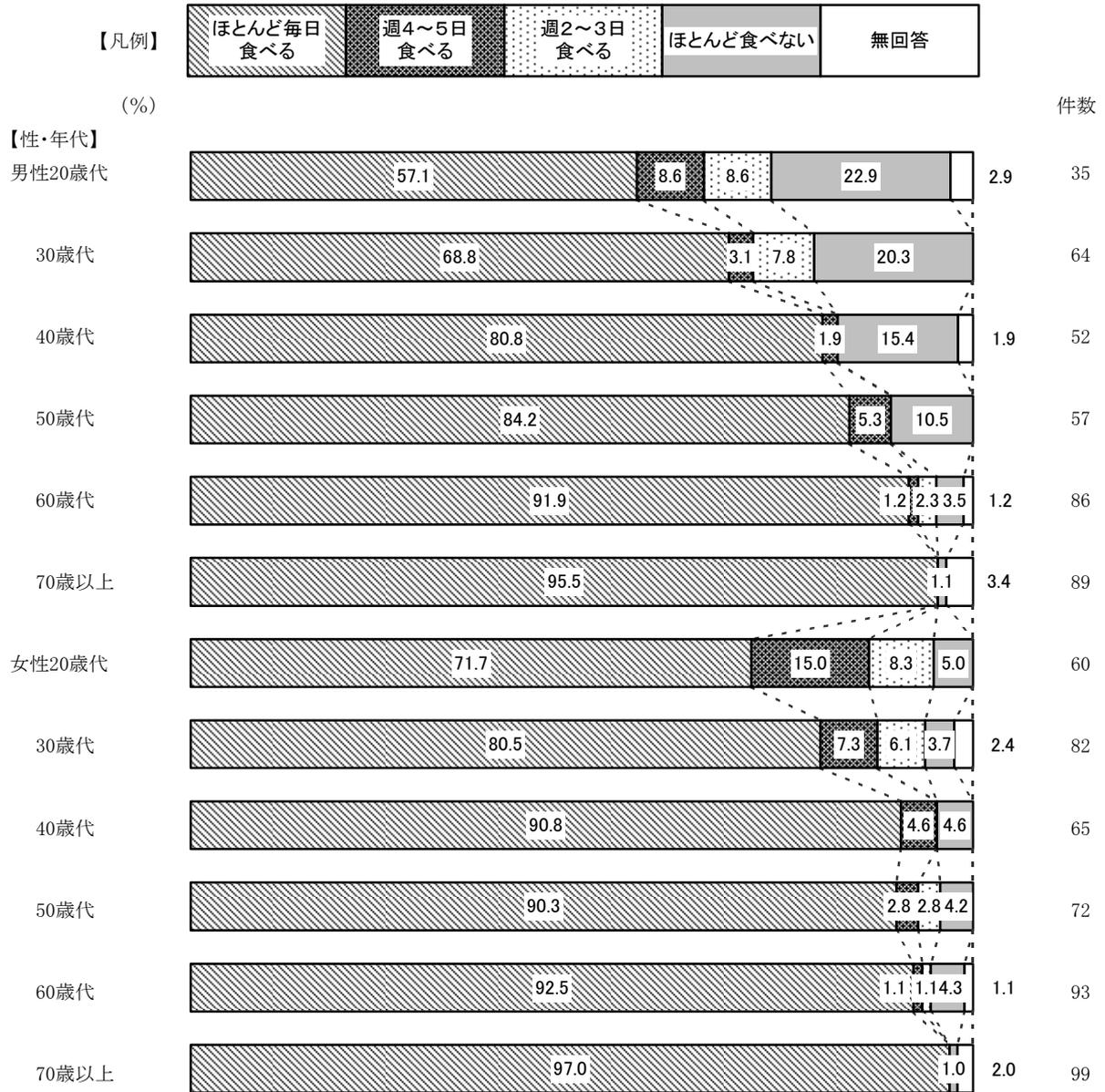
- 朝食の摂取状況は、「ほとんど毎日食べる」が85.8%を占めている。一方、朝食を欠食することがある人※は12.9%となっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別で見ると、「ほとんど食べない」は女性（3.6%）よりも男性（10.2%）の割合が高くなっている。

※「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」の計



- 性・年代別で見ると、欠食することがある人※は男性 20～30 歳代と女性 20 歳代の割合が高くなっている。

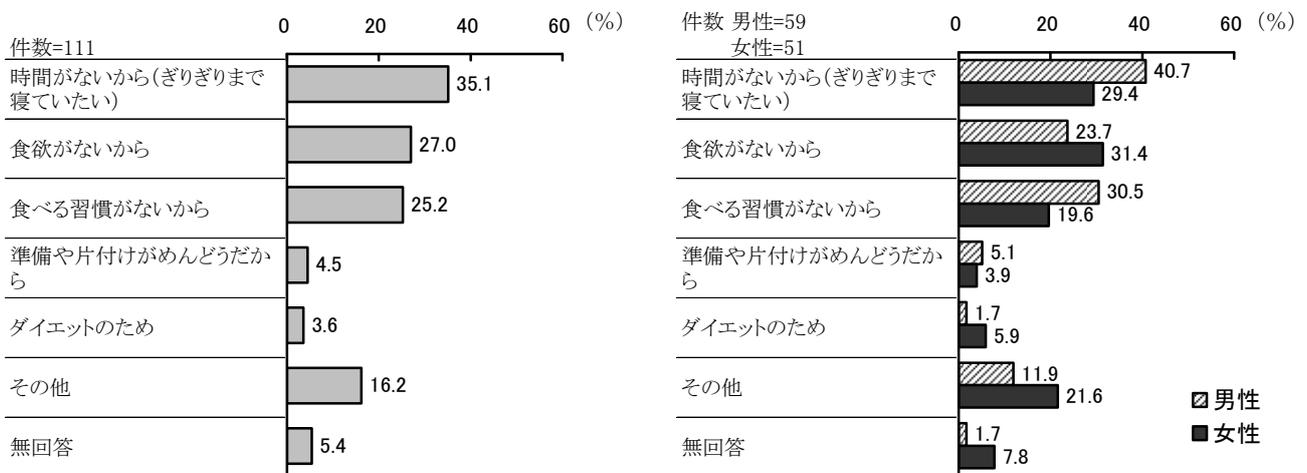
※「週 4～5 日食べる」「週 2～3 日食べる」「ほとんど食べない」の計



2-2 朝食を食べない理由

【問9で「週4～5日食べる」「週2～3日食べる」「ほとんど食べない」と答えた方に伺います】
 問9-1 朝食を毎日食べない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

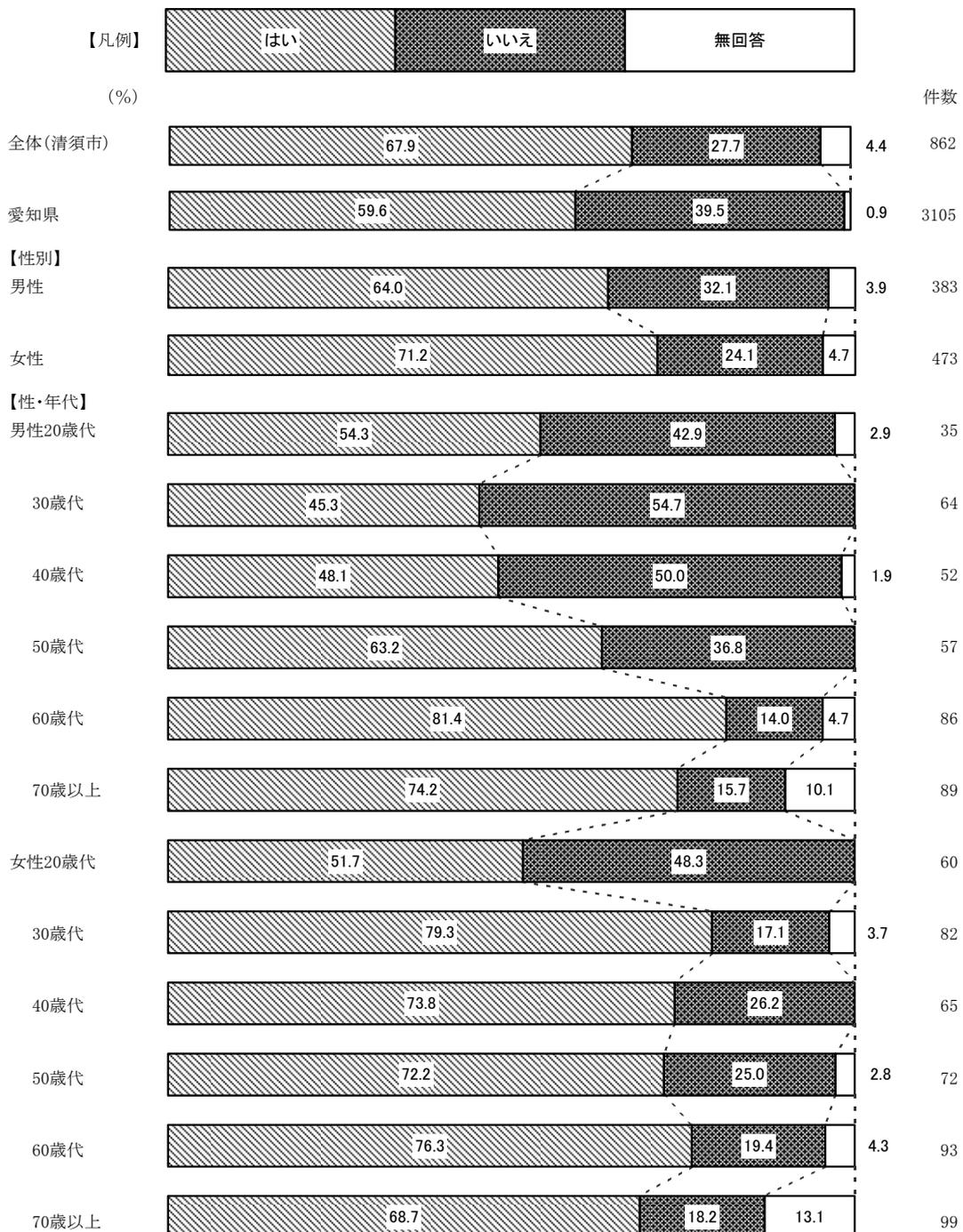
- 朝食を食べない理由は、「時間がないから(ぎりぎりまで寝ていたい)」が35.1%で最も高く、次いで「食欲がないから」(27.0%)、「食べる習慣がないから」(25.2%)が2割台で続いている。
- 性別でみると、「時間がないから(ぎりぎりまで寝ていたい)」「食べる習慣がないから」は男性の割合が高く、「食欲がないから」は女性が高くなっている。



2-3 きちんとした食事の摂取状況

問 10 1日最低1食は、きちんとした食事を家族等2人以上で30分以上かけてとっていますか。
(○は1つ)

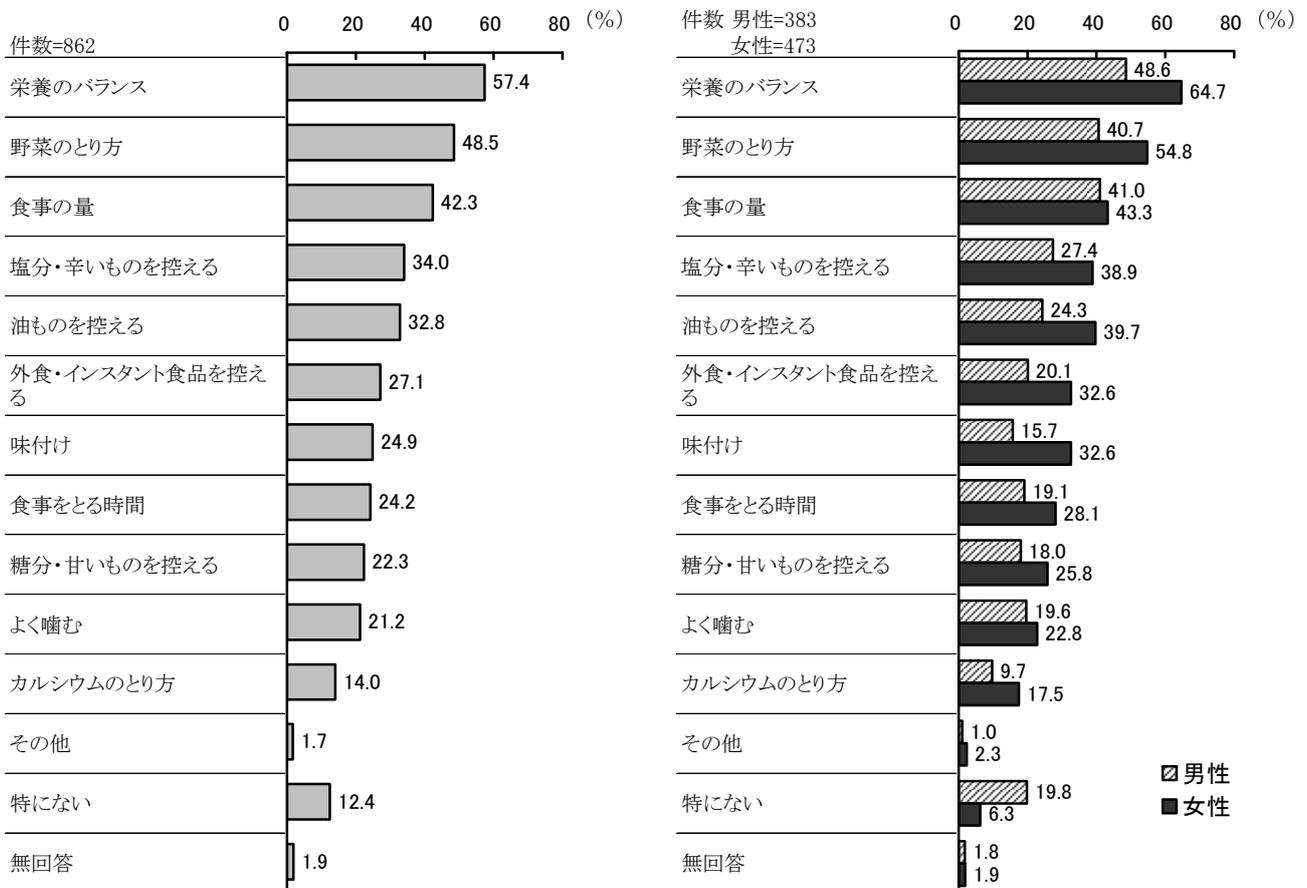
- きちんとした食事を家族等2人以上で30分以上かけてとっているかどうかたずねたところ、「はい(とっている)」が67.9%で、およそ3人に2人の割合となっている。
- 愛知県と比較すると、「はい(とっている)」は8.3ポイント上回っている。
- 性別で見ると、「はい(とっている)」は男性(64.0%)よりも女性(71.2%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「いいえ(とっていない)」は男性20~40歳代と女性20歳代の割合が高く、4割以上となっている。



2-4 食事について気をつけていること

問11 食事について、気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

- 食事について気をつけていることは、「栄養のバランス」が57.4%で最も高く、次いで「野菜のとり方」(48.5%)、「食事の量」(42.3%)が4割台で、「塩分・辛いものを控える」(34.0%)、「油ものを控える」(32.8%)が3割台で続いている。
- 性別でみると、すべての項目で男性よりも女性の割合が高く、特に「栄養のバランス」「油ものを控える」「味付け」は15ポイント以上の差がみられる。また、「特にない」は女性が6.3%であるのに対し、男性は19.8%となっている。



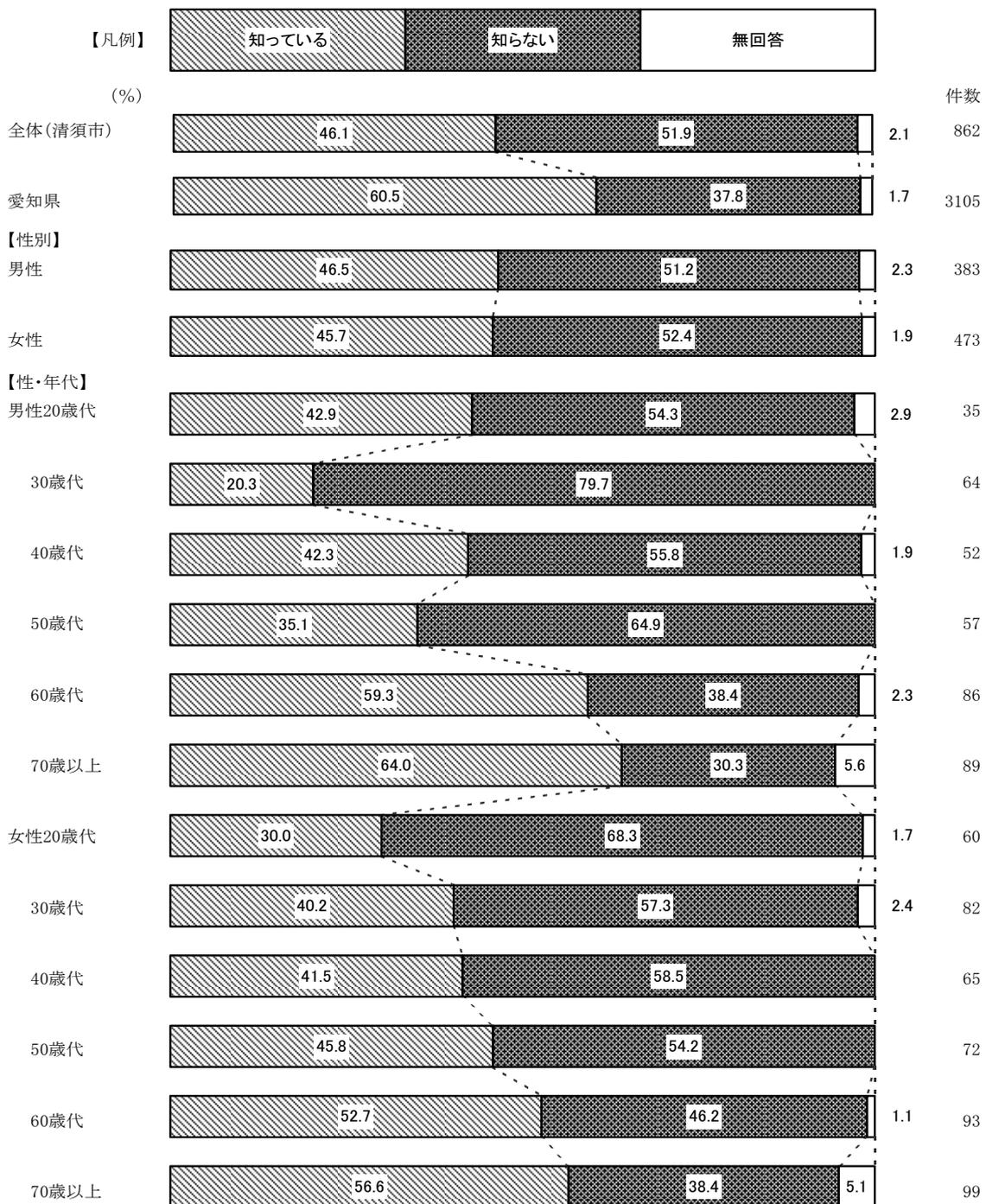
- 性・年代別で見ると、「栄養のバランス」「野菜のとり方」は女性 40 歳代で高く、いずれも 7 割を超えている。また、「塩分・辛いものを控える」「油ものを控える」は女性 60 歳以上で高くなっている。

(%)	件数	栄養のバランス	野菜のとり方	食事の量	塩分・辛いものを控える	油ものを控える	外食・インスタント食品を控える	味付け	食事をとる時間	糖分・甘いものを控える	よく噛む	カルシウムのとり方	その他	特にない	無回答
全体	862	57.4	48.5	42.3	34.0	32.8	27.1	24.9	24.2	22.3	21.2	14.0	1.7	12.4	1.9
男性															
20歳代	35	42.9	40.0	25.7	11.4	14.3	17.1	8.6	20.0	8.6	17.1	11.4	8.6	31.4	2.9
30歳代	64	31.3	37.5	35.9	12.5	15.6	15.6	9.4	12.5	9.4	7.8	4.7	-	26.6	-
40歳代	52	46.2	28.8	30.8	7.7	13.5	19.2	7.7	17.3	13.5	5.8	5.8	-	25.0	1.9
50歳代	57	47.4	40.4	42.1	28.1	28.1	10.5	12.3	10.5	21.1	14.0	-	1.8	21.1	-
60歳代	86	51.2	48.8	45.3	41.9	32.6	23.3	17.4	17.4	16.3	25.6	12.8	-	16.3	1.2
70歳以上	89	62.9	42.7	51.7	41.6	30.3	28.1	28.1	31.5	30.3	34.8	18.0	-	10.1	4.5
女性															
20歳代	60	60.0	63.3	46.7	16.7	28.3	33.3	23.3	26.7	10.0	18.3	5.0	5.0	5.0	-
30歳代	82	61.0	53.7	35.4	25.6	31.7	29.3	25.6	35.4	23.2	11.0	7.3	3.7	11.0	2.4
40歳代	65	76.9	70.8	44.6	35.4	26.2	32.3	36.9	30.8	20.0	18.5	13.8	1.5	3.1	-
50歳代	72	66.7	50.0	44.4	33.3	43.1	29.2	29.2	20.8	29.2	18.1	18.1	2.8	8.3	-
60歳代	93	67.7	53.8	47.3	52.7	52.7	33.3	41.9	24.7	29.0	23.7	21.5	1.1	3.2	2.2
70歳以上	99	57.6	44.4	41.4	56.6	47.5	36.4	35.4	29.3	34.3	40.4	32.3	1.0	7.1	5.1

2-5 適切な食事内容・量の認知度

問12 自分にとって適切な食事内容・量を知っていますか。(○は1つ)

- 適切な食事内容・量の認知度は、「知っている」が46.1%、「知らない」が51.9%で、知らない人の割合が若干高くなっている。
- 愛知県と比較すると、「知っている」は14.4ポイント下回っている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「知っている」は男女ともに60歳台、70歳以上といった高齢層での割合が高く、5割を超えている。一方、「知らない」は男性30歳代、50歳代と女性20歳代で高く、6割を超えている。

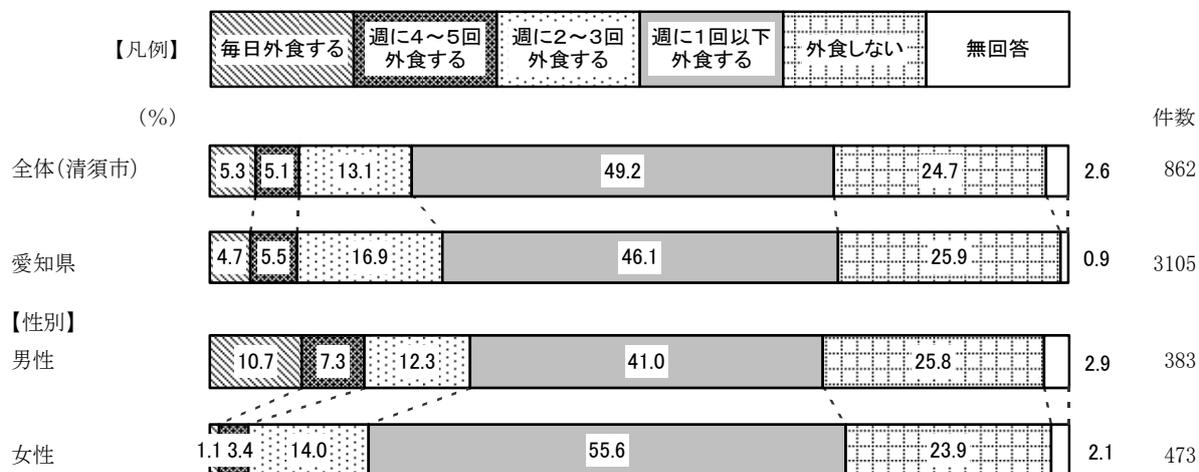


2-6 外食頻度

問13 外食しますか（持ち帰り弁当等を含む）。（○は1つ）

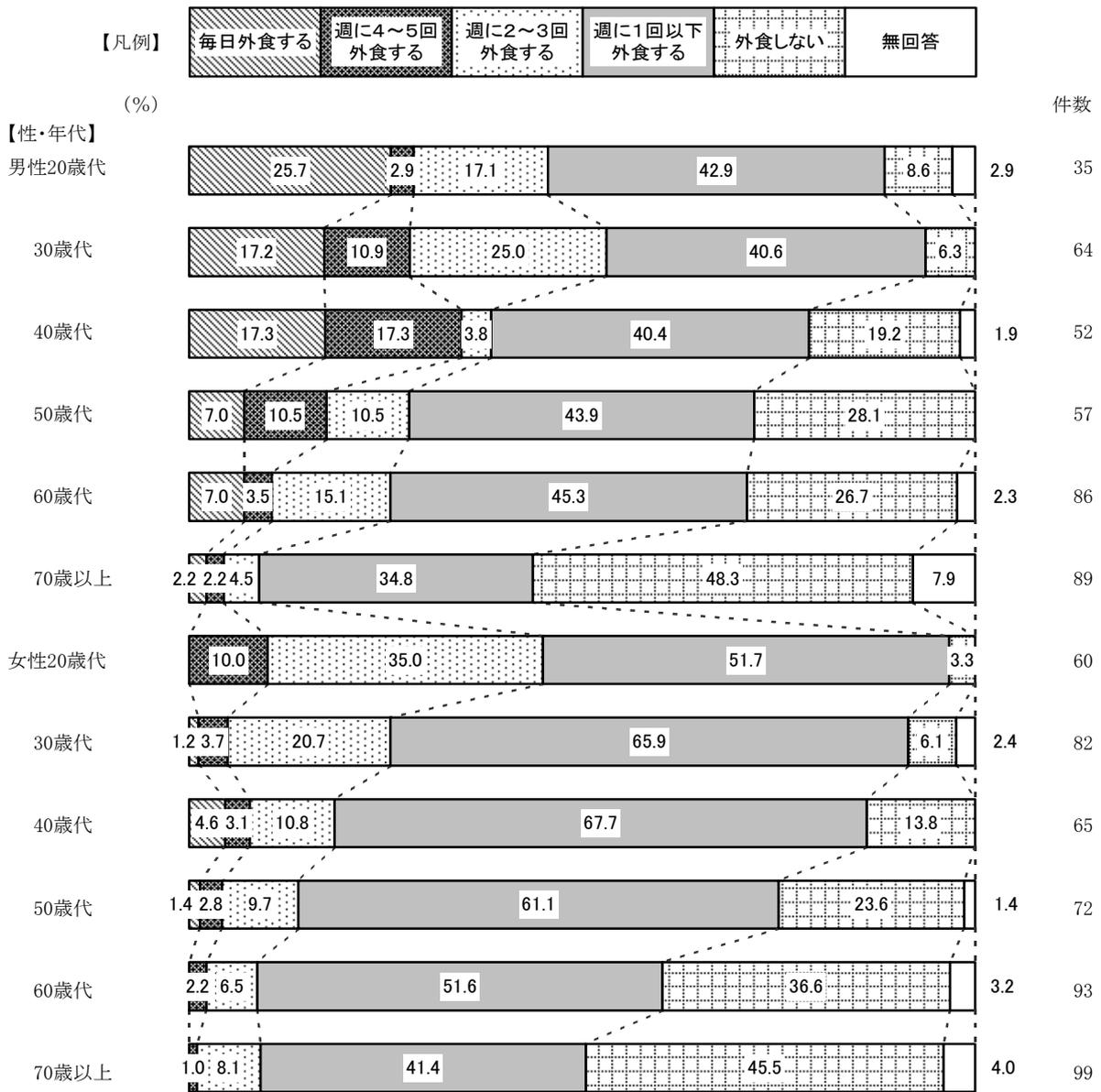
- 外食頻度は、「週に1回以下外食をする」が49.2%で最も高く、次いで「外食しない」が24.7%となっている。一方、『週4日以上外食する※』は10.4%となっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別でみると、『週4日以上外食する』は男性（18.0%）の割合が高く、「週1回以下外食する」は女性（55.6%）が高くなっている。

※「毎日外食する」「週に4～5回外食する」の計



- 性・年代別で見ると、『週4日以上外食する』は男性20～40歳代の割合が約3割と高くなっている。また、「外食しない」は男性70歳以上と女性60歳以上の割合が高くなっている。

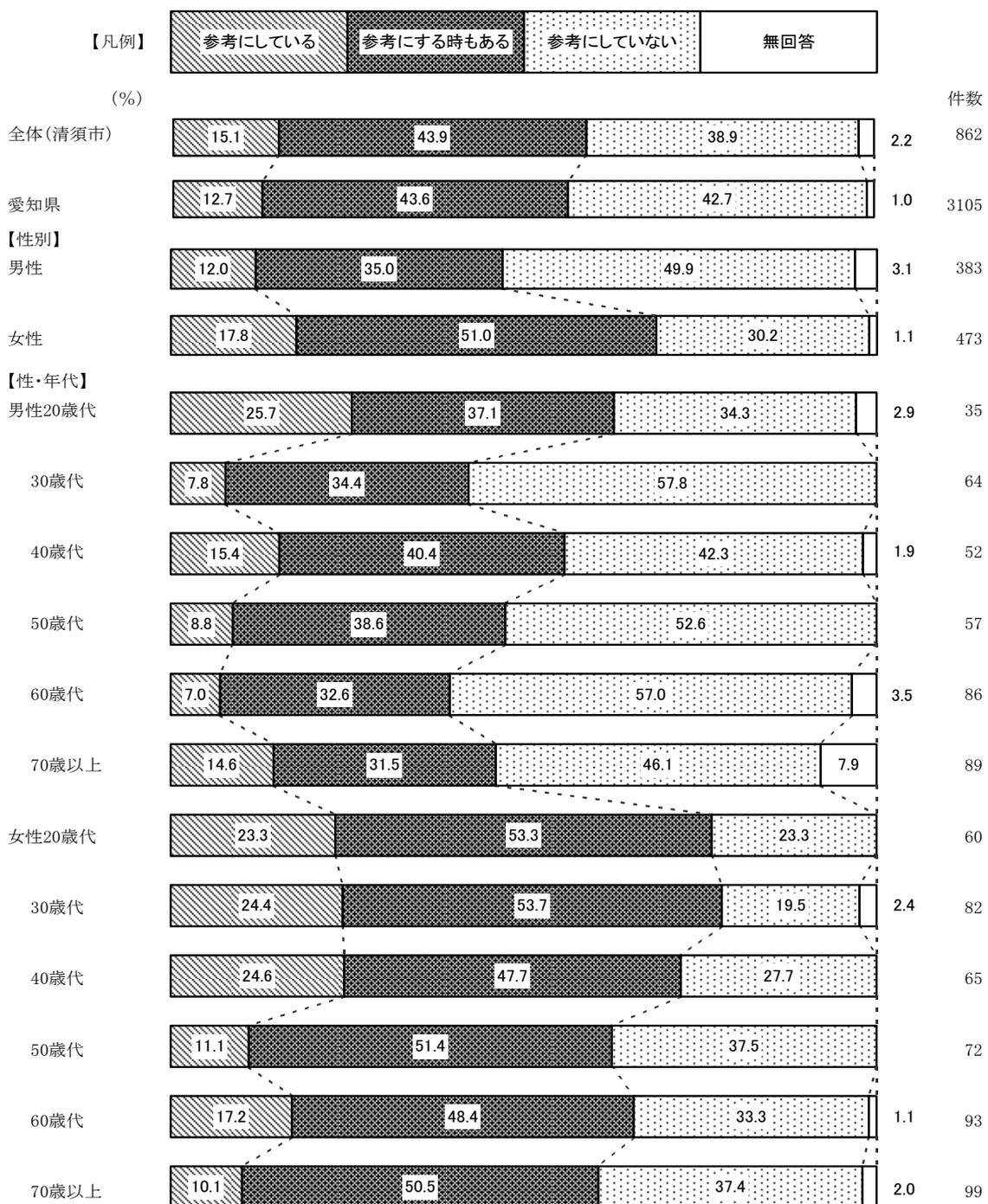
※「毎日外食する」「週に4～5回外食する」の計



2-7 栄養成分表示の活用

問14 外食や食品を購入するとき、カロリーなどの栄養成分表示を参考にしますか。

- 栄養成分表示の活用については、「参考にしている」は15.1%にとどまっているが、「参考にする時もある」(43.9%)を合わせた『参考にしている』人は59.0%と約6割を占めている。一方、「参考にしていない」は38.9%となっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別でみると、『参考にしている』は男性(47.0%)よりも女性(68.8%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、『参考にしている』は女性20~40歳代の割合が高く、7割以上を占めている。

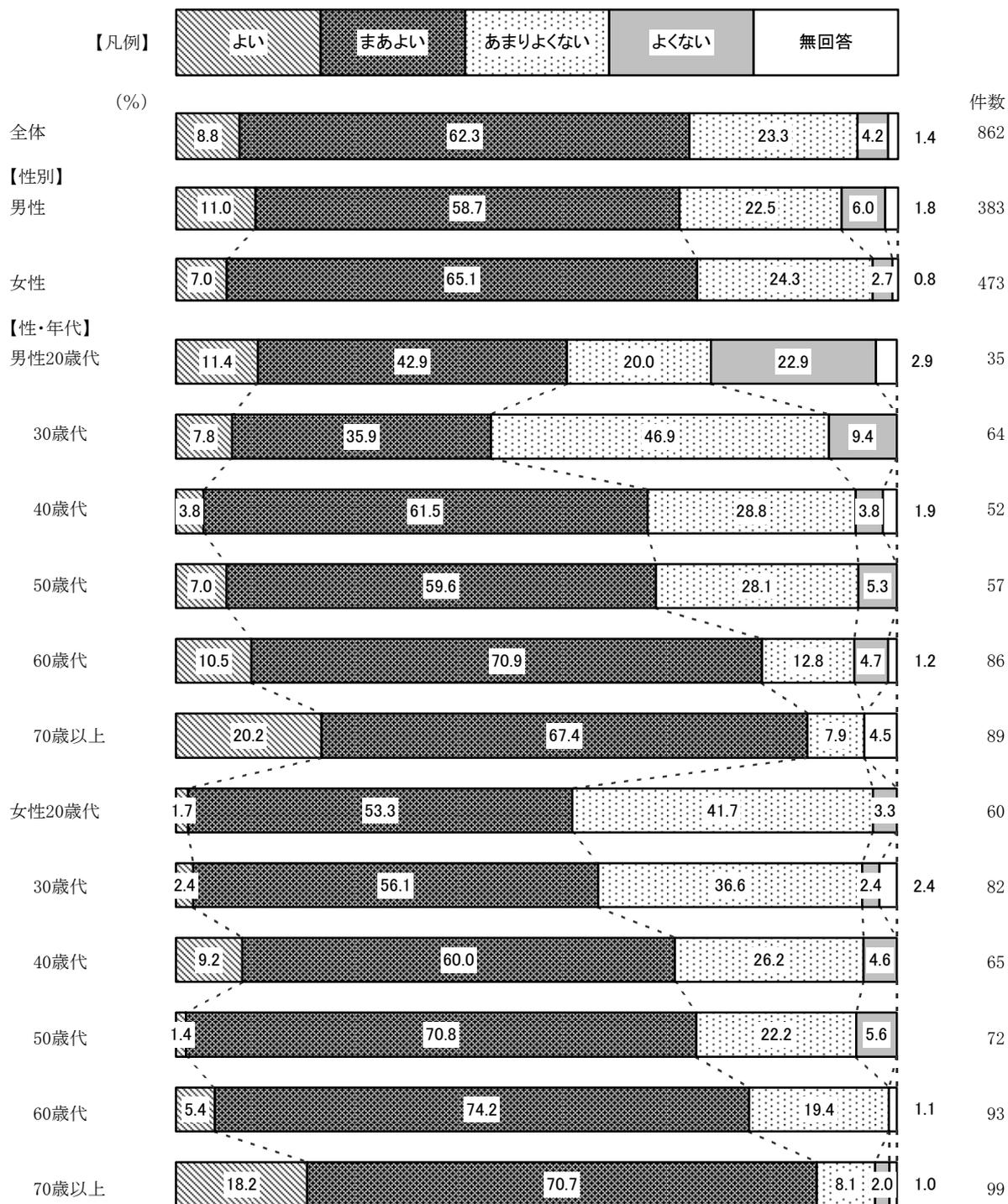


2-8 自分の食生活について

問15 自分の食生活をどのように思いますか。(○は1つ)

- 自分の食生活についてたずねたところ、「まあよい」が62.3%で最も高く、これに「よい」(8.8%)を合わせた『よい』人は71.1%を占めている。一方、『よくない※』は27.5%となっている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、『よい』は男女ともに、概ね年代が高いほど割合も高くなっている。

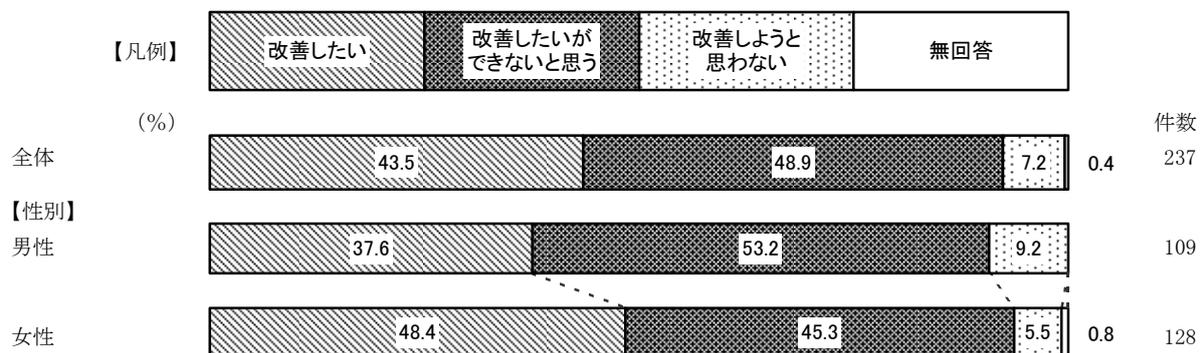
※「あまりよくない」「よくない」の計



2-9 食生活の改善意向

【問15で「あまりよくない」「よくない」と答えた方に伺います】
 問15-1 今後、自分の食生活をどのようにしたいですか。（○は1つ）

- 食生活の改善意向は、「改善したい」（43.5%）と「改善したいができないと思う」（48.9%）を合わせた『改善意向がある』人は92.4%と9割以上を占めている。
- 性別でみると、『改善意向がある』は男女ともに9割以上となっているが、「改善したい」は男性（37.6%）よりも女性（48.4%）の割合が高くなっている。

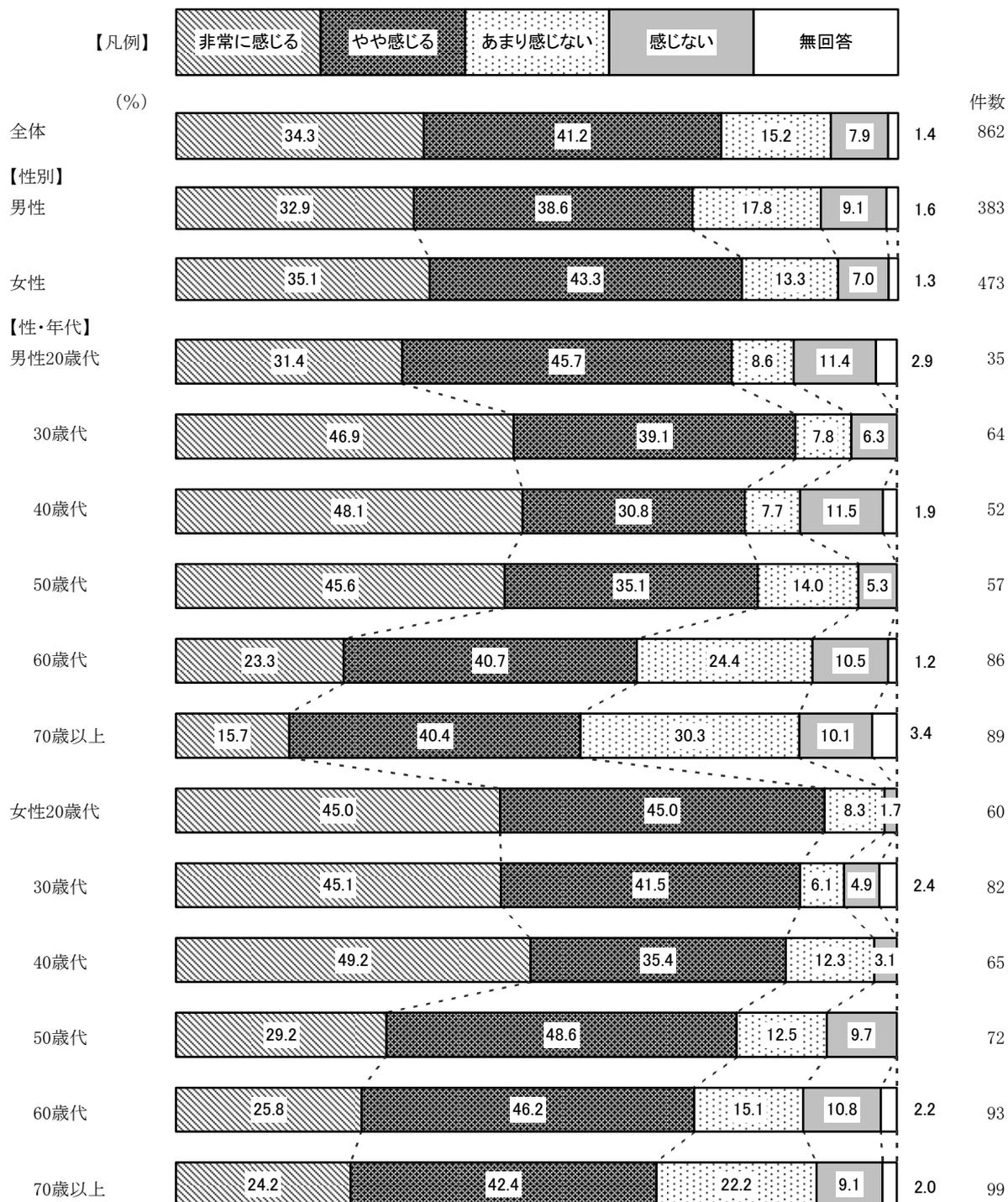


3 運動について

3-1 運動不足の実感度

問16 運動不足を感じていますか。(○は1つ)

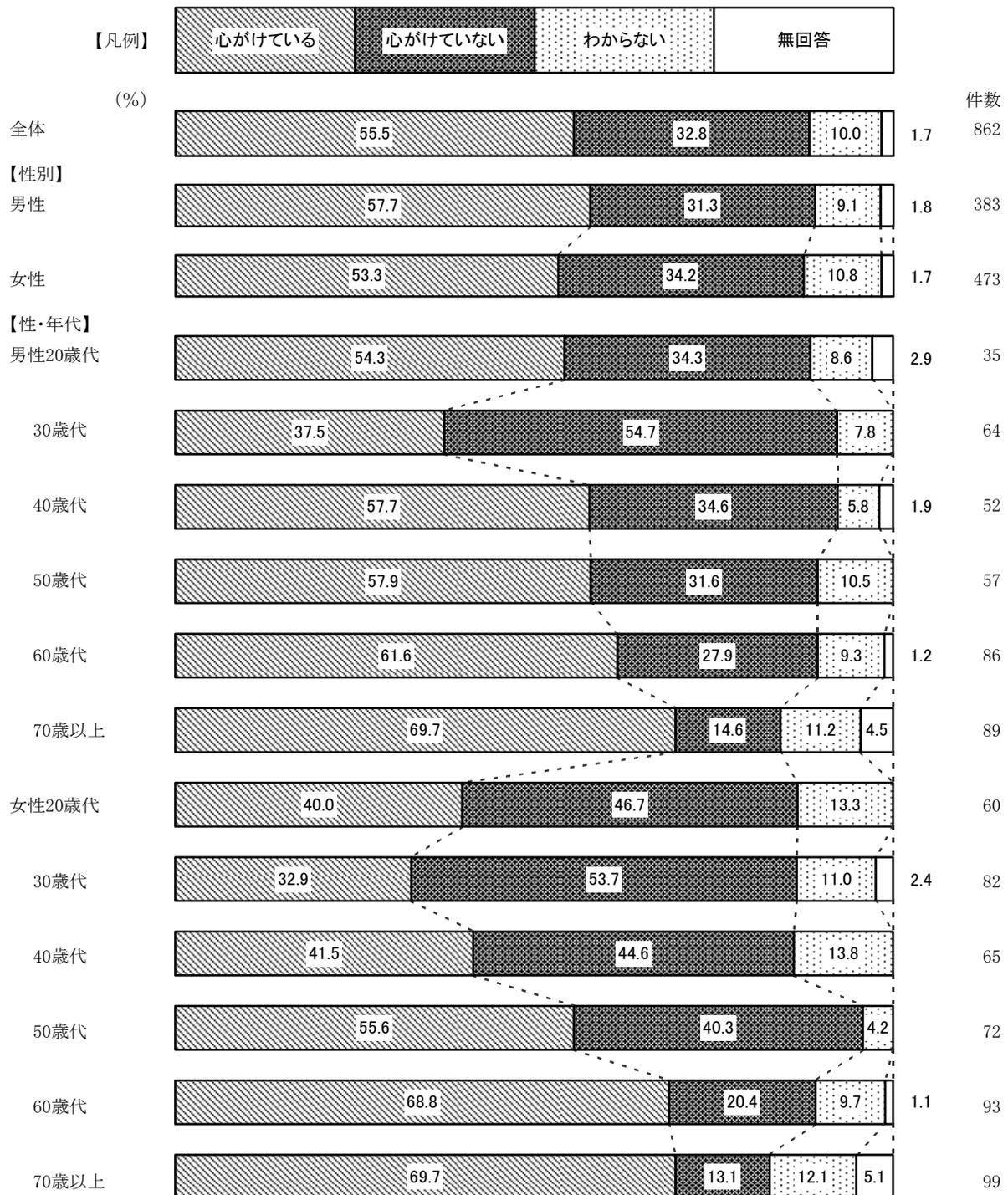
- 運動不足の実感度は、「やや感じる」が41.2%で最も高く、これに「非常に感じる」(34.3%)を合わせた『運動不足を感じる』人は75.5%を占めている。
- 性別でみると、『運動不足を感じる』は男性(71.5%)よりも女性(78.4%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、『運動不足を感じる』は男女ともに、概ね年代が低いほど割合が高くなっている。



3-2 身体を動かす心がけ

問17 日頃から意識的に身体を動かすことを心がけていますか。(○は1つ)

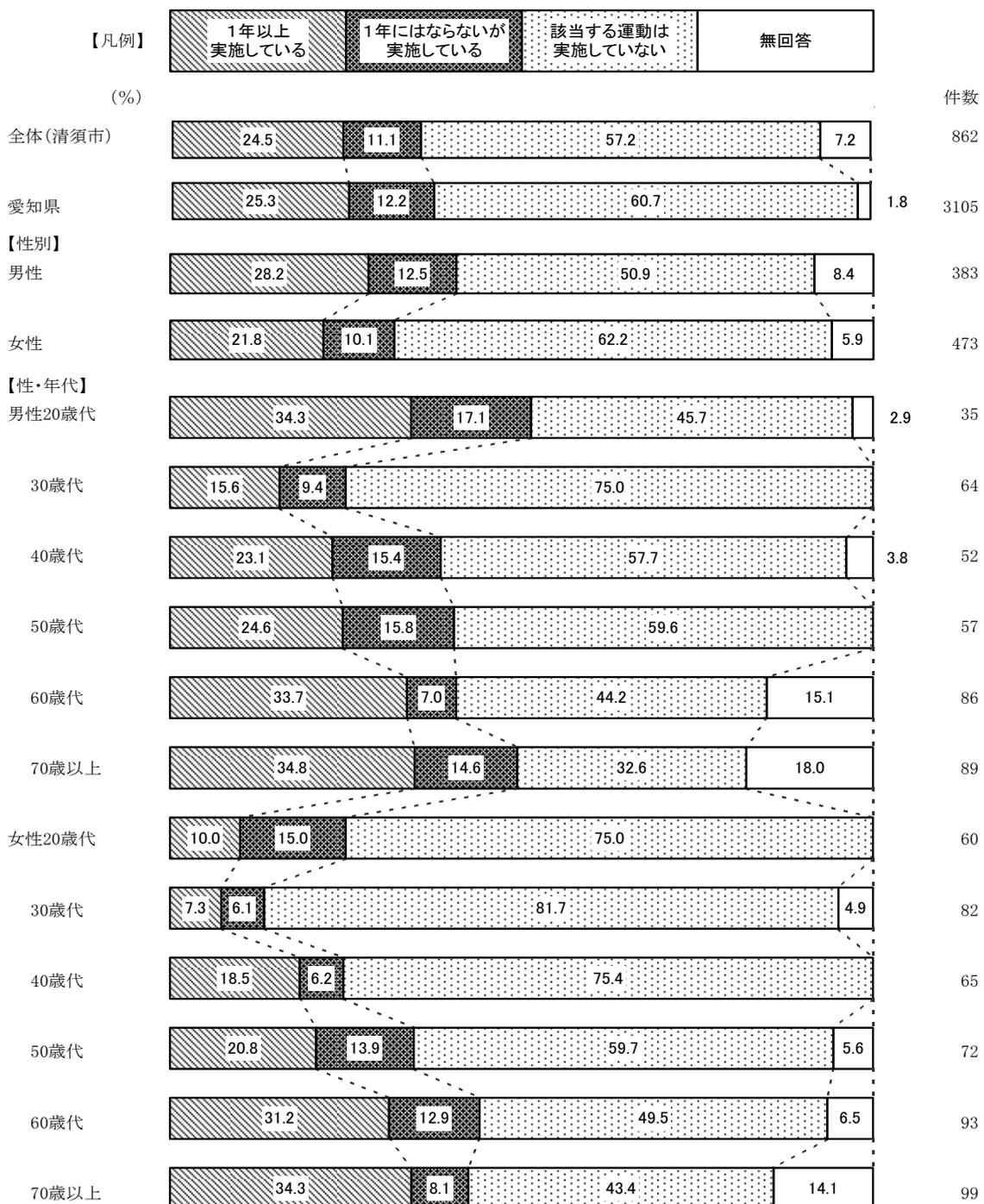
- 意識的に身体を動かすことについては、「心がけている」が55.5%と半数以上を占め、「心がけていない」(32.8%)を22.7ポイント上回っている。
- 性別で見ると、「心がけている」は女性(53.3%)よりも男性(57.7%)の割合が若干高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「心がけている」は男性70歳以上と女性60歳以上の割合が高く、約7割を占めている。一方、「心がけていない」は男女ともに30歳代の割合が高く5割以上となっている。



3-3 運動習慣

問18 1回30分以上の運動を週2回以上実施していますか。(○は1つ)

- 継続的な運動については、「1年以上実施している」(24.5%)、「1年にはならないが実施している」(11.1%)を合わせた『運動をしている』人は35.6%となっている。一方、「該当する運動は実施していない」は57.2%を占めている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別で見ると、『運動をしている』は女性(31.9%)より男性(40.7%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、『運動をしている』は男女ともに30歳代の割合が低くなっている。

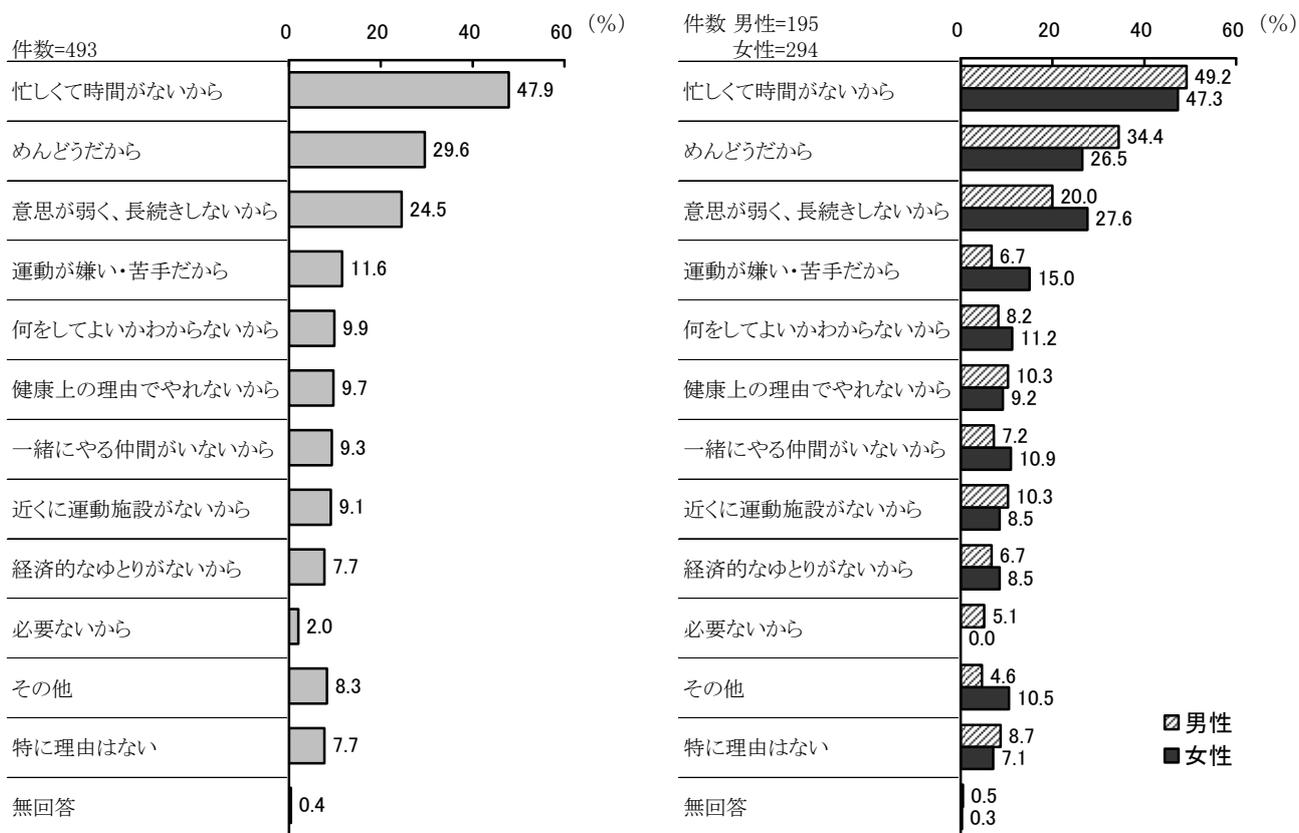


3-4 運動をしていない理由

【問18で「該当する運動は実施していない」と答えた方に伺います】

問18-1 運動をしていない理由は何ですか。(〇は3つまで)

- 運動をしていない理由は、「忙しくて時間がないから」(47.9%)が他の項目を18.3ポイント以上引き離して高くなっている。これに次いで「めんどうだから」(29.6%)、「意志が弱く、長続きしないから」(24.5%)など自分の意識的な理由が2割台で続いている。
- 性別でみると、「意志が弱く、長続きしないから」「運動が嫌い・苦手だから」は女性の割合が高く、「めんどうだから」は男性が高くなっている。



- 性・年代別でみると、「忙しくて時間がないから」は男女ともに20歳代が約8割と高く、「めんどうだから」は男性30歳代、50歳代が約5割と高くなっている。また、「意思が弱く、長続きしないから」は女性40歳代（44.9%）が高くなっている。

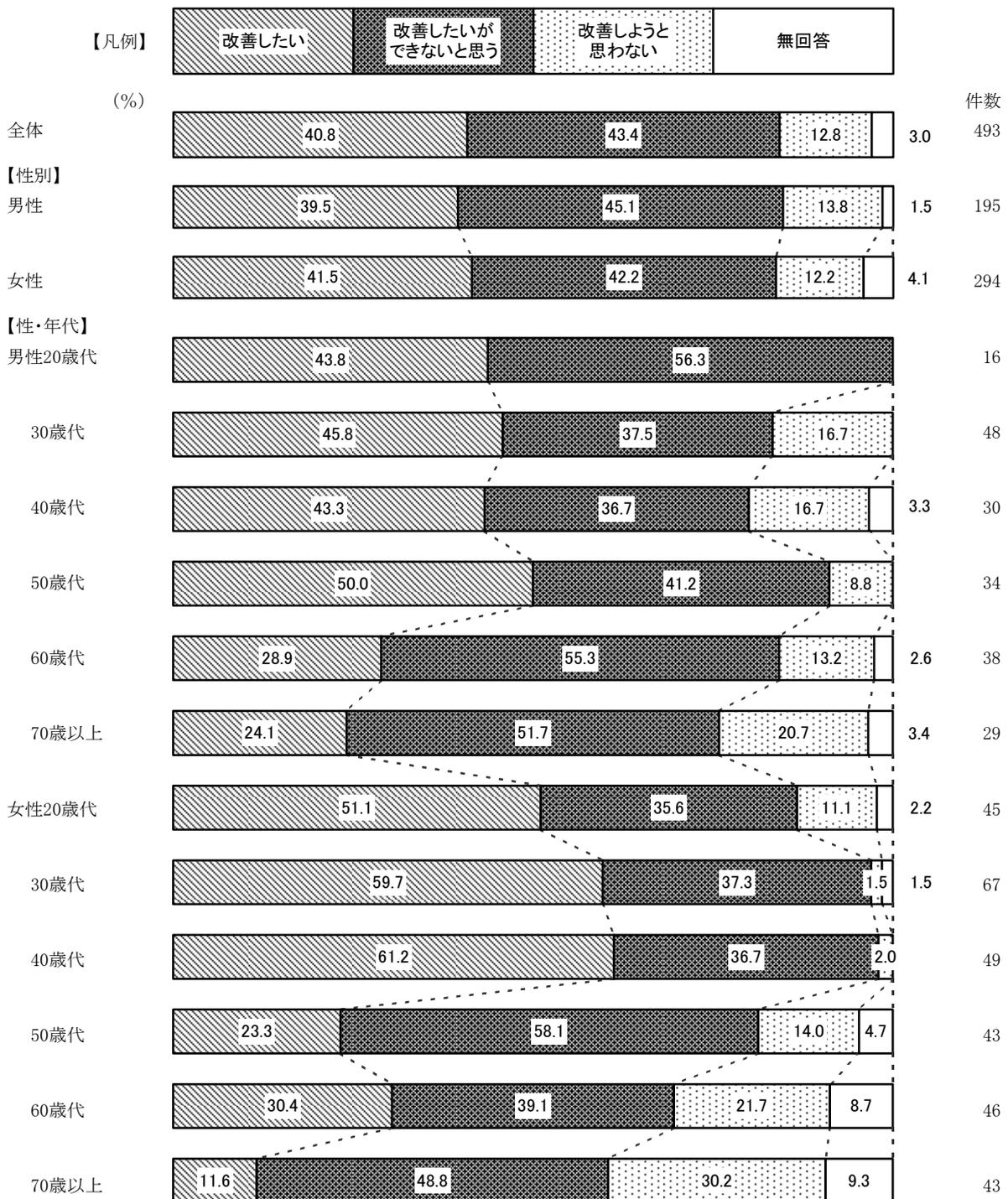
(%)	件数	忙しくて時間がないから	めんどうだから	意思が弱く、長続きしないから	運動が嫌い・苦手だから	何をしてもいいかわからないから	健康上の理由でやれないから	一からやる間がないから	かくに運動施設がないから	からの的なとりがないから	要ないから	その他	特に理由はない	無回答
全体	493	47.9	29.6	24.5	11.6	9.9	9.7	9.3	9.1	7.7	2.0	8.3	7.7	0.4
男性20歳代	16	81.3	43.8	25.0	12.5	6.3	-	6.3	6.3	6.3	-	6.3	-	-
30歳代	48	60.4	47.9	29.2	6.3	8.3	-	6.3	16.7	10.4	6.3	4.2	6.3	-
40歳代	30	56.7	30.0	10.0	3.3	6.7	3.3	10.0	3.3	6.7	3.3	3.3	6.7	-
50歳代	34	61.8	50.0	26.5	8.8	8.8	2.9	8.8	11.8	8.8	5.9	-	2.9	-
60歳代	38	36.8	21.1	10.5	7.9	5.3	13.2	2.6	10.5	5.3	5.3	5.3	18.4	2.6
70歳以上	29	6.9	10.3	17.2	3.4	13.8	44.8	10.3	6.9	-	6.9	10.3	13.8	-
女性20歳代	45	77.8	35.6	26.7	20.0	11.1	2.2	13.3	17.8	13.3	-	-	-	-
30歳代	67	43.3	34.3	22.4	23.9	16.4	3.0	11.9	7.5	10.4	-	16.4	4.5	-
40歳代	49	55.1	34.7	44.9	16.3	8.2	-	10.2	6.1	10.2	-	8.2	8.2	-
50歳代	43	60.5	25.6	37.2	11.6	9.3	4.7	4.7	2.3	4.7	-	7.0	9.3	-
60歳代	46	34.8	13.0	17.4	4.3	15.2	15.2	15.2	8.7	10.9	-	15.2	6.5	-
70歳以上	43	11.6	11.6	18.6	9.3	4.7	34.9	7.0	7.0	-	-	14.0	16.3	2.3

3-5 運動習慣の改善意向

【問18で「該当する運動は実施していない」と答えた方に伺います】

問18-2 今後、自分の運動習慣をどのようにしたいですか。(〇は1つ)

- 運動習慣の改善意向は、「改善したい」(40.8%)と「改善したいができないと思う」(43.4%)を合わせた『改善意向がある』人は84.2%と8割以上を占めている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「改善したい」は女性30~40歳代の割合が高く、約6割を占めている。



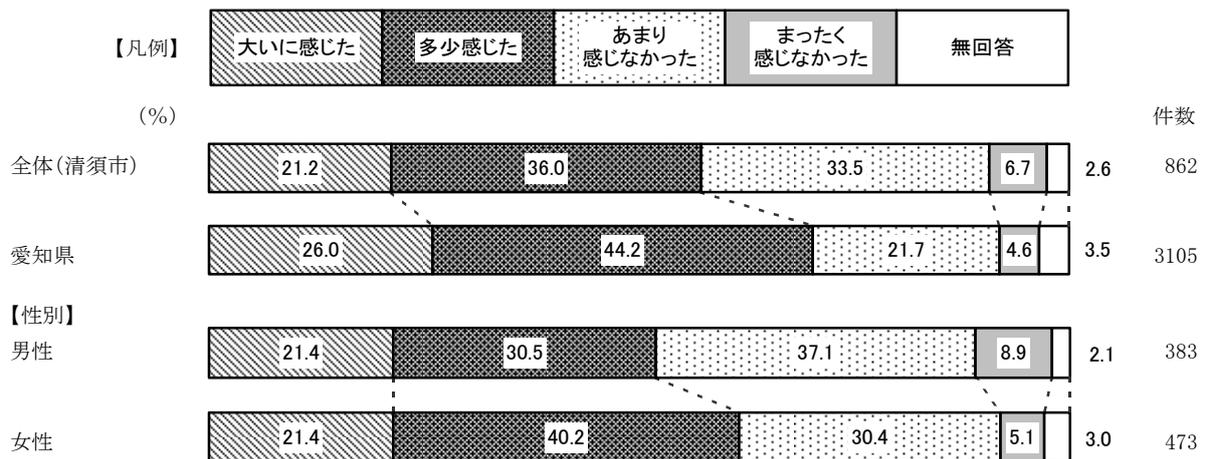
4 ストレスや休養について

4-1 ストレスの感じ方

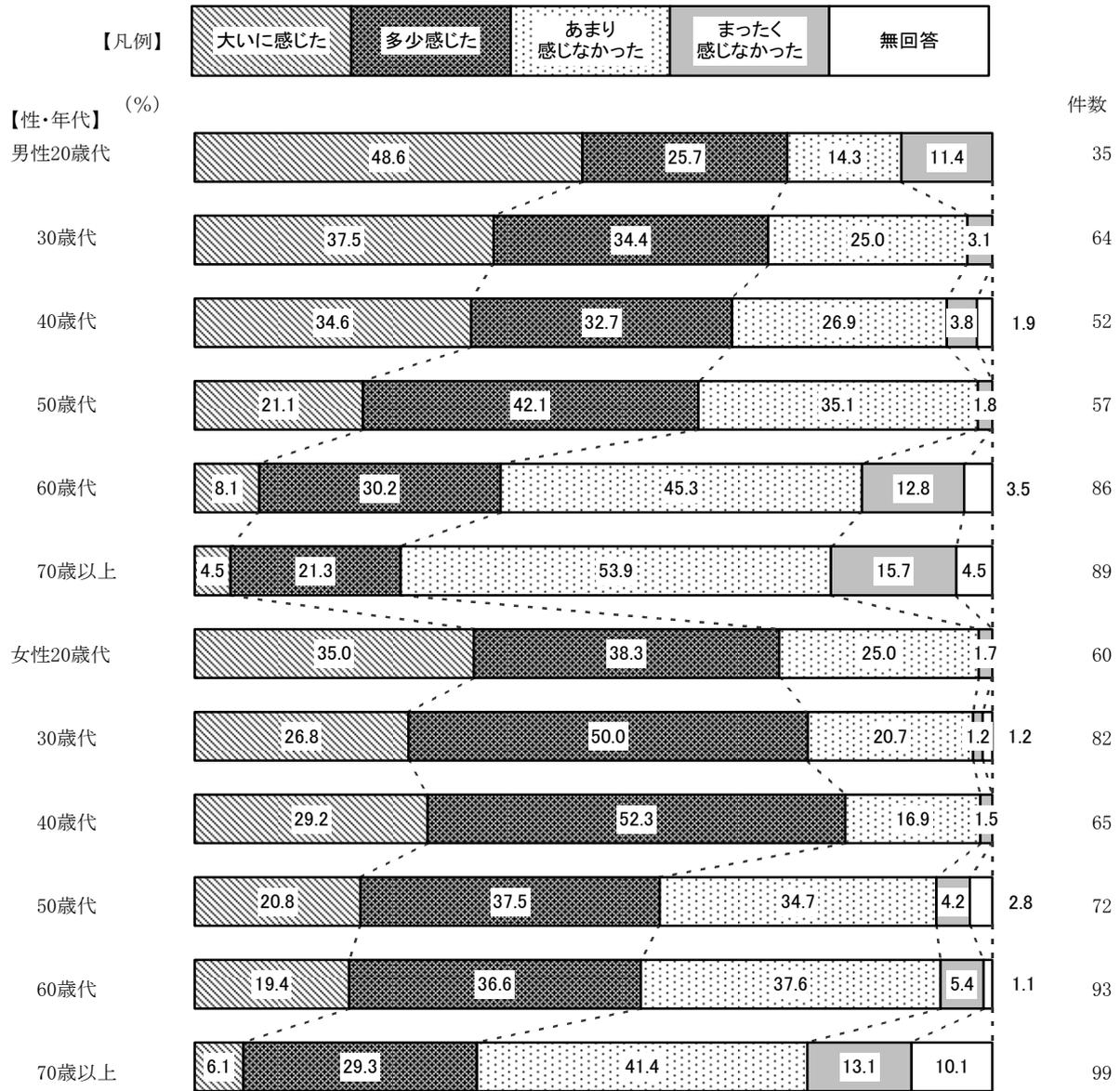
問19 この1か月に、ストレスを感じましたか。(〇は1つ)

- この1か月のストレスについては、「多少感じた」が36.0%で最も高く、これに「大いに感じた」(21.2%)を合わせた『感じた』人が57.2%と約6割を占めている。一方、『感じなかった※』は40.2%となっている。
- 愛知県と比較すると、『感じた』は愛知県が70.2%、清須市が57.2%で、愛知県よりも低い割合となっている。
- 性別でみると、『感じた』は男性(51.9%)よりも女性(61.6%)の割合が高くなっている。

※「あまり感じなかった」「まったく感じなかった」の計



- 性・年代別でみると、『感じた』は男性 20～50 歳代と女性 20～40 歳代の割合が高く 6 割以上となっている。

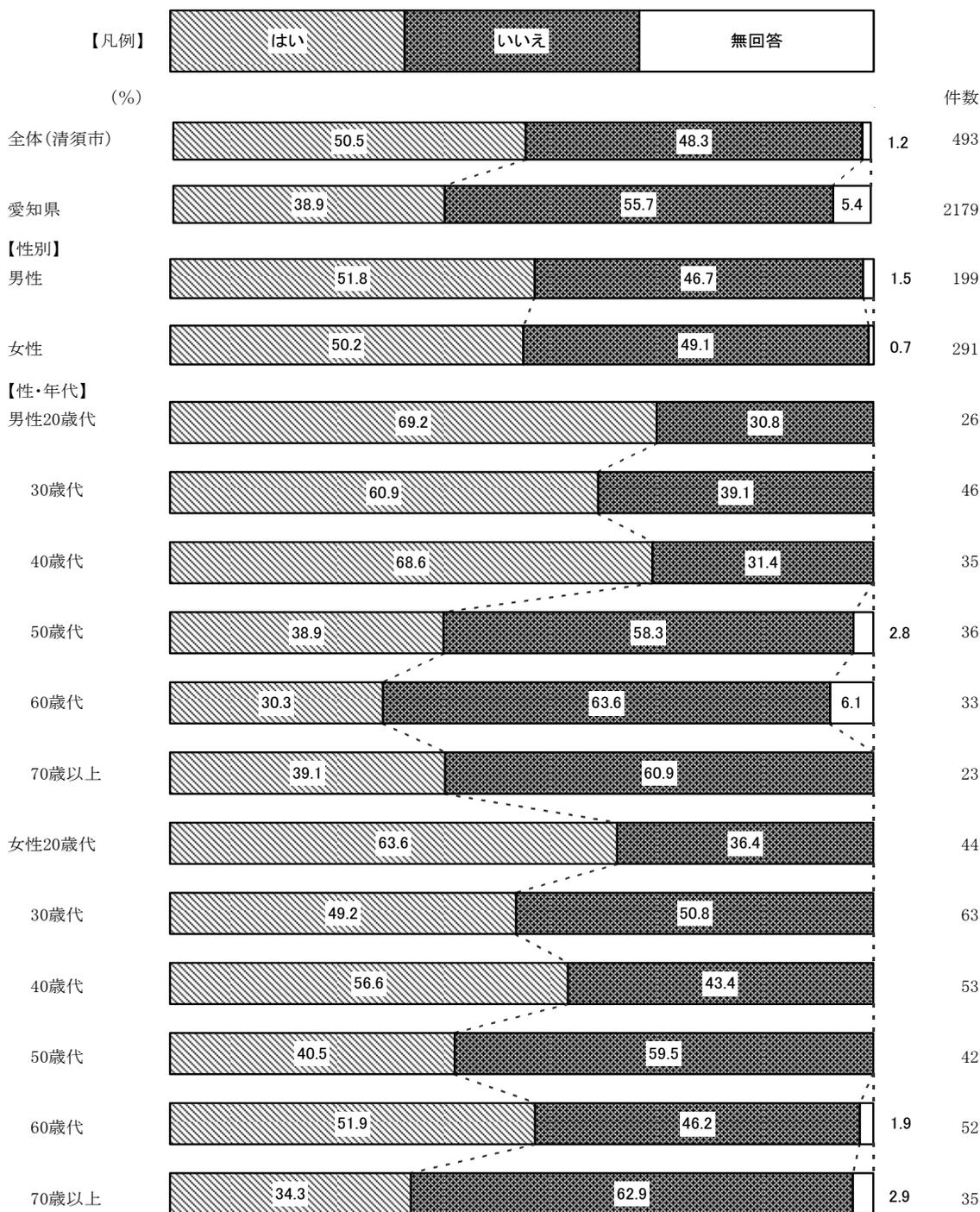


4-2 大きなストレスの有無

【問19で「大いに感じた」「多少感じた」と答えた方に伺います】

問19-1 ストレスが大きくて、逃げ出したいと思うことがありますか。(〇は1つ)

- ストレスが大きくて 出したいと思うことがあるかどうかをたずねたところ、「はい(ある)」が50.5%、「いいえ(ない)」が48.3%とほぼ半の割合となっている。
- 愛知県と比較すると、「はい(ある)」は11.6ポイント上回っている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「はい(ある)」は男性20歳代と女性20歳代の割合が高く、6割を超えている。

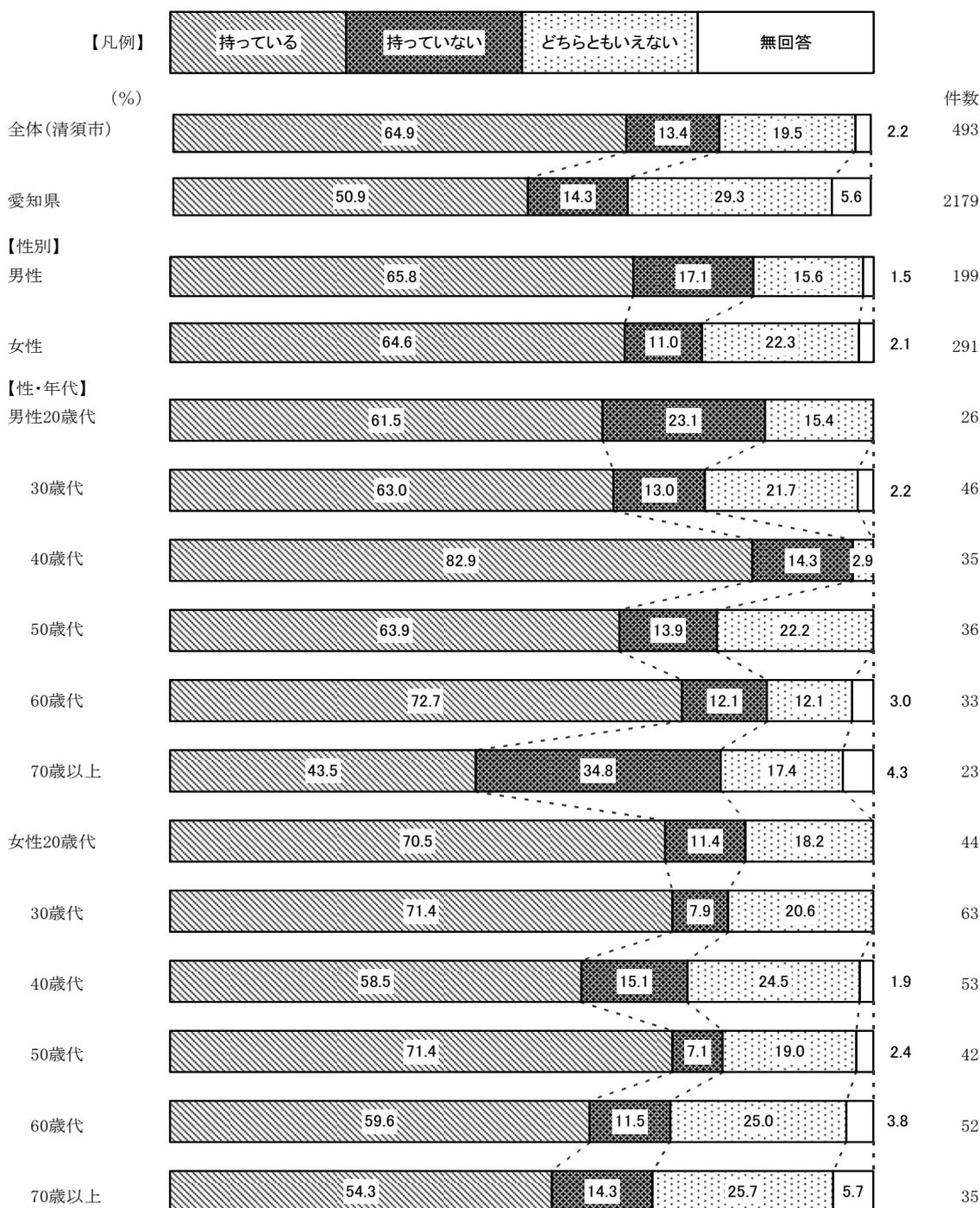


4-3 ストレス解消法の有無

【問19で「大いに感じた」「多少感じた」と答えた方に伺います】

問19-2 自分なりのストレス解消方法を持っていますか。(○は1つ)

- ストレス解消法を持っているかどうかたずねたところ、「持っている」が64.9%を占めている。また、「持っていない」は13.4%、「どちらともいえない」は19.5%となっている。
- 愛知県と比較すると、「持っている」は14ポイント上回っている。
- 性別で見ると、「持っている」はほぼ同じ割合となっているが、「持っていない」は女性(11.0%)よりも男性(17.1%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「持っている」は男性40歳代(82.9%)の割合が高く、「持っていない」は男性70歳以上(34.8%)の割合が高くなっている。

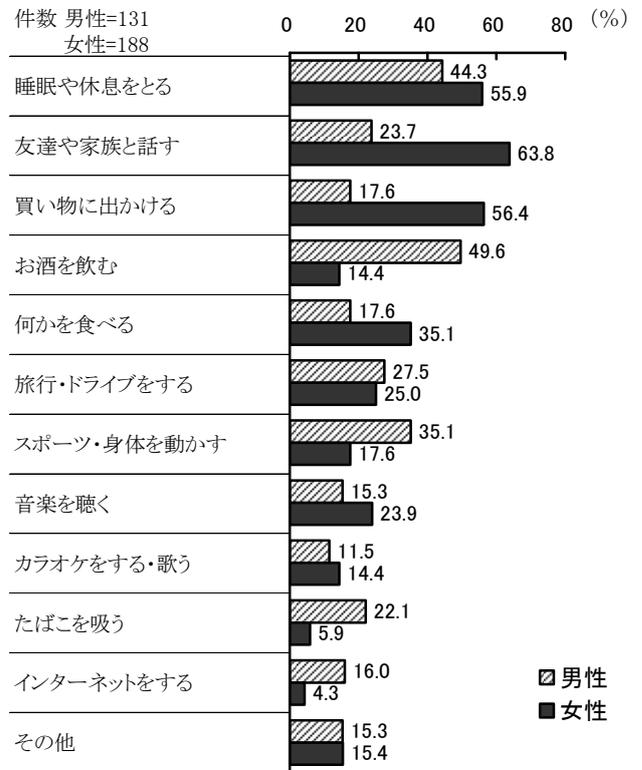
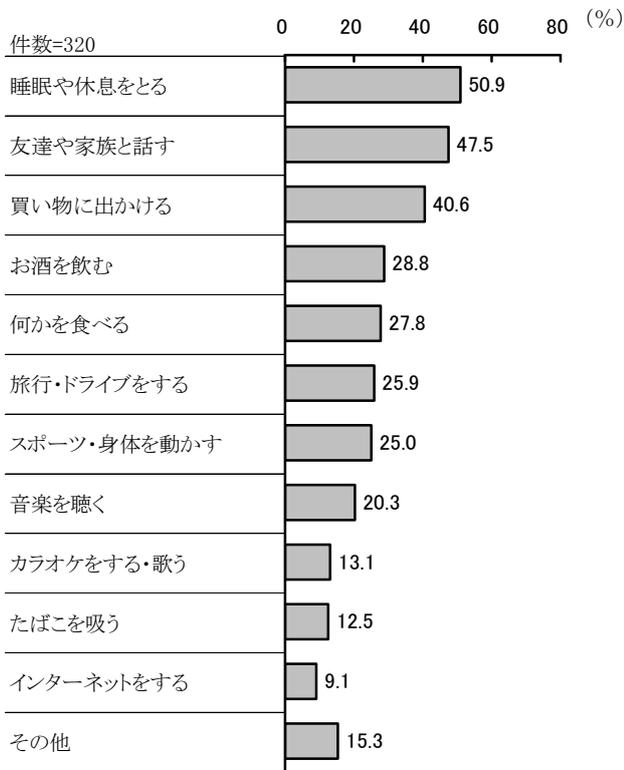


4-4 ストレス解消方法

【問19-2で「持っている」と答えた方に伺います】

問19-3 それはどのようなストレス解消方法ですか。(〇はいくつでも)

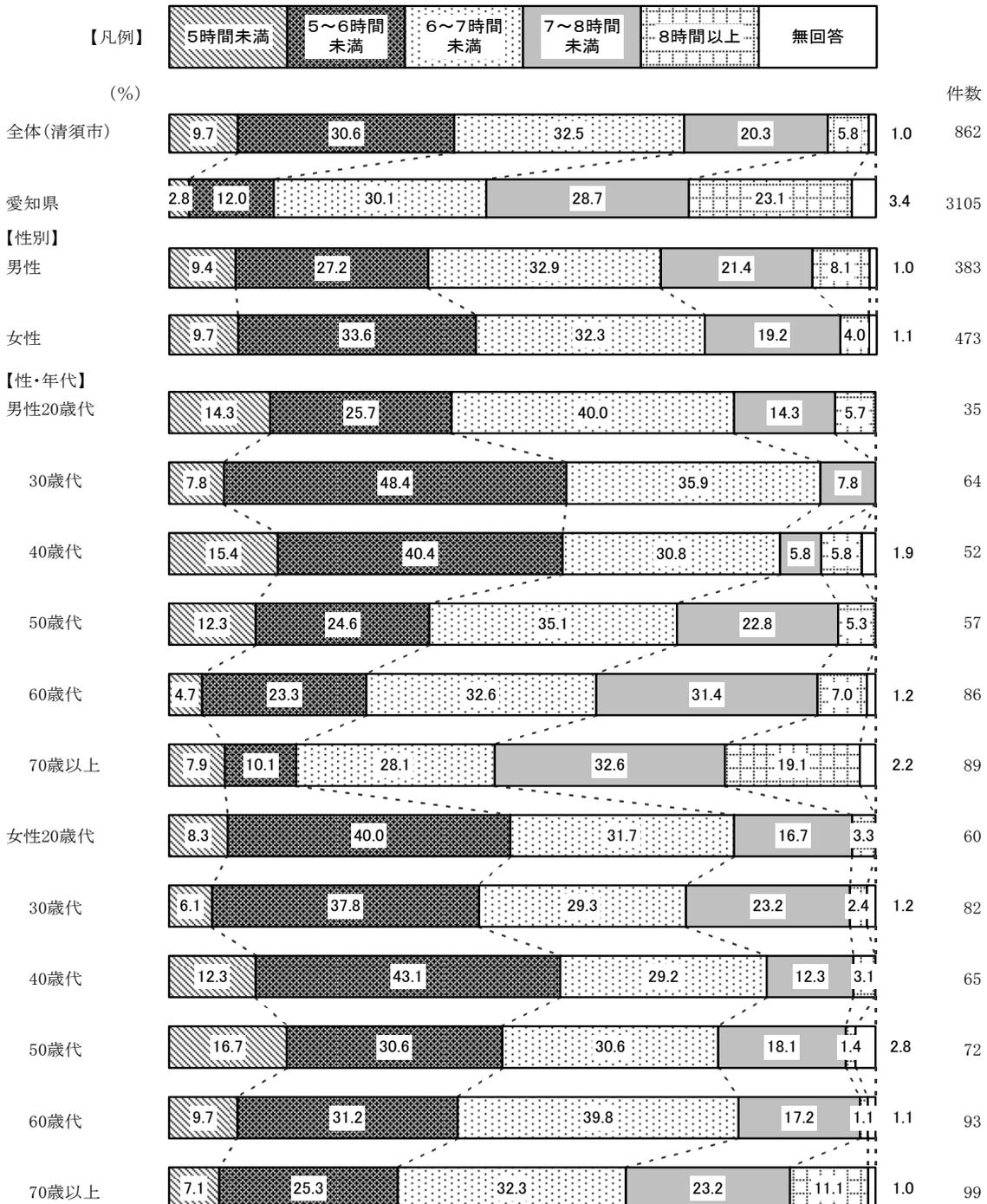
- ストレス解消方法は、「睡眠や休息をとる」(50.9%)、「友達や家族と話す」(47.5%)が高く、これらに次いで、「買い物に出かける」が40.6%となっている。
- 性別でみると、「友達や家族と話す」「買い物に出かける」は女性の割合が高く、「お酒を飲む」は男性が高くなっており、それぞれ35ポイント以上の差がみられる。



4-5 睡眠時間

問20 睡眠時間は平均して何時間くらいですか。(〇は1つ)

- 睡眠時間は、「6～7時間未満」(32.5%)、「5～6時間未満」(30.6%)の割合がそれぞれ約3割を占めている。これらに次いで「7～8時間未満」が20.3%で続いている。
- 愛知県と比較すると、「8時間以上」は17.3ポイント下回っており、睡眠時間が少ないことがうかがえる。
- 性別でみると、「5～6時間未満」は男性(27.2%)よりも女性(33.6%)の割合が若干高くなっている。
- 性・年代別でみると、「7～8時間未満」は男性60歳以上の割合が高く、「8時間以上」は男女ともに70歳以上が高くなっている。

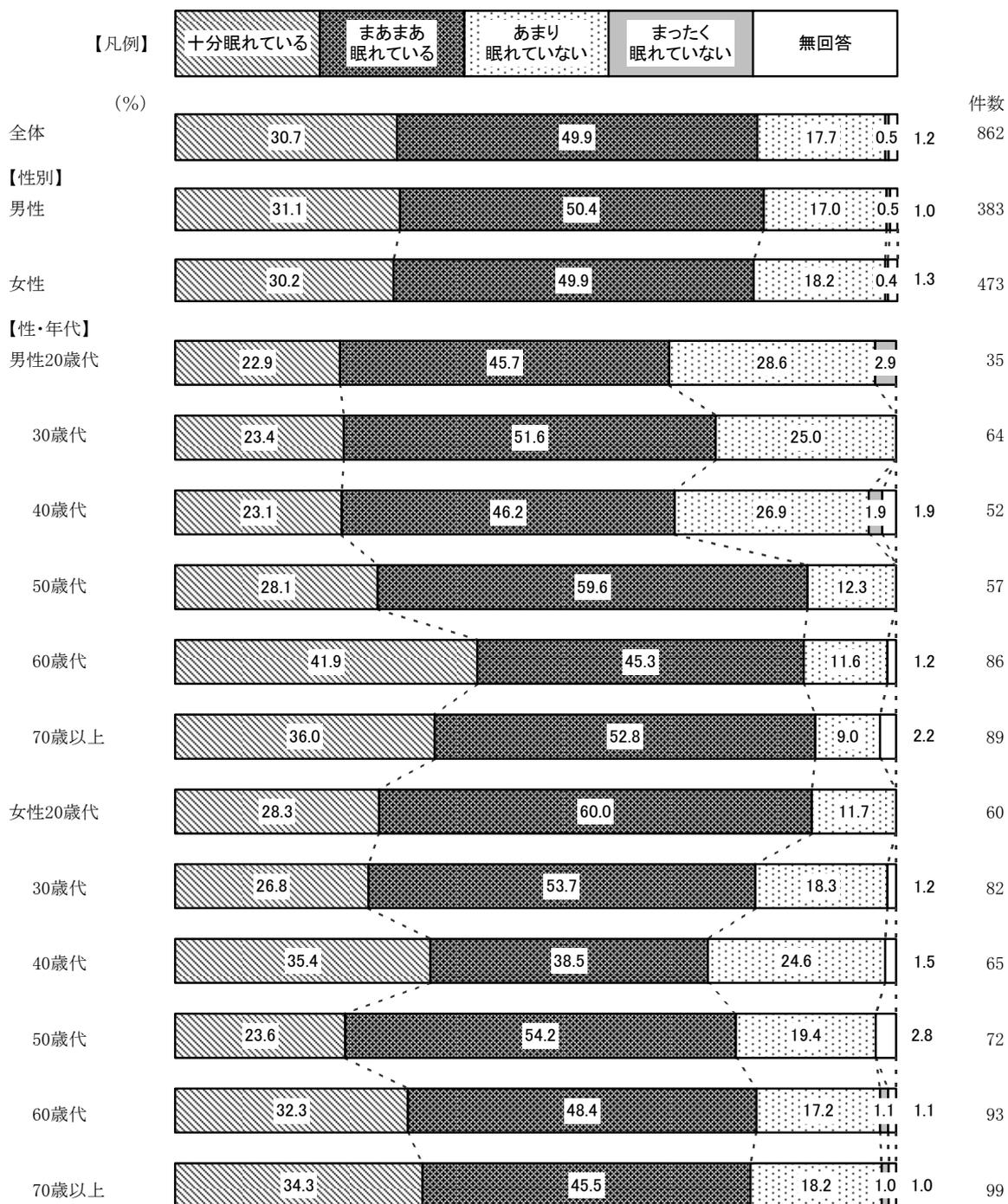


4-6 睡眠の充足度

問21 普段、十分眠れていますか。(○は1つ)

- 分眠れているかどうかをたずねたところ、「まあまあ眠れている」が49.9%で最も高く、次いで「分眠れている」(30.7%)となっており、これらを合わせた『眠れている』人は80.6%と8割を占めている。一方、『眠れていない※』は18.2%となっている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、『眠れている』は男性50歳以上と女性20歳代の割合が高く、約9割を占めている。一方、『眠れていない』は男性20~40歳代と40歳代で高く、2割を超えている。

※「あまり眠れていない」「まったく眠れていない」の計

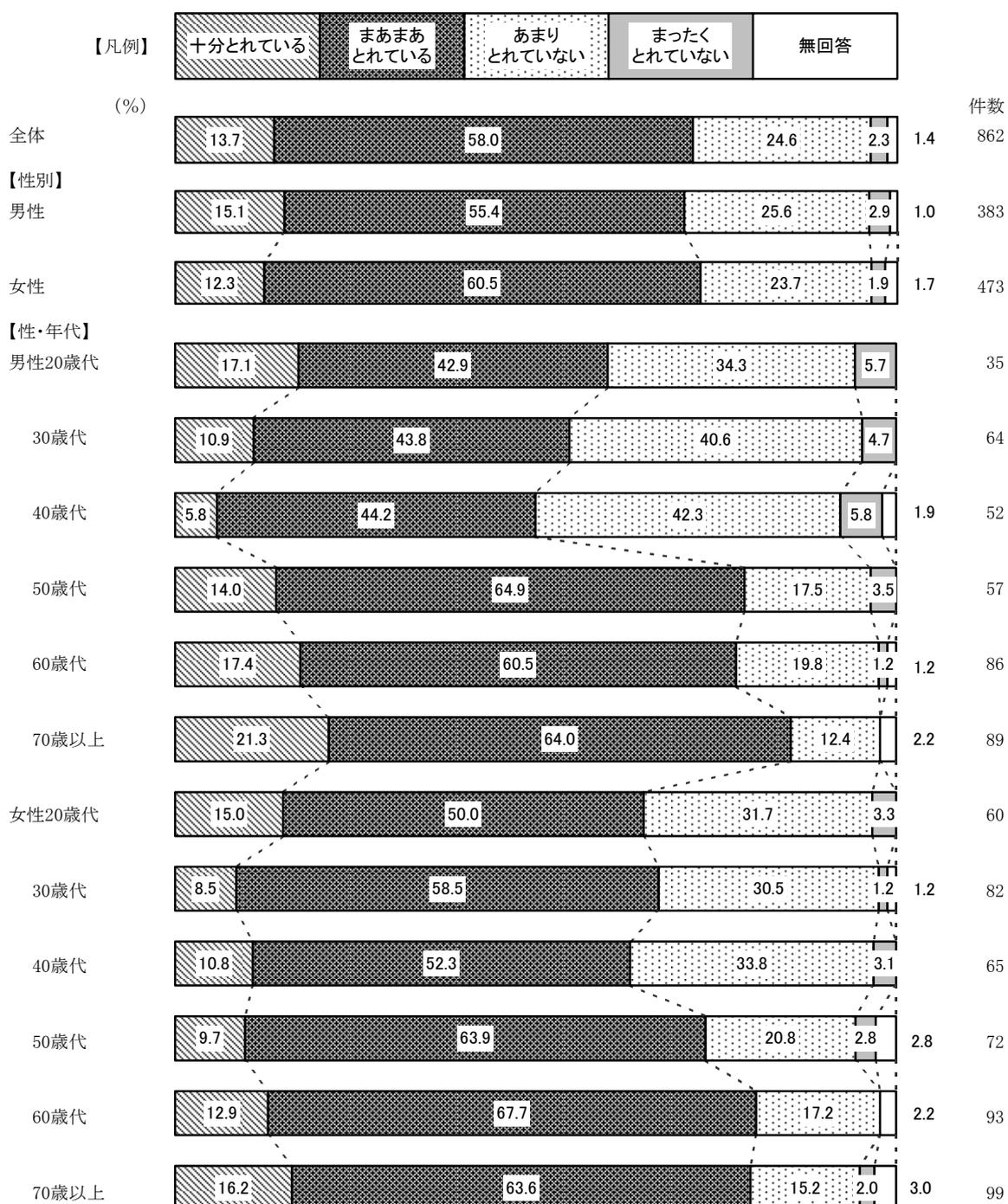


4-7 疲れの解消度

問22 普段とっている睡眠で疲れがとれていますか。(○は1つ)

- 睡眠で疲れがとれているかたずねたところ、「まあまあとれている」が58.0%で最も高く、これに「分とれている」(13.7%)を合わせた『とれている』人は71.7%と7割を超えている。一方、『とれていない※』は26.9%となっている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、『とれている』は男女ともに50歳以上での割合が高く、7割を超えている。一方、『とれていない』は男性20~40歳代で高く4割以上となっている。

※「あまりとれていない」「まったくとれていない」の計

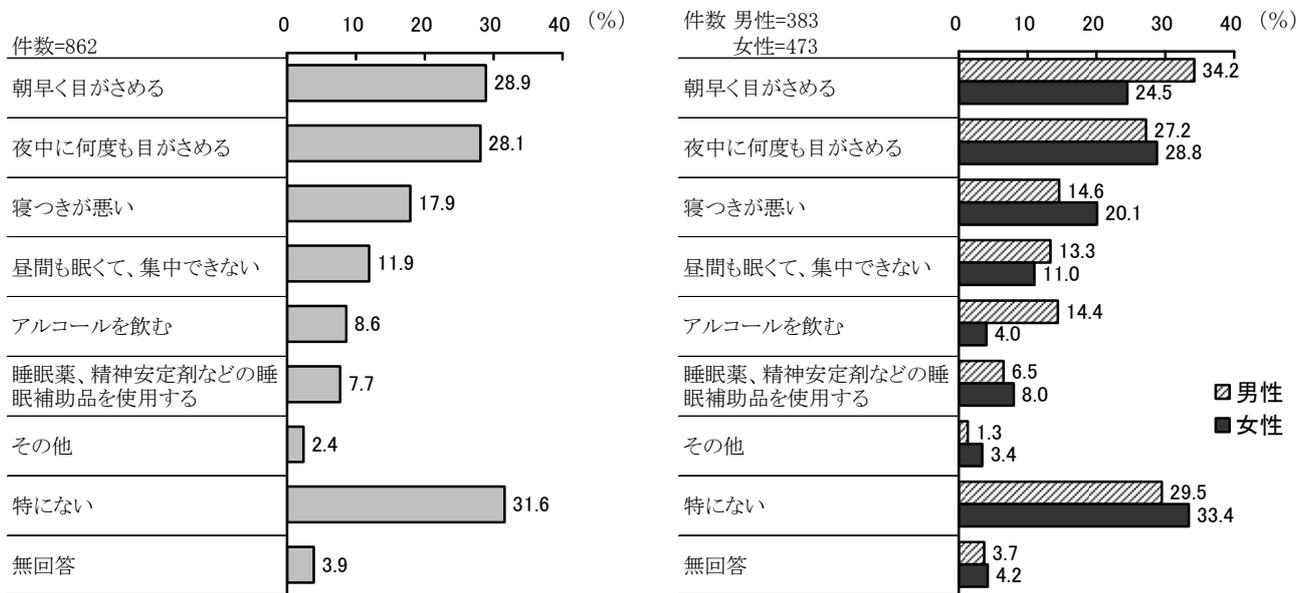


4-8 睡眠時の症状

問23 睡眠について次のようなことがありますか。(〇はいくつでも)

- 睡眠時()の症状は、「特にない」が最も高く31.6%となっている。一方、何かしらの症状がある人※は64.5%となっており、体的には「朝早く目がさめる」(28.9%)、「夜中に何度も目がさめる」(28.1%)の割合が高くなっている。
- 性別でみると、「朝早く目がさめる」「アルコールを飲む」は男性の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「朝早く目がさめる」は男性50歳代、70歳以上の割合が高く4割を超えている。また、「間も眠くて、集中できない」は男性20~30歳代と女性20歳代の割合が高く、2割以上となっている。

※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合

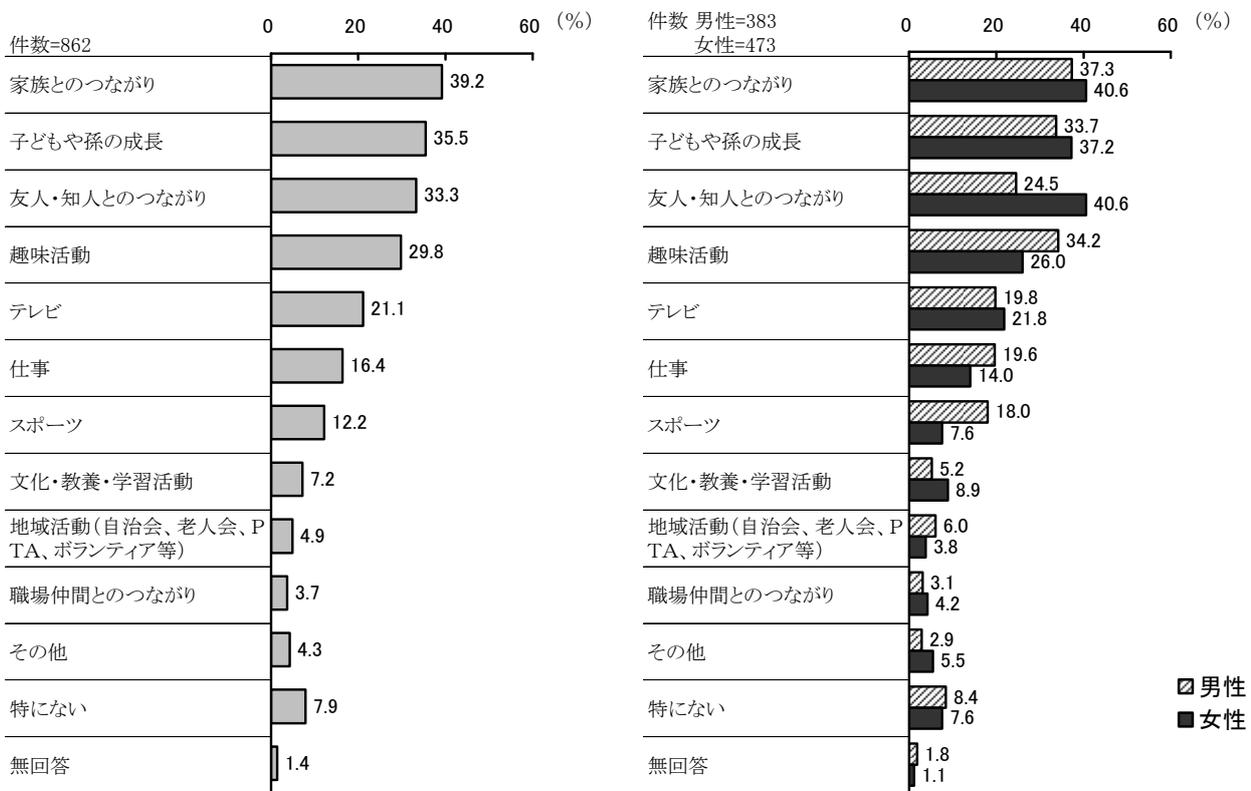


	件数	朝早く目がさめる (%)	夜中に何度も目がさめる (%)	寝つきが悪い (%)	間も眠くて、集中できない (%)	アルコールを飲む (%)	睡眠薬、精神安定剤などの睡眠補助品を使用する (%)	その他 (%)	特にない (%)	無回答 (%)
全体	862	28.9	28.1	17.9	11.9	8.6	7.7	2.4	31.6	3.9
男性20歳代	35	22.9	20.0	8.6	22.9	5.7	-	5.7	37.1	2.9
30歳代	64	21.9	23.4	17.2	21.9	10.9	-	-	39.1	1.6
40歳代	52	30.8	25.0	17.3	13.5	23.1	5.8	-	26.9	5.8
50歳代	57	42.1	28.1	15.8	15.8	15.8	7.0	-	24.6	1.8
60歳代	86	31.4	27.9	11.6	4.7	16.3	9.3	3.5	29.1	3.5
70歳以上	89	47.2	32.6	15.7	10.1	12.4	11.2	-	24.7	5.6
女性20歳代	60	8.3	18.3	26.7	30.0	3.3	-	3.3	38.3	1.7
30歳代	82	12.2	25.6	14.6	9.8	6.1	3.7	11.0	45.1	2.4
40歳代	65	26.2	30.8	13.8	15.4	3.1	3.1	1.5	38.5	-
50歳代	72	22.2	27.8	15.3	5.6	6.9	2.8	-	33.3	6.9
60歳代	93	35.5	30.1	23.7	6.5	4.3	10.8	2.2	30.1	4.3
70歳以上	99	34.3	36.4	24.2	6.1	1.0	21.2	2.0	20.2	8.1

4-9 生きがい、楽しみ

問24 現在の生きがい、楽しみとなっているものは何ですか。(〇は3つまで)

- 生きがい、楽しみは、「家族とのつながり」(39.2%)、「子どもや孫の成長」(35.5%)、「人・知人とのつながり」(33.3%)が高く、身近な人とのつながりが生きがいにつながっている人が多くなっている。これらに次いで「趣味活動」が29.8%で続いている。
- 性別でみると、「人・知人とのつながり」は女性の割合が高く、「スポーツ」は男性が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「家族とのつながり」は女性30歳代(56.1%)の割合が高く、「人・知人とのつながり」は男性20歳代と女性20~30歳代が高くなっている。また、「テレビ」は男女ともに70歳以上が高く3割以上となっている。

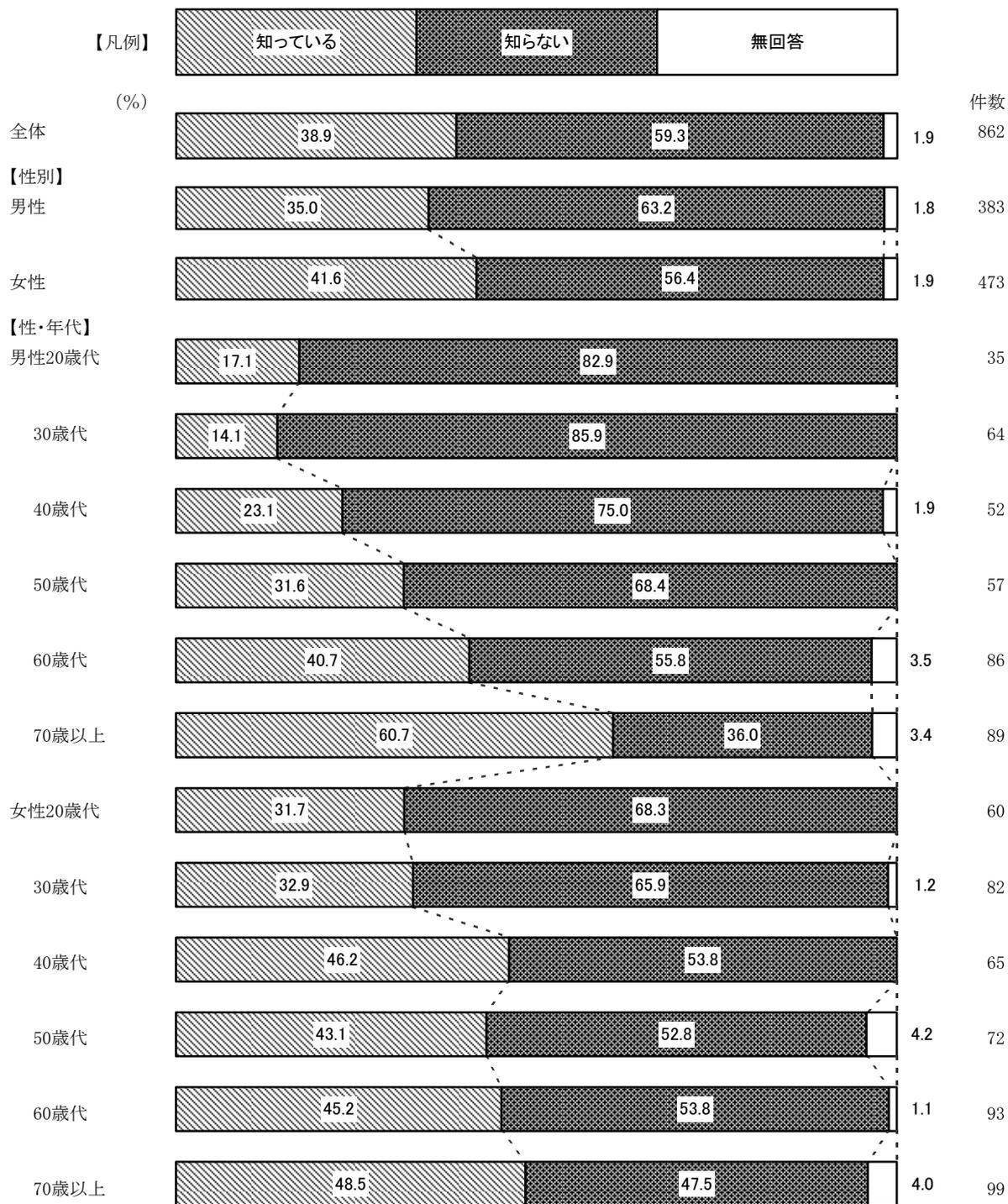


	件数	家族とのつながり	子どもや孫の成長	人・知人とのつながり	趣味活動	テレビ	仕事	スポーツ	文化・教養・学習活動	地域活動(自治会、老人会、PTA等)	職場仲間とのつながり	その他	特にない	無回答
全体	862	39.2	35.5	33.3	29.8	21.1	16.4	12.2	7.2	4.9	3.7	4.3	7.9	1.4
男性20歳代	35	28.6	17.1	51.4	40.0	2.9	20.0	31.4	5.7	-	5.7	2.9	14.3	-
30歳代	64	42.2	32.8	23.4	40.6	10.9	29.7	15.6	1.6	-	7.8	6.3	7.8	-
40歳代	52	32.7	30.8	23.1	36.5	9.6	23.1	23.1	3.8	1.9	-	1.9	11.5	1.9
50歳代	57	40.4	29.8	8.8	40.4	19.3	21.1	15.8	5.3	3.5	5.3	-	10.5	-
60歳代	86	39.5	40.7	24.4	25.6	22.1	16.3	18.6	9.3	8.1	2.3	2.3	5.8	2.3
70歳以上	89	36.0	38.2	25.8	30.3	37.1	12.4	12.4	4.5	14.6	-	3.4	5.6	4.5
女性20歳代	60	30.0	23.3	63.3	38.3	15.0	16.7	6.7	6.7	3.3	5.0	5.0	3.3	-
30歳代	82	56.1	42.7	47.6	22.0	15.9	13.4	3.7	9.8	-	3.7	7.3	7.3	1.2
40歳代	65	44.6	44.6	40.0	23.1	15.4	16.9	9.2	12.3	1.5	6.2	3.1	9.2	-
50歳代	72	45.8	23.6	29.2	25.0	18.1	19.4	15.3	11.1	2.8	4.2	9.7	6.9	2.8
60歳代	93	31.2	43.0	39.8	26.9	28.0	14.0	8.6	8.6	7.5	4.3	4.3	6.5	1.1
70歳以上	99	36.4	39.4	31.3	23.2	32.3	6.1	4.0	6.1	6.1	2.0	4.0	11.1	1.0

4-10 心の相談窓口の認知度

問25 保健センターや市役所に、心の健康相談窓口があることを知っていますか。(○は1つ)

- 心の健康相談窓口の認知度は、「知っている」が38.9%、「知らない」が59.3%で、知らない人が知っている人を上回っている。
- 性別で見ると、「知っている」は男性(35.0%)よりも女性(41.6%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「知っている」は男性60歳以上と女性40歳以上で4割以上となっているのに対し、男性20~30歳代では「知らない」が8割以上を占めている。

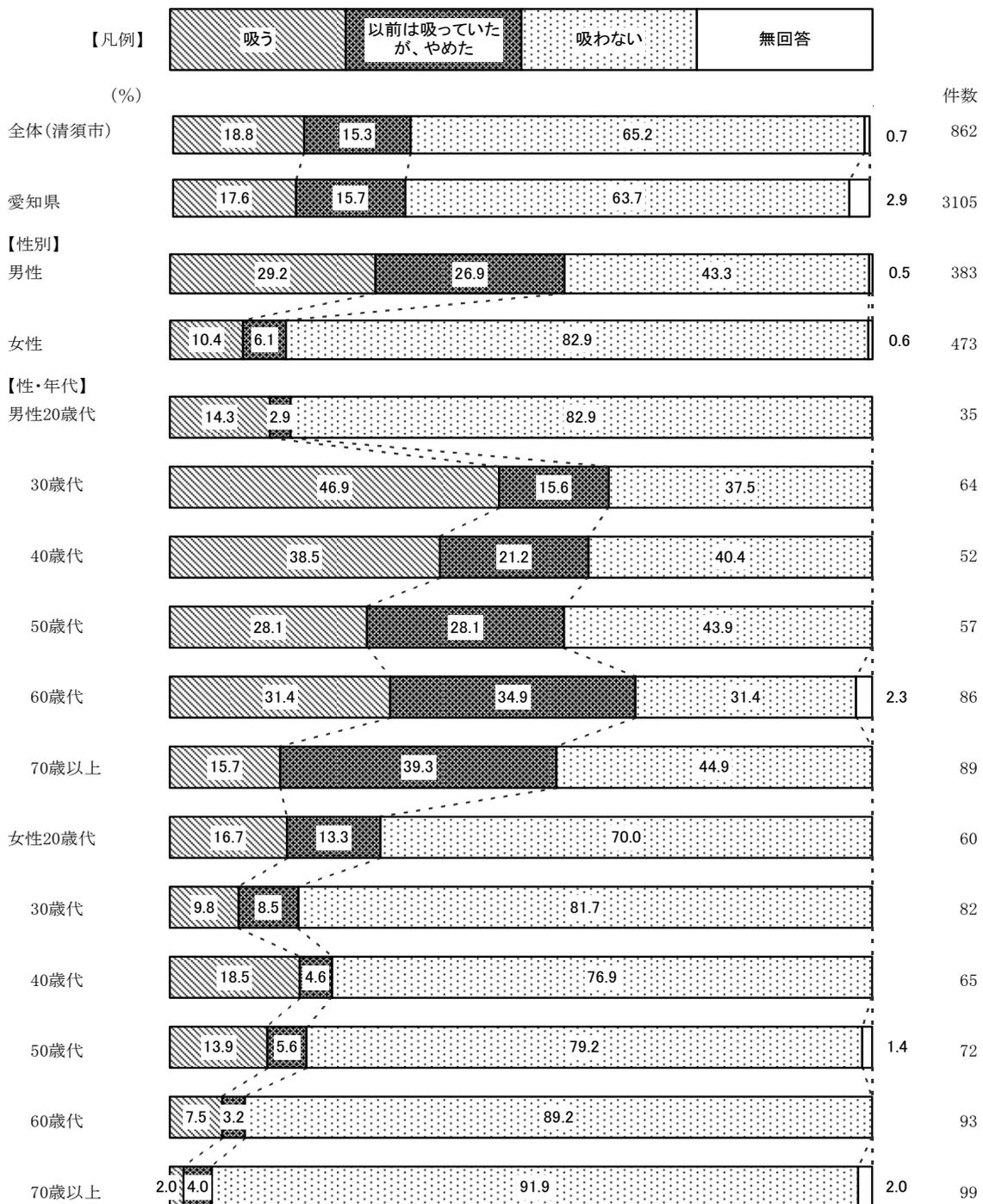


5 たばこについて

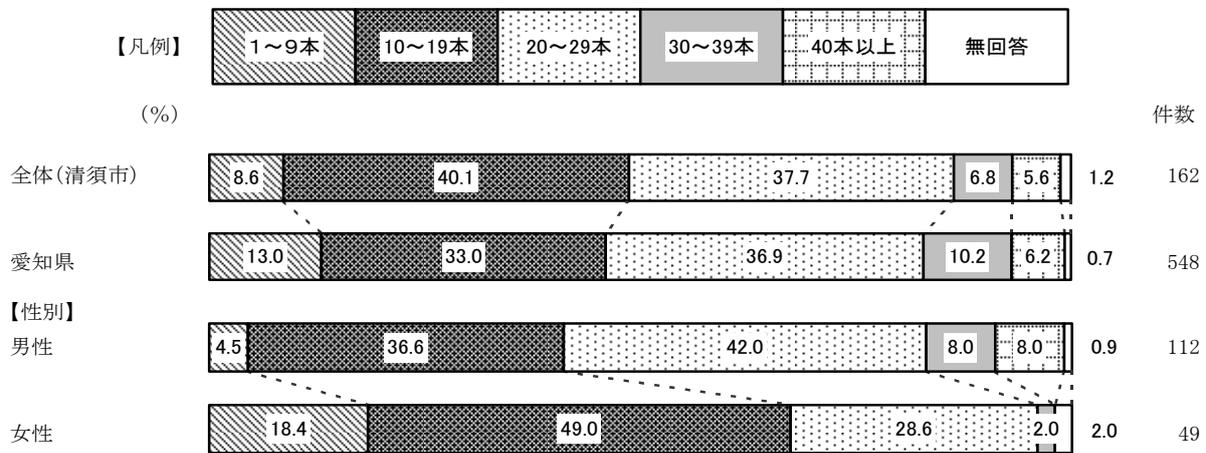
5-1 喫煙状況

問26 たばこを吸いますか。(○は1つ)

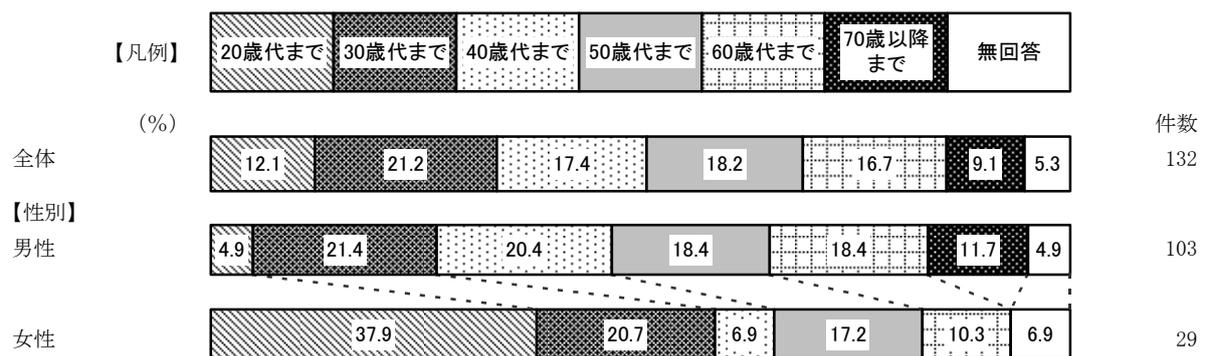
- 喫煙状況は、「う」が18.8%、「以前は吸っていたが、やめた」が15.3%で、喫煙者は34.1%となっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別で見ると、男性の喫煙者(56.1%)は半数以上、女性は(16.5%)はおよそ6人に1人の割合となっている。
- 性・年代別で見ると、男性で「う」人は30歳代をピークに年代が上がるにつれて、割合が低くなっている。



- 現在たばこを っている人の1日の喫煙本数は、「10～19本」(40.1%)、「20～29本」(37.7%)の割合が高くなっている。また、平均喫煙本数は17.5本となっている。
- 愛知県と比較すると、「10～19本」は7.1ポイント下回っている。
- 性別で見ると、平均喫煙本数は男性が19.2本、女性が13.3本で、男性が多くなっている。



- 以 前 たばこを っていた人の喫煙 時期は、「30歳代まで」が21.2%、「50歳代まで」が18.2%、「40歳代まで」が17.4%などとなっている。また、平均では46.8歳となっている。
- 性別で見ると、男性は平均49.4歳まで、女性は37.3歳までとなっている。



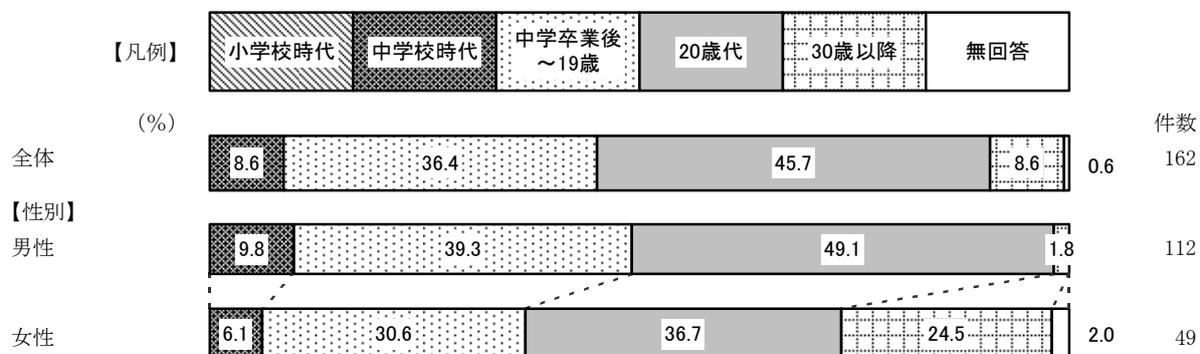
5-2 喫煙開始時期

【問26で「吸う」と答えた方に伺います】

問26-1 吸い始めたのはいつからですか。(〇は1つ)

- 現在たばこを吸っている人の、たばこを吸い始めた時期は、「20歳代」が45.7%で最も高くなっている。また、『未成年※』から吸い始めた人は45.0%となっている。
- 性別で見ると、男女ともに「20歳代」の割合が最も高いものの、『未成年』からの喫煙は男性が49.1%、女性が36.7%となっている。

※「中学校時代」「中学卒業後～19歳」の計

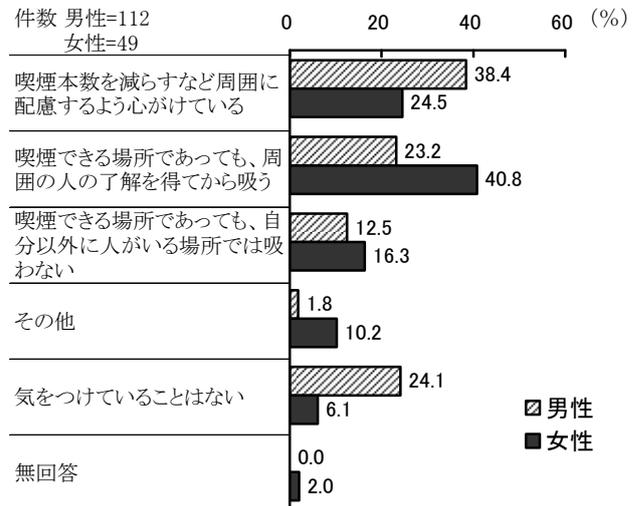
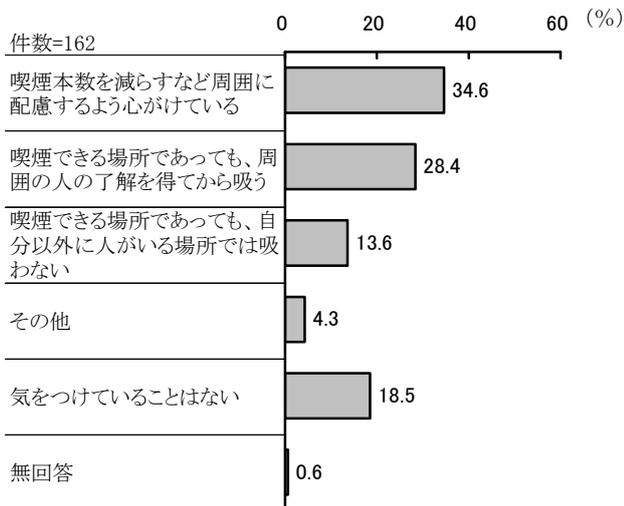


5-3 受動喫煙への配慮

【問 26 で「吸う」と答えた方に伺います】

問26-2 他人がいる場所でたばこを吸う時に、周囲の迷惑にならないよう気をつけていることはありますか。（○は1つだけ）

- 喫煙時に周囲の迷惑にならないよう気をつけていることは、「喫煙本数を減らすなど周囲に配慮するよう心がけている」が34.6%で最も高く、次いで「喫煙できる場所であっても、周囲の人の了解を得てから吸う」が28.4%、「喫煙できる場所であっても、自分以外に人がいる場合には吸わない」は13.6%となっている。一方、「気をつけていることはない」は18.5%みられる。
- 性別でみると、「喫煙本数を減らすなど周囲に配慮するよう心がけている」「気をつけていることはない」は男性の割合が高く、「喫煙できる場所であっても、周囲の人の了解を得てから吸う」は女性が高くなっている。

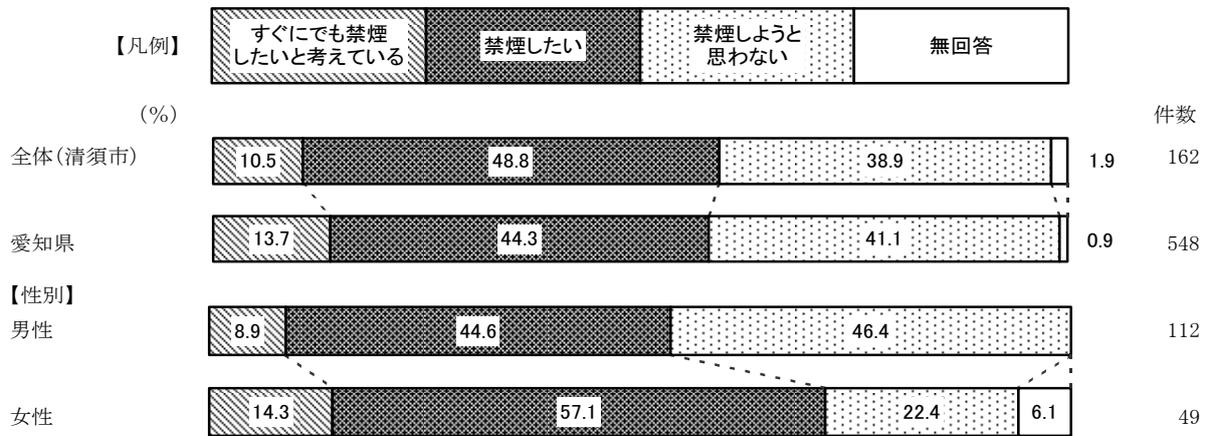


5-4 禁煙意向

【問 26 で「吸う」と答えた方に伺います】

問26-3 禁煙したいと思いますか。（○は1つ）

- 禁煙意向は、「すぐにも禁煙したいと考えている」（10.5%）、「禁煙したい」（48.8%）を合わせた『禁煙意向がある』人は 59.3%と約6割を占めている。一方、「禁煙しようと思わない」は 38.9%となっている。
- 愛知県と比較すると、「禁煙したい」は若干上回っている。
- 性別で見ると、『禁煙意向がある』は男性（53.5%）よりも女性（71.4%）の割合が高くなっている。

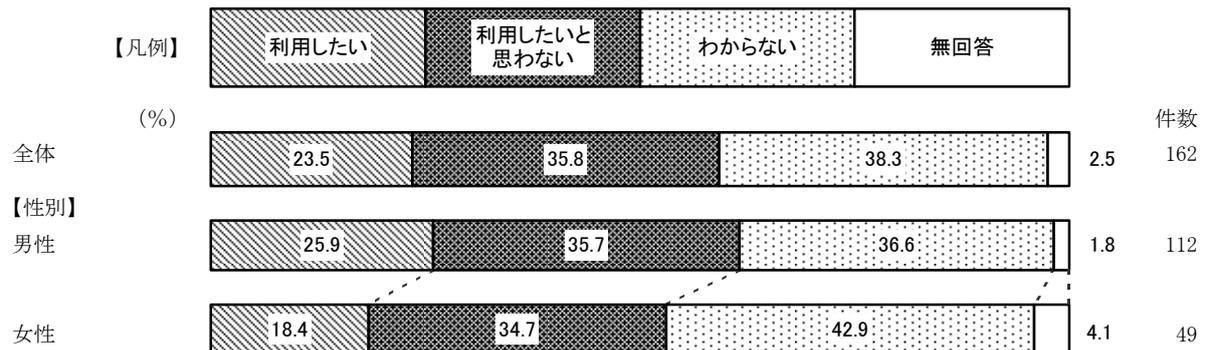


5-5 禁煙外来の利用意向

【問 26 で「吸う」と答えた方に伺います】

問26-4 保険適用となった禁煙外来（医師の指示をあおぎながら禁煙をめざすもの）を利用したいと思いますか。（○は1つ）

- 禁煙外来の利用意向は、「利用したい」が 23.5%で、およそ4人に1人の割合となっている。
- 性別で見ると、「利用したい」は女性（18.4%）よりも男性（25.9%）の割合が高くなっている。

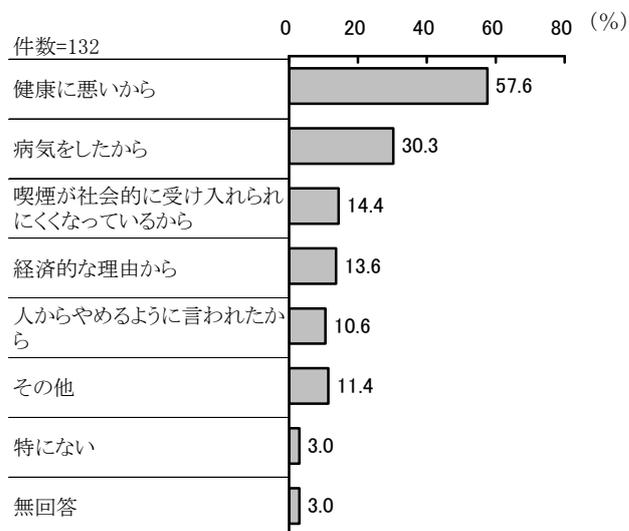


5-6 禁煙の動機

【問26で「以前は吸っていたが、やめた」と答えた方に伺います】

問26-5 禁煙をした動機は何ですか。(〇はいくつでも)

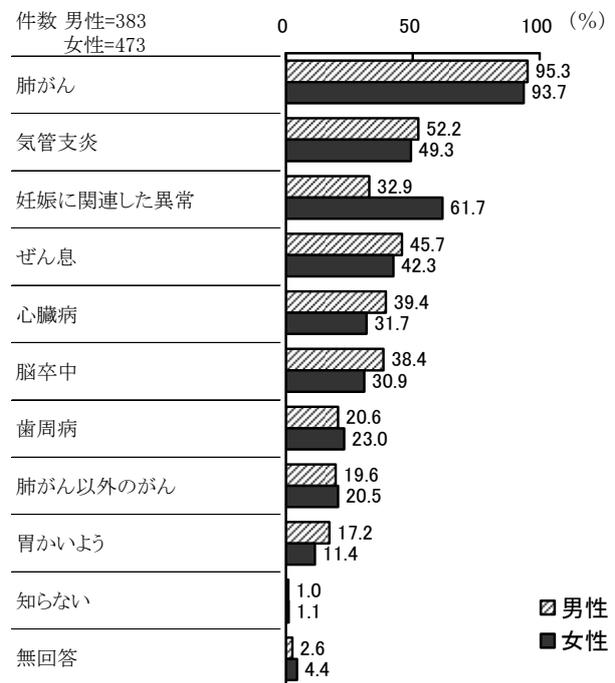
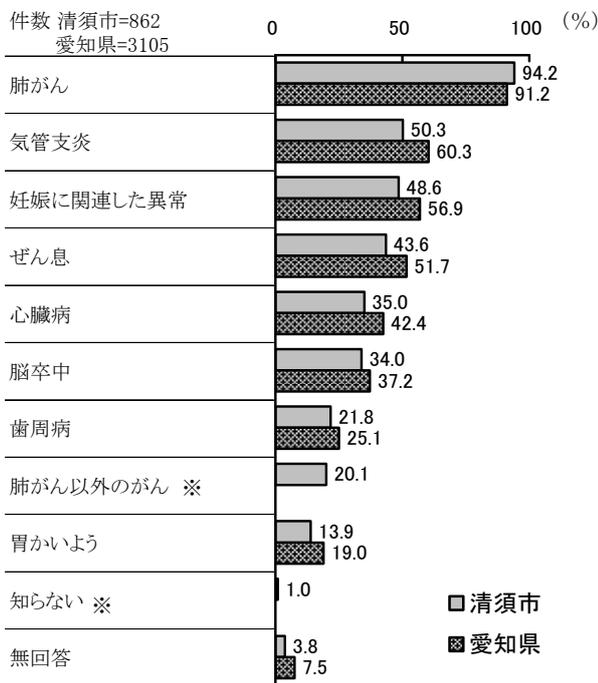
- 禁煙をした動機は、「健康に いかから」(57.6%) が他の項目を27.3ポイント以上引き離して高くなっている。これに次いで「病気をしたから」が30.3%となっている。



5-7 たばこが影響する病気

問27 たばこが影響する病気として知っているのはどれですか。(〇はいくつでも)

- たばこが影響する病気として知っているものは、「がん」が94.2%では全員が認知している。これに次いで「気管支炎」が50.3%、「妊娠に関連した異常」が48.6%、「ぜん息」が43.6%などとなっている。
- 愛知県と比較すると、「がん」以外の病気については、愛知県よりも低い認知度となっている。
- 性別でみると、「妊娠に関連した異常」は女性(61.7%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「気管支炎」「心臓病」は男性50~60歳代の割合が高く、「妊娠に関連した異常」は男性20歳代と女性20~40歳代が高くなっている。



	件数	がん	気管支炎	妊娠に関連した異常	ぜん息	心臓病	脳卒中	歯周病	肺がん以外のがん	胃かいよう	知らない	無回答
全体 (%)	862	94.2	50.3	48.6	43.6	35.0	34.0	21.8	20.1	13.9	1.0	3.8
男性20歳代	35	88.6	34.3	68.6	25.7	22.9	34.3	31.4	34.3	5.7	5.7	5.7
30歳代	64	98.4	35.9	35.9	26.6	25.0	43.8	26.6	9.4	10.9	-	1.6
40歳代	52	98.1	50.0	46.2	46.2	34.6	40.4	26.9	28.8	15.4	1.9	-
50歳代	57	96.5	66.7	47.4	57.9	54.4	43.9	26.3	24.6	17.5	1.8	1.8
60歳代	86	95.3	60.5	18.6	52.3	53.5	40.7	17.4	18.6	24.4	-	1.2
70歳以上	89	93.3	55.1	13.5	52.8	36.0	29.2	7.9	13.5	20.2	-	5.6
女性20歳代	60	100.0	55.0	88.3	46.7	25.0	41.7	31.7	30.0	13.3	-	-
30歳代	82	95.1	40.2	82.9	34.1	19.5	24.4	28.0	18.3	9.8	1.2	2.4
40歳代	65	98.5	41.5	78.5	44.6	38.5	43.1	32.3	32.3	18.5	-	1.5
50歳代	72	93.1	56.9	59.7	47.2	37.5	34.7	25.0	12.5	4.2	1.4	1.4
60歳代	93	93.5	52.7	52.7	38.7	34.4	21.5	18.3	17.2	6.5	-	6.5
70歳以上	99	86.9	49.5	28.3	44.4	35.4	28.3	11.1	18.2	17.2	3.0	10.1

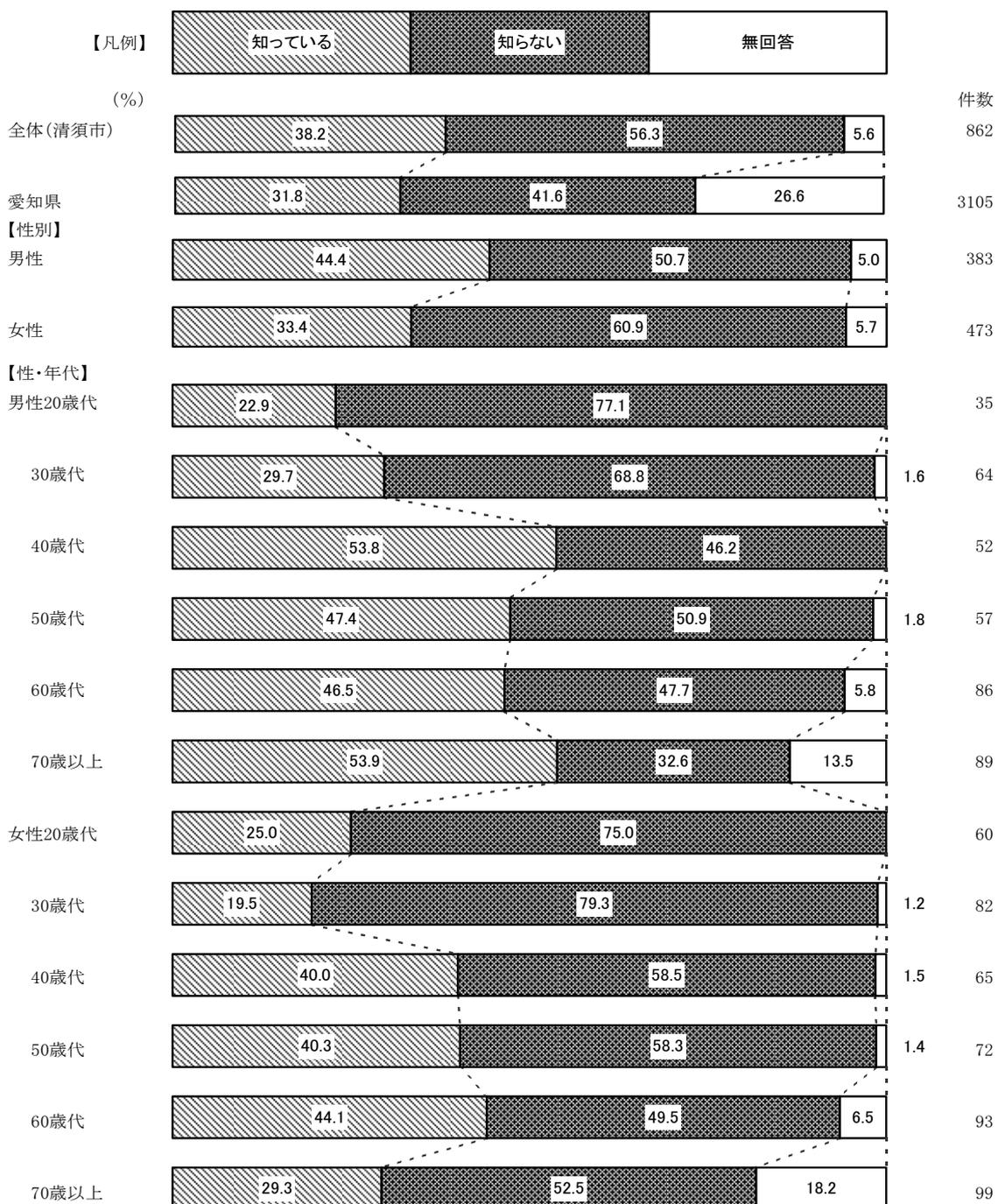
※ 「がん以外のがん」「知らない」は清須市だけの項目

6 お酒について

6-1 節度ある適度な飲酒の認知度

問28 「節度ある適度な飲酒」として、1日平均ビール中瓶1本程度（純アルコールで約20g）とされていますが、あなたはこのことを知っていますか。（○は1つ）

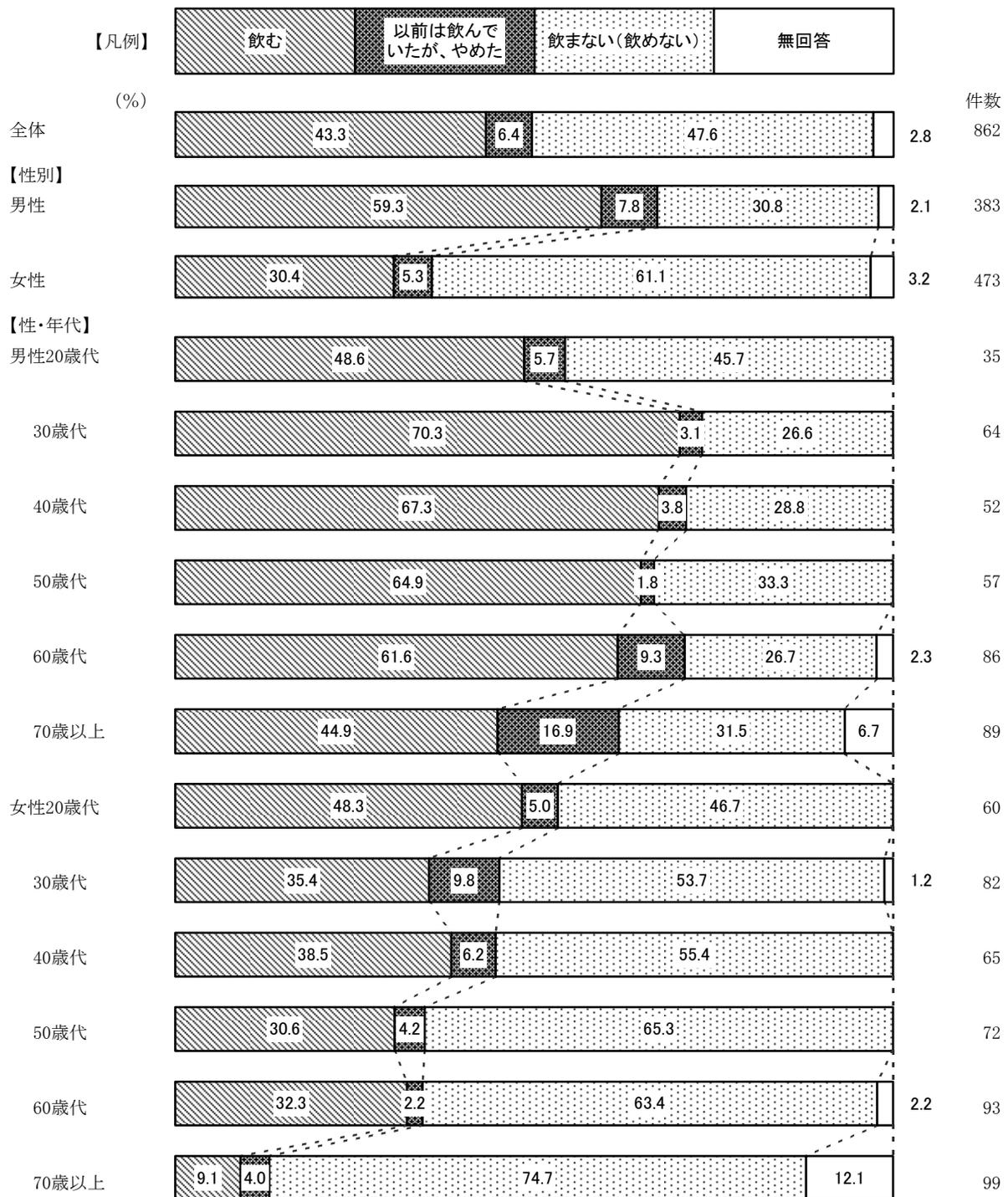
- 節度ある適度な飲酒の認知度は、「知っている」が38.2%、「知らない」が56.3%で、知らない人の割合が高くなっている。
- 愛知県と比較すると、「知っている」は6.4ポイント、「知らない」は14.7ポイント上回っている。
- 性別でみると、「知っている」は女性（33.4%）よりも男性（44.4%）の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「知らない」は男女ともに20～30歳代の若年層で高くなっている。



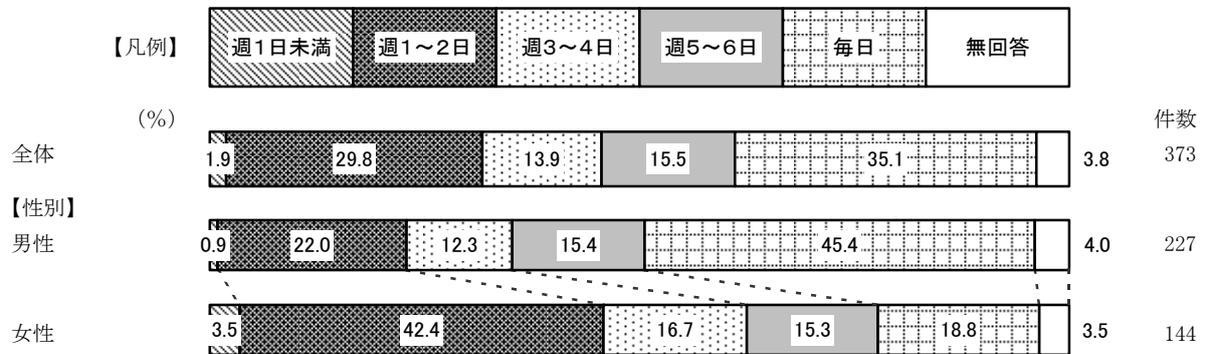
6-2 飲酒状況

問29 お酒（洋酒・日本酒・ビール・焼酎・ワイン等）を飲みますか。（○は1つ）

- 飲酒状況は、「飲む」が43.3%、「以前は飲んでいたが、やめた」が6.4%となっている。
- 性別で見ると、「飲む」は女性（30.4%）よりも男性（59.3%）の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「飲む」は男性30～60歳代の割合が高く、6割以上を占めている。一方、「飲まない（飲めない）」は女性50歳以上で6割以上を占めている。



- 飲む人の飲酒日数は「毎日」が 35.1%で最も高く、次いで「週1～2日」が 29.8%となっている。また、平均飲酒日数は 4.4 日となっている。
- 性別でみると、「週1～2日」は女性の割合が高く、「毎日」は男性が高くなっている。また、平均飲酒日数は、男性が 5.0 日、女性が 3.4 日となっている。

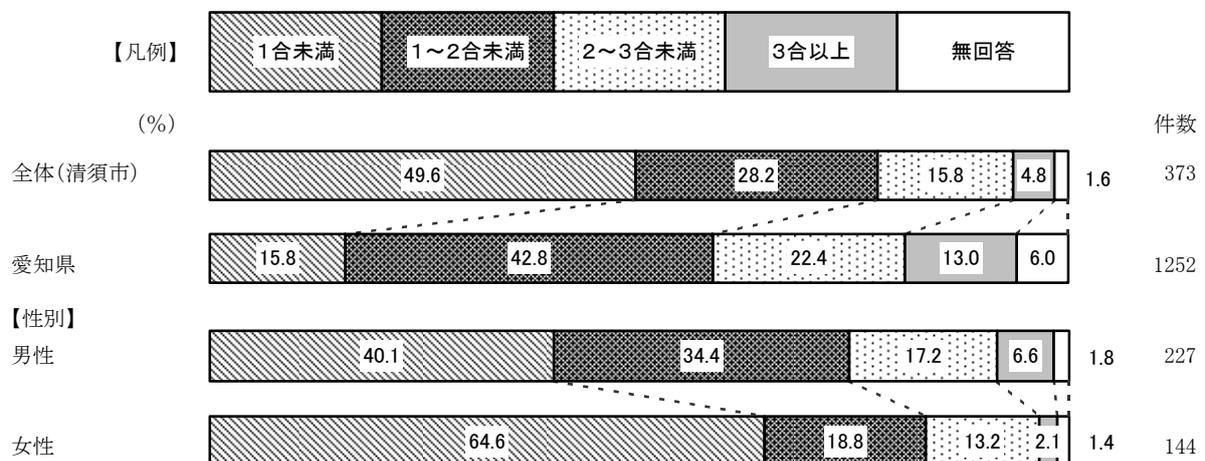


6-3 飲酒量

【問 29 で「飲む」と答えた方に伺います】

問29-1 1日に飲むお酒の量は平均してどのくらいですか。(〇は1つ)

- 1日の飲酒量は、「1合未満」が 49.6%と約半数を占め、次いで「1～2合未満」が 28.2%、「2～3合未満」が 15.8%、「3合以上」が 4.8%となっている。
- 愛知県と比較すると、「1合未満」は 33.8 ポイント上回り、「3合以上」は 8.2 ポイント下回っていることから、愛知県よりも飲酒量が少ないことがうかがえる。
- 性別でみると、「1合未満」は女性の割合が高く、「1～2合未満」は男性が高くなっている。

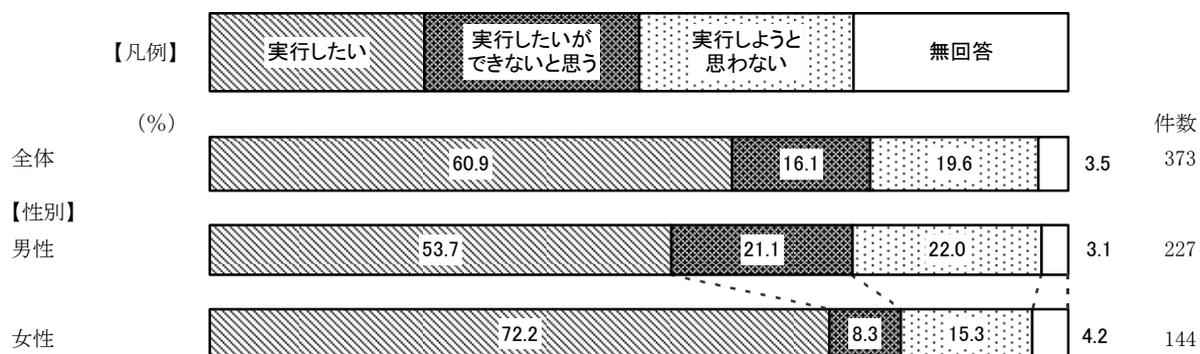


6-4 節度ある適度な飲酒の実施意向

【問 29 で「飲む」と答えた方に伺います】

問29-2 今後、「節度ある適度な飲酒」（1日平均ビール中瓶1本程度の飲酒）を実行したいと思
いますか。（○は1つ）

- 節度ある適度な飲酒の実施意向は、「実行したい」（60.9%）と「実行したいができないと思う」（16.1%）を合わせた『実行意向がある』人は77.0%を占めている。
- 性別でみると、『実行意向がある』は男女ともに7割以上を占めているが、「実行したいができないと思う」は女性（8.3%）よりも男性（21.1%）の割合が高くなっている。

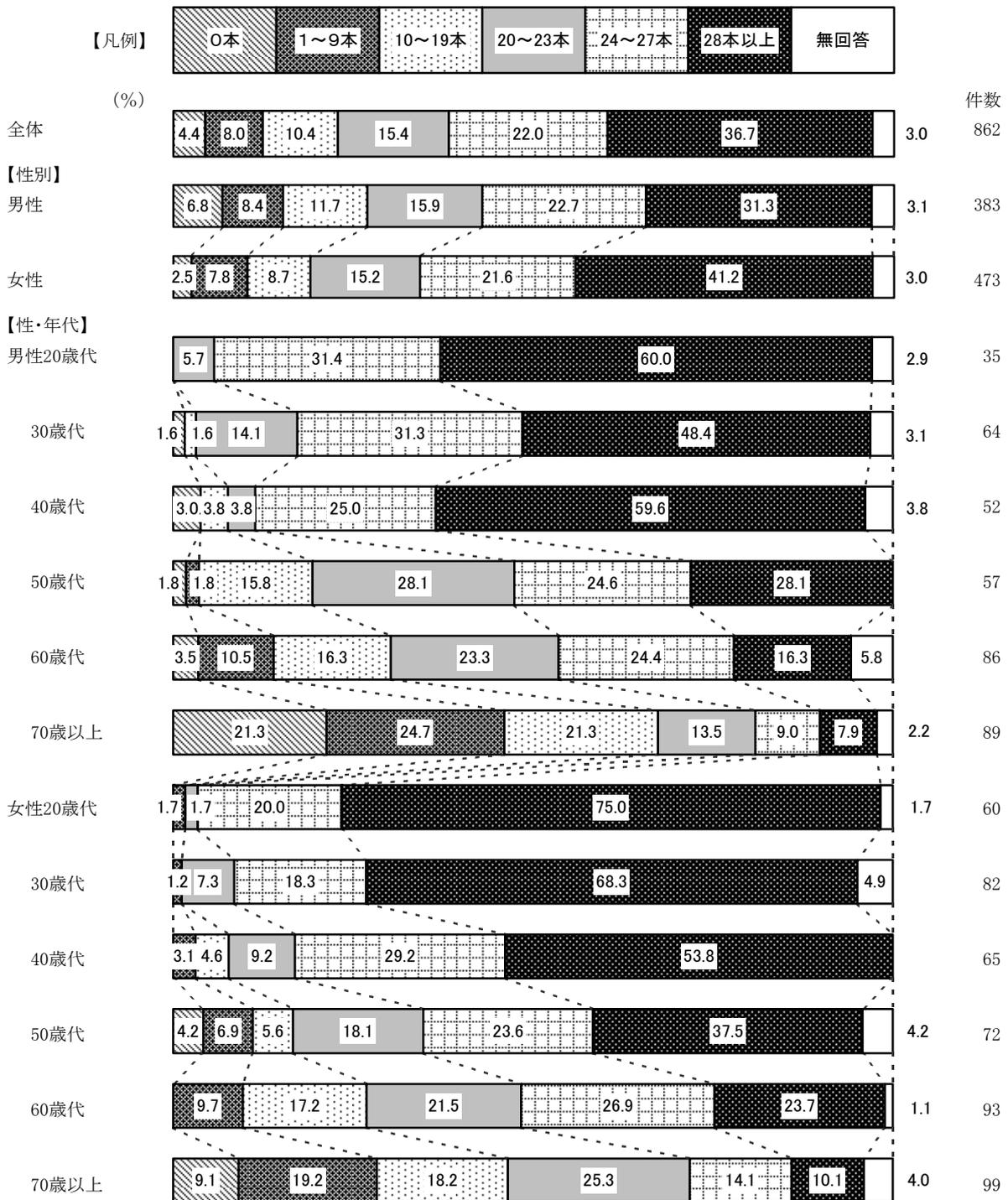


7 歯の健康について

7-1 残存歯数

問30 現在、自分の歯は何本ありますか。(〇は1つ)

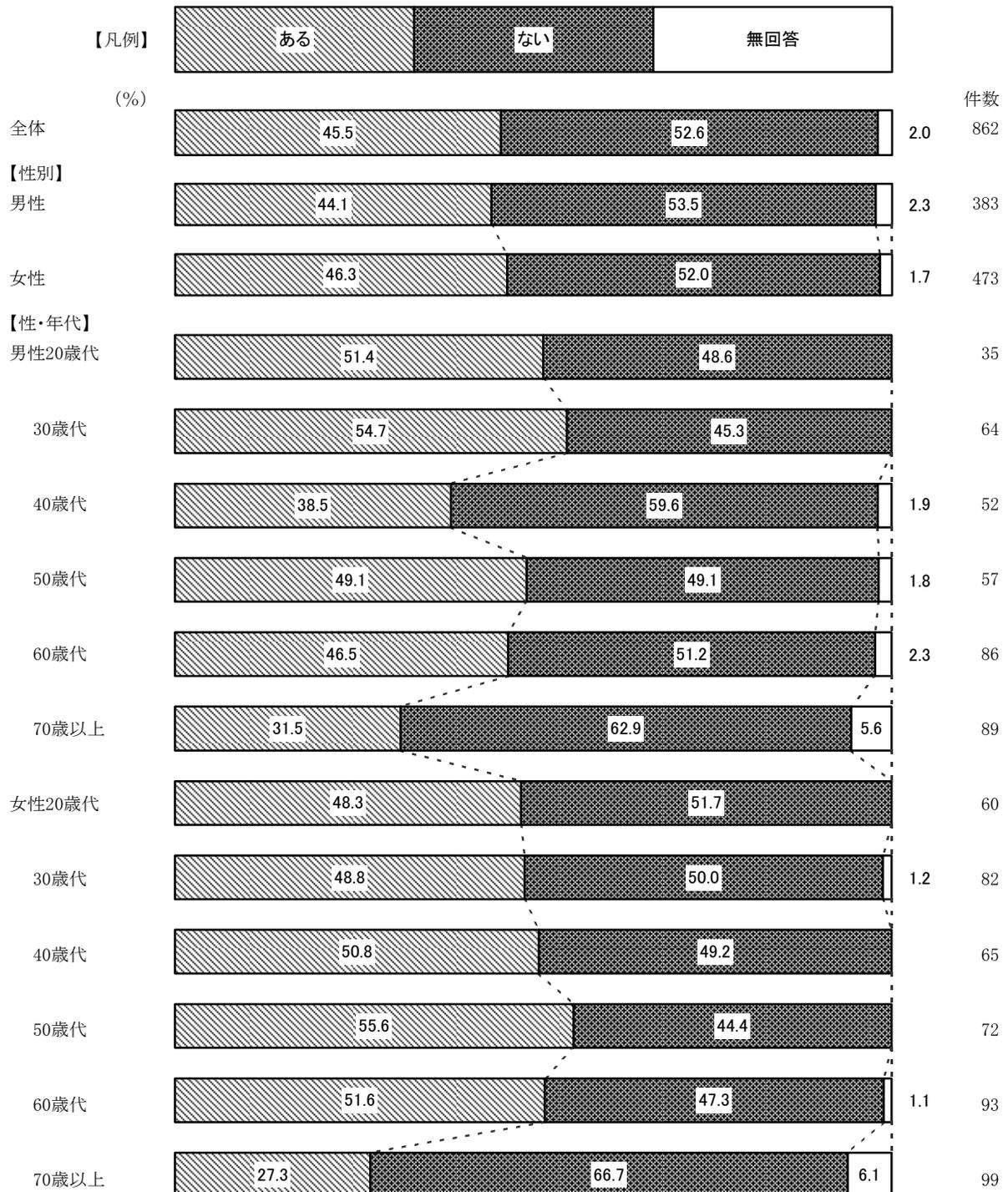
- 自分の歯の本数は、「28本以上」が36.7%で最も高く、次いで「24～27本」が22.0%となっている。一方、「1本」は4.4%となっている。
- 性別でみると、「28本以上」は男性(31.3%)よりも女性(41.2%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「28本以上」は男女ともに概ね年代が高いほど割合が低くなり、60歳以上では3割以下となっている。



7-2 歯ぐきの異常の有無

問31 歯ぐきがはれたり、歯みがき時に出血することがありますか。(○は1つ)

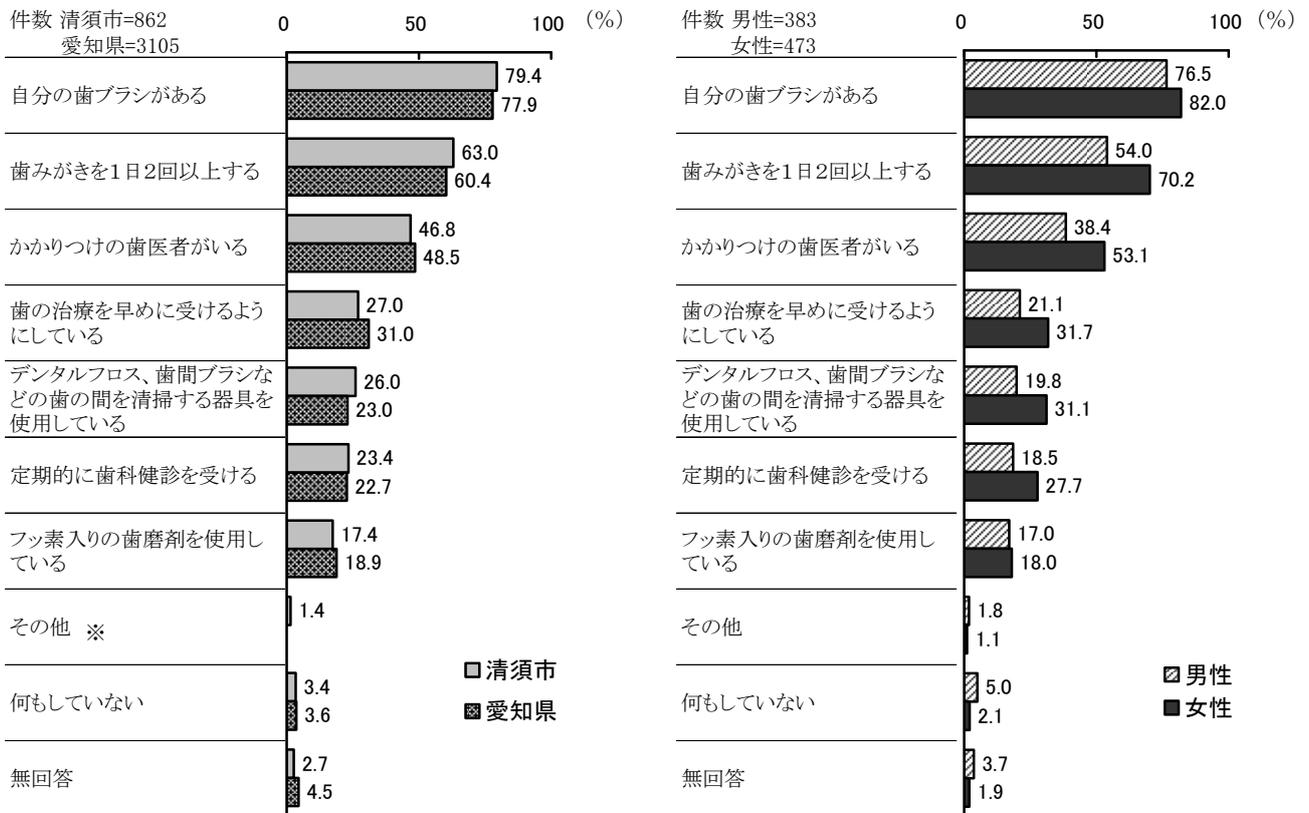
- 歯ぐきがはれたりすることは、「ある」が45.5%、「ない」が52.6%となっている。
- 性別でも、大きな差はみられない。
- 性・年代別で見ると、「ない」は男女ともに70歳以上の割合が高く、6割以上を占めている。



7-3 歯の健康管理

問32 歯の健康管理として、どのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

- 歯の健康管理として、していることは、「自分の歯 ブラシがある」が79.4%で最も高く、次いで「歯みがきを1日2回以上する」が63.0%、「かかりつけの歯医者がある」が46.8%などとなっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別でみると、すべての項目において女性の割合が高くなっており、最も差がある「歯みがきを1日2回以上する」は女性が16.2ポイント上回っている。



※「その他」は清須市のみの項目

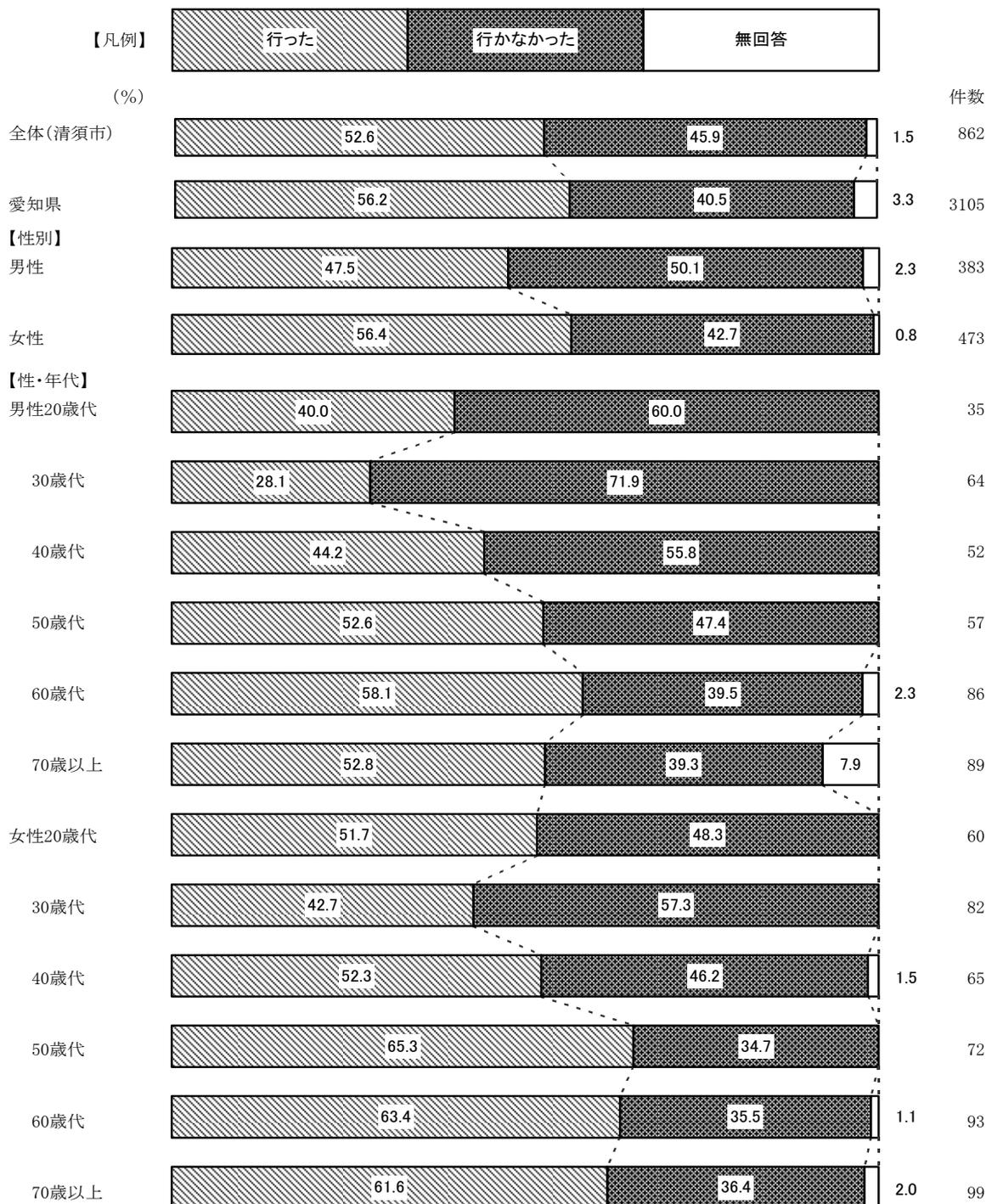
- 「かかりつけの歯医者がある」「歯のクリーニングを受けるようにしている」は女性60歳以上の割合が高く、「デンタルフロス、歯間ブラシなどの歯の間を清潔にする器具を用いている」は女性40～60歳代が高く約4割となっている。

(%)	件数	自分の歯 クリーニングがある	歯みがきを1日2回以上する	かかりつけの歯医者がある	歯のクリーニングを受けるようにしている	デンタルフロス、歯間ブラシなどの歯の間を清潔にする器具を用いている	定期的に歯科健診を受ける	歯磨き粉の入れ歯専用	その他	何もしていない	無回答
全体	862	79.4	63.0	46.8	27.0	26.0	23.4	17.4	1.4	3.4	2.7
男性20歳代	35	91.4	74.3	25.7	20.0	20.0	22.9	22.9	2.9	-	-
30歳代	64	84.4	65.6	17.2	10.9	14.1	10.9	20.3	3.1	4.7	-
40歳代	52	75.0	53.8	34.6	19.2	28.8	11.5	23.1	-	3.8	-
50歳代	57	78.9	50.9	33.3	17.5	21.1	14.0	10.5	-	10.5	1.8
60歳代	86	77.9	53.5	52.3	30.2	25.6	26.7	7.0	2.3	7.0	2.3
70歳以上	89	62.9	40.4	50.6	23.6	12.4	21.3	22.5	2.2	2.2	12.4
女性20歳代	60	91.7	75.0	31.7	23.3	16.7	15.0	20.0	-	3.3	-
30歳代	82	82.9	73.2	39.0	19.5	31.7	20.7	20.7	1.2	4.9	-
40歳代	65	76.9	75.4	49.2	35.4	40.0	35.4	23.1	1.5	-	1.5
50歳代	72	86.1	61.1	59.7	30.6	37.5	34.7	19.4	1.4	-	1.4
60歳代	93	81.7	79.6	63.4	40.9	38.7	31.2	15.1	1.1	-	1.1
70歳以上	99	75.8	58.6	65.7	37.4	21.2	28.3	13.1	1.0	4.0	6.1

7-4 歯科医院の受診状況

問33 この1年間に歯科医院に行きましたか。(○は1つ)

- 歯科医院の受診状況は、「行った」が52.6%、「行かなかった」が45.9%となっている。
- 愛知県と比較すると、「行かなかった」は5.4ポイント上回っている。
- 性別で見ると、「行った」は男性(47.5%)よりも女性(56.4%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「行った」は女性50歳以上の割合が高く、6割を超えている。また、「行かなかった」は男女ともに30歳代の割合が最も高くなっている。

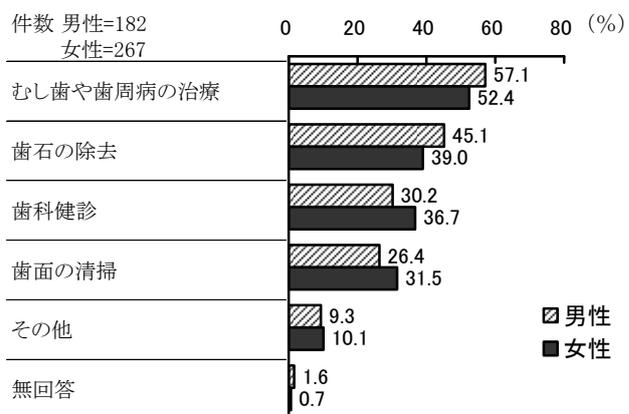
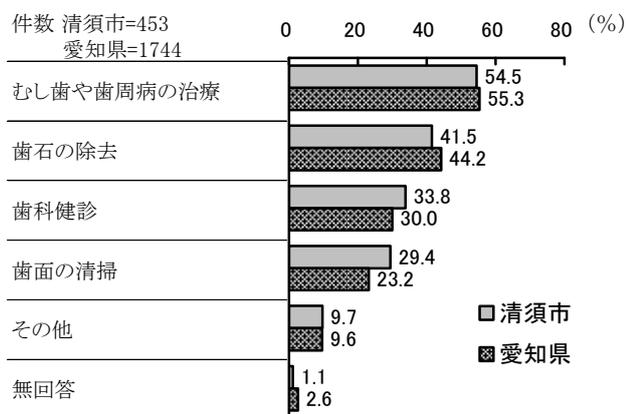


7-5 歯科医院の受診理由

【問33で「行った」と答えた方に伺います】

問33-1 どのようなことで行きましたか。(〇はいくつでも)

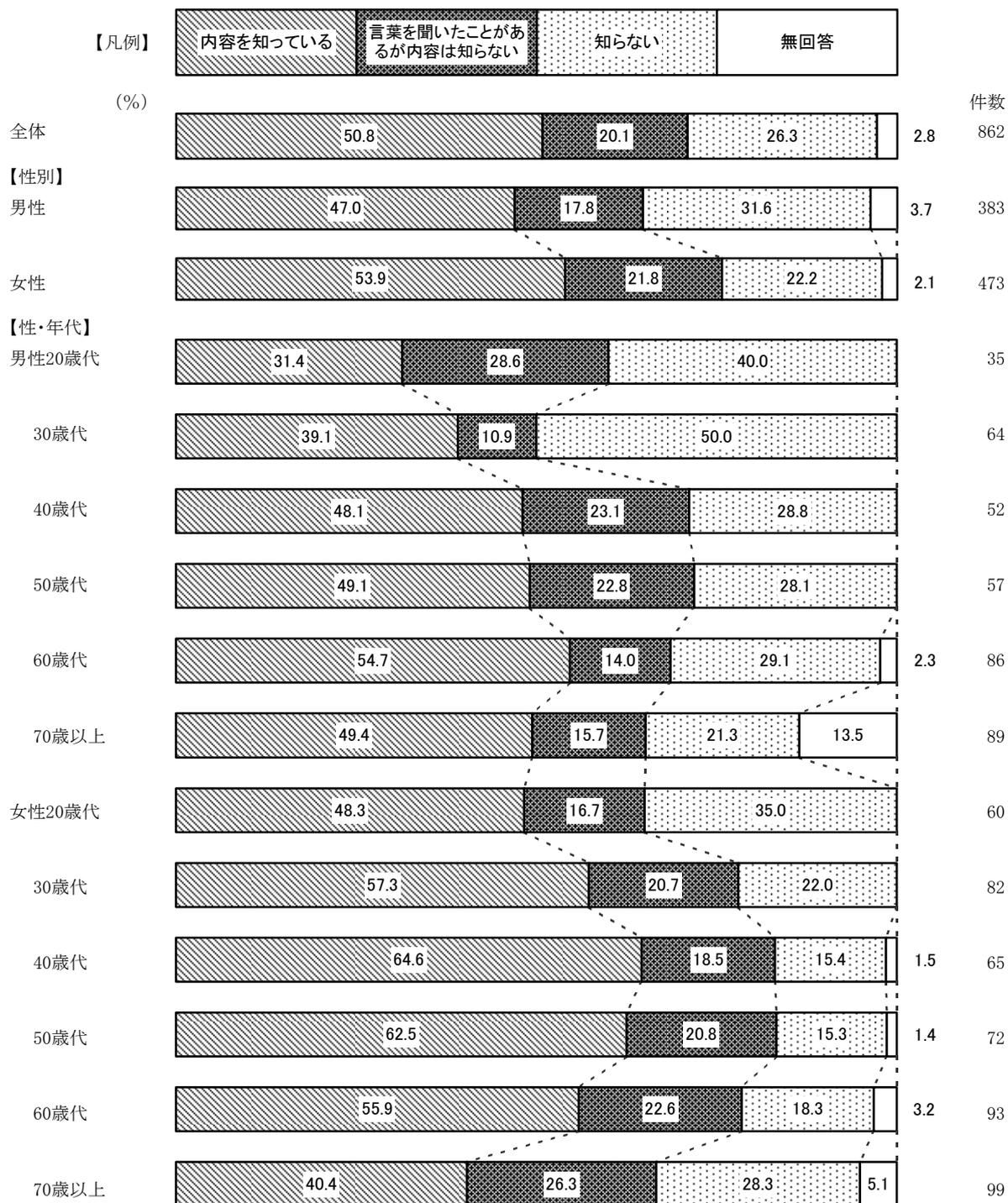
- 歯科医院を受診した理由は、「むし歯や歯周病の治療」が54.5%で最も高く、次いで「歯石の除去」が41.5%、「歯科健診」が33.8%、「歯面の清掃」が29.4%となっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別でみても、大きな差はみられない。



7-6 8020 運動の認知度

問34 「8020（ハチマルニイマル）運動」（80歳になっても20本以上自分の歯を残そうという運動）について知っていますか。（○は1つ）

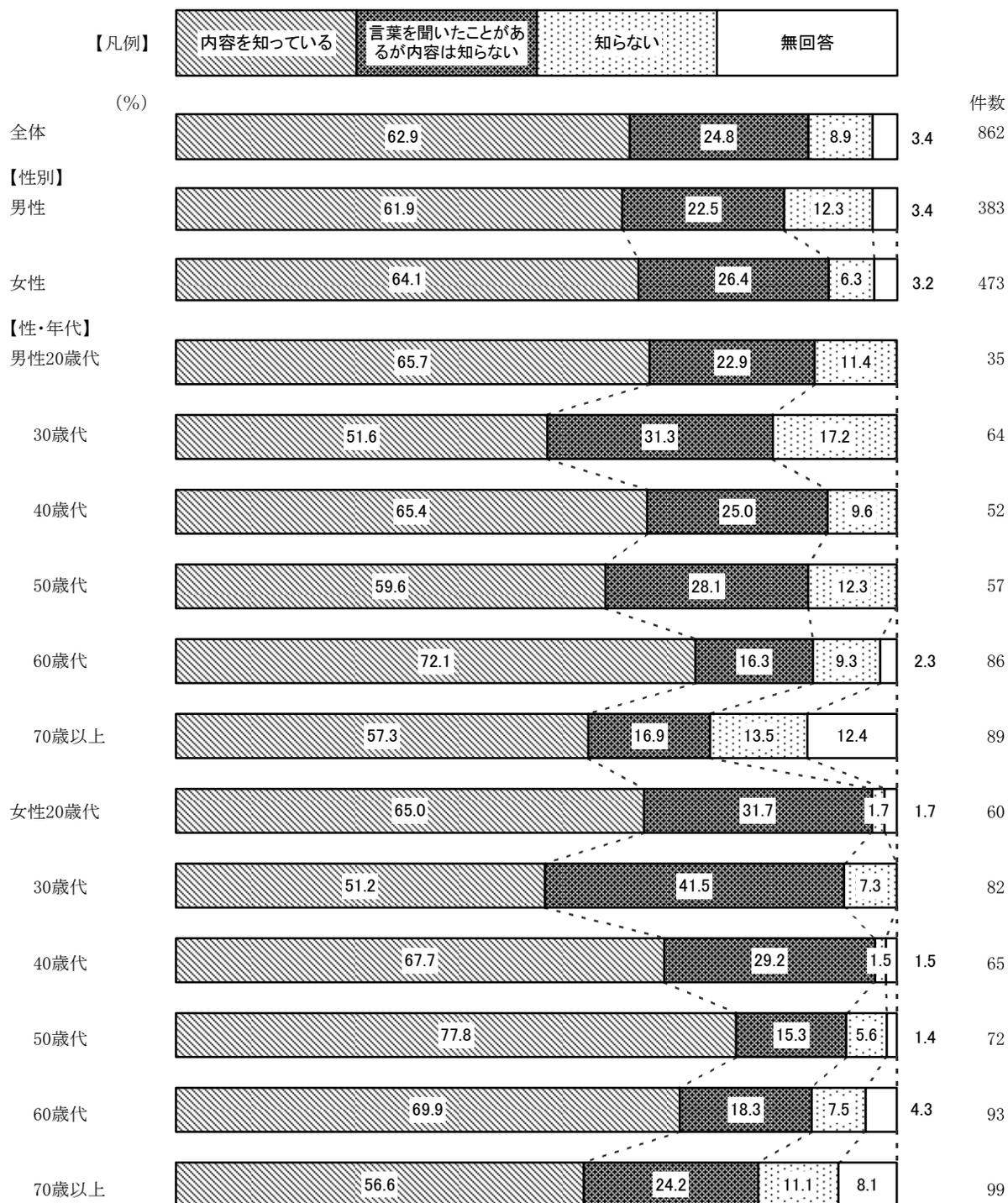
- 8020 運動の認知度は、「内容を知っている」が 50.8%で最も高く、これに「言葉を聞いたことがあるが内容は知らない」(20.1%)を合わせた認知者は70.9%と7割を占めている。
- 性別でみると、認知者の割合は男性（64.8%）よりも女性（75.7%）が高くなっている。
- 性・年代別でみると、認知者の割合は女性30～60歳代で高く、約8割を占めている。



7-7 歯周病の認知度

問35 「歯周病」（歯肉の炎症が進行することで歯を支えている組織が破壊される病気）について知っていますか。（○は1つ）

- 歯周病の認知度は、「内容を知っている」が62.9%で最も高く、これに「内容を聞いたことがあるが内容は知らない」（24.8%）を合わせた認知者は87.7%を占めている。
- 性別でみると、認知者の割合は男性（84.4%）よりも女性（90.5%）が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「内容を知っている」は男女ともに30歳代で低く約5割となっている。



8 健康全般について

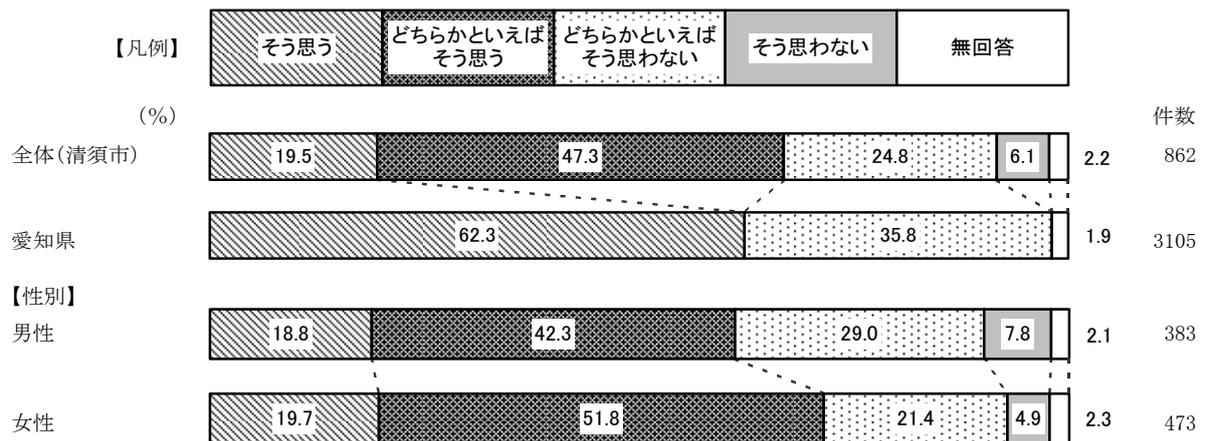
8-1 健康的な生活習慣

問36 現在、健康的な生活習慣を送っていると思いますか。(○は1つ)

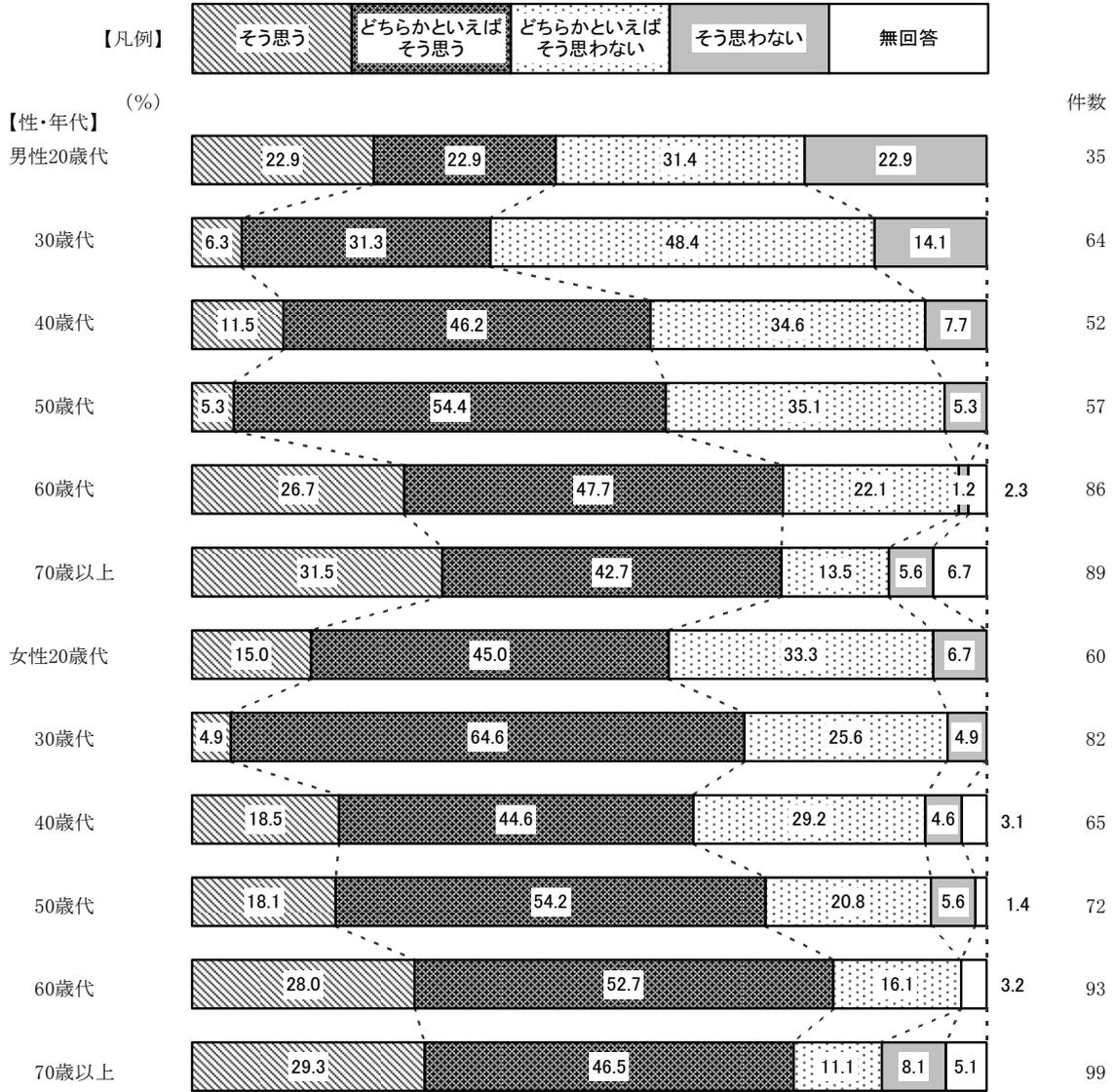
- 健康的な生活習慣を送っているかどうかたずねたところ、「どちらかといえばそう思う」が47.3%で最も高く、これに「そう思う」(19.5%)を合わせた『そう思う』人は66.8%を占めている。一方、『そう思わない※1』は30.9%となっている。
- 愛知県と比較(※2)すると、『そう思う』は清須市が66.8%、愛知県が62.3%で4.5ポイント上回っている。
- 性別でみると、『そう思う』は男性(61.1%)よりも女性(71.5%)の割合が高くなっている。

※1 「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の計

※2 愛知県は「思う」「思わない」の二



- 性・年代別でみると、『そう思う』は男性 60 歳以上と女性 50 歳以上の割合が高く、7 割以上を占めている。一方、『そう思わない』は男性 20～30 歳代が高くなっている。

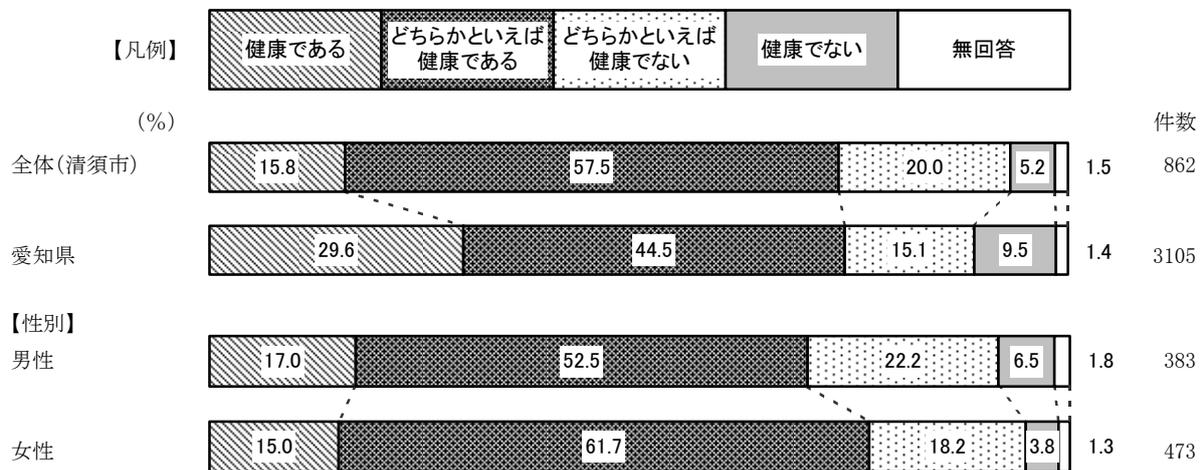


8-2 健康状態

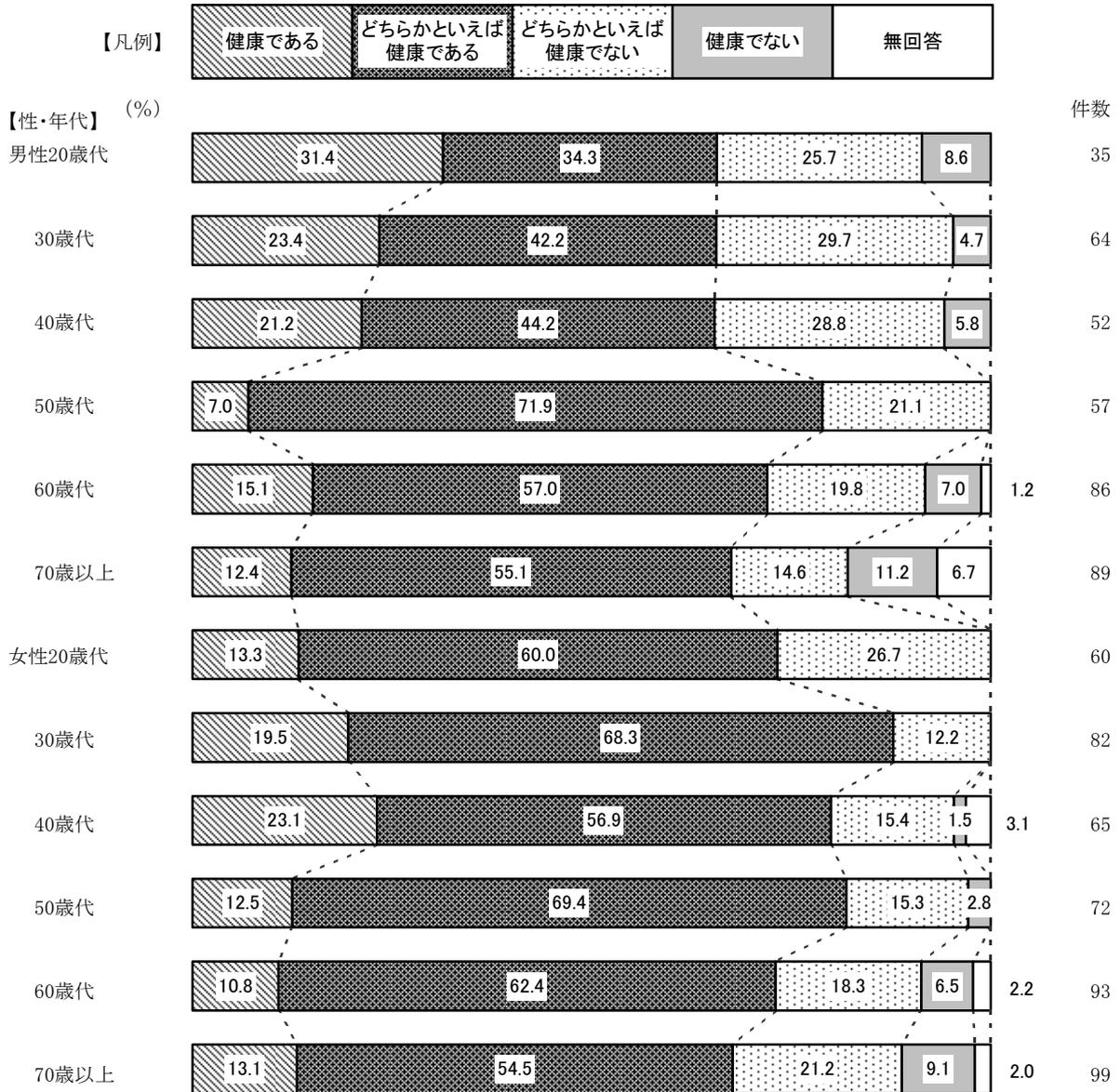
問37 自分の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

- 健康状態については、「どちらかといえば健康である」が57.5%で最も高く、これに「健康である」(15.8%)を合わせた『健康である』人は73.3%を占めている。一方、『健康でない※』は25.2%となっている。
- 愛知県と比較すると、『健康である』に大きな差はみられないが、「健康である」は13.8ポイント下回っている。
- 性別で見ると、『健康である』は、男性(69.5%)よりも女性(76.7%)の割合が高くなっている。

※「どちらかといえば健康でない」「健康でない」の計



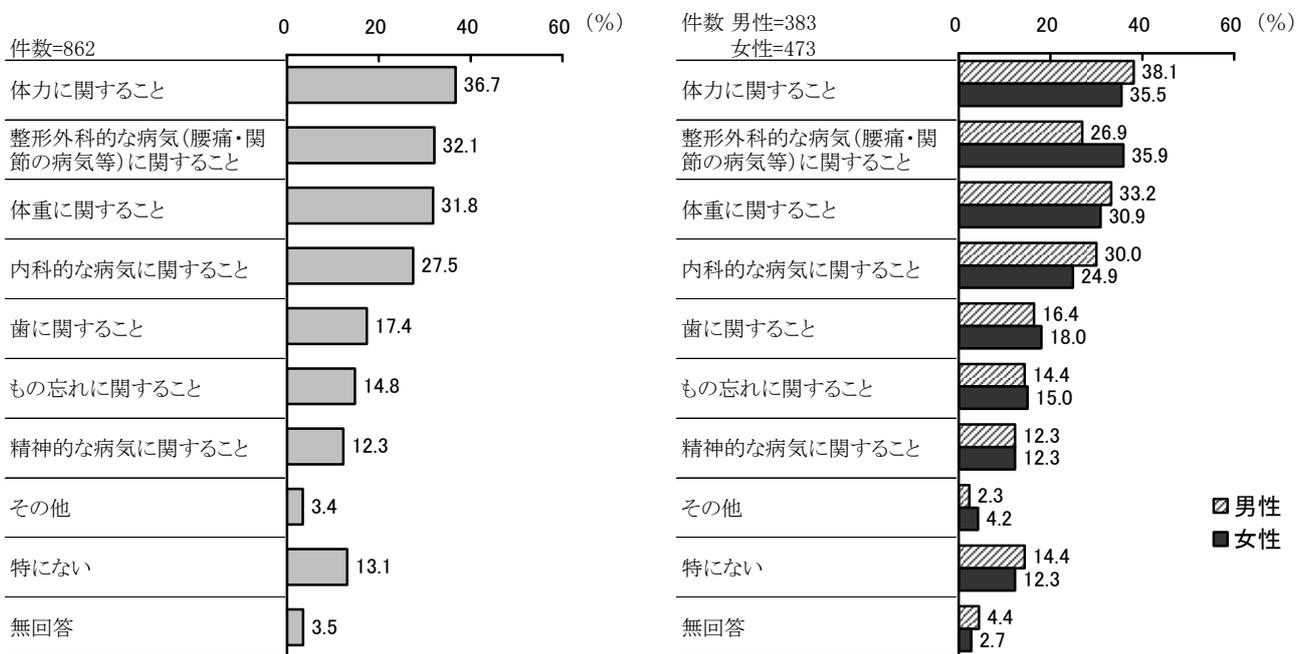
● 性・年代別でみると、『健康でない』は男性 20～50 歳代と女性 70 歳以上の割合が高く、3 割を超えている。



8-3 健康に関する悩みや不安

問38 健康に関してどのような悩みや不安がありますか。(〇はいくつでも)

- 健康に関する悩みや不安は、「体力に関すること」が36.7%で最も高く、次いで「外科的な病気（・関節の病気等）に関すること」が32.1%、「体重に関すること」が31.8%、「内科的な病気に関すること」が27.5%となっている。
- 性別でみると、「外科的な病気（・関節の病気等）に関すること」は男性（26.9%）よりも女性（35.9%）の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「外科的な病気（・関節の病気等）に関すること」は女性70歳以上（60.6%）の割合が高く、「内科的な病気に関すること」は男性70歳以上（40.4%）が高くなっている。

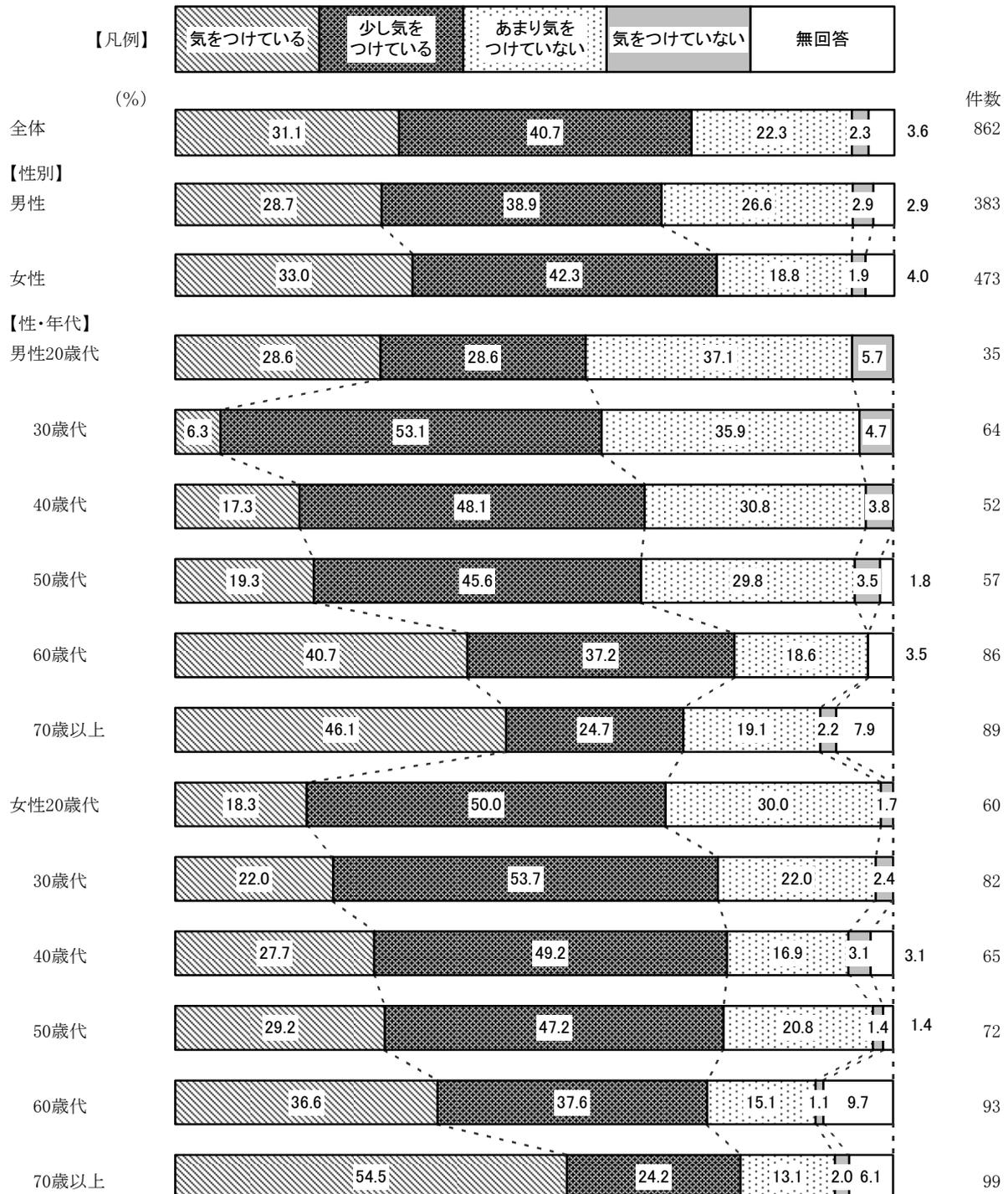


	件数	体力に関すること	外科的な病気(・関節の病気等)に関すること	体重に関すること	内科的な病気に関すること	歯に関すること	もの忘れに関すること	精神的な病気に関すること	その他	特にない	無回答
全体 (%)	862	36.7	32.1	31.8	27.5	17.4	14.8	12.3	3.4	13.1	3.5
男性20歳代	35	40.0	22.9	40.0	25.7	25.7	14.3	28.6	5.7	14.3	2.9
30歳代	64	37.5	15.6	39.1	10.9	21.9	6.3	14.1	4.7	17.2	3.1
40歳代	52	48.1	15.4	38.5	25.0	9.6	11.5	19.2	1.9	17.3	1.9
50歳代	57	40.4	29.8	38.6	33.3	17.5	10.5	15.8	-	10.5	1.8
60歳代	86	30.2	39.5	26.7	36.0	19.8	17.4	5.8	2.3	14.0	5.8
70歳以上	89	38.2	29.2	25.8	40.4	9.0	21.3	4.5	1.1	13.5	7.9
女性20歳代	60	48.3	15.0	40.0	28.3	21.7	11.7	13.3	5.0	11.7	1.7
30歳代	82	30.5	23.2	36.6	11.0	14.6	4.9	18.3	6.1	20.7	2.4
40歳代	65	40.0	32.3	41.5	35.4	24.6	7.7	12.3	7.7	9.2	1.5
50歳代	72	45.8	31.9	31.9	20.8	19.4	20.8	8.3	2.8	12.5	1.4
60歳代	93	28.0	39.8	25.8	32.3	16.1	17.2	12.9	1.1	6.5	3.2
70歳以上	99	27.3	60.6	18.2	24.2	14.1	24.2	8.1	4.0	13.1	5.1

8-4 健康への配慮

問39 普段健康に気をつけていますか。(○は1つ)

- 健康に気をつけているかどうかをたずねたところ、「少し気をつけている」が40.7%で最も高く、次いで「気をつけている」が31.1%で、これらを合わせた『気をつけている』人は71.8%となっている。
- 性別で見ると、『気をつけている』は男性(67.6%)よりも女性(75.3%)の割合が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「気をつけている」は男女ともに60歳代、70歳以上といった高年齢層の割合が高くなっている。

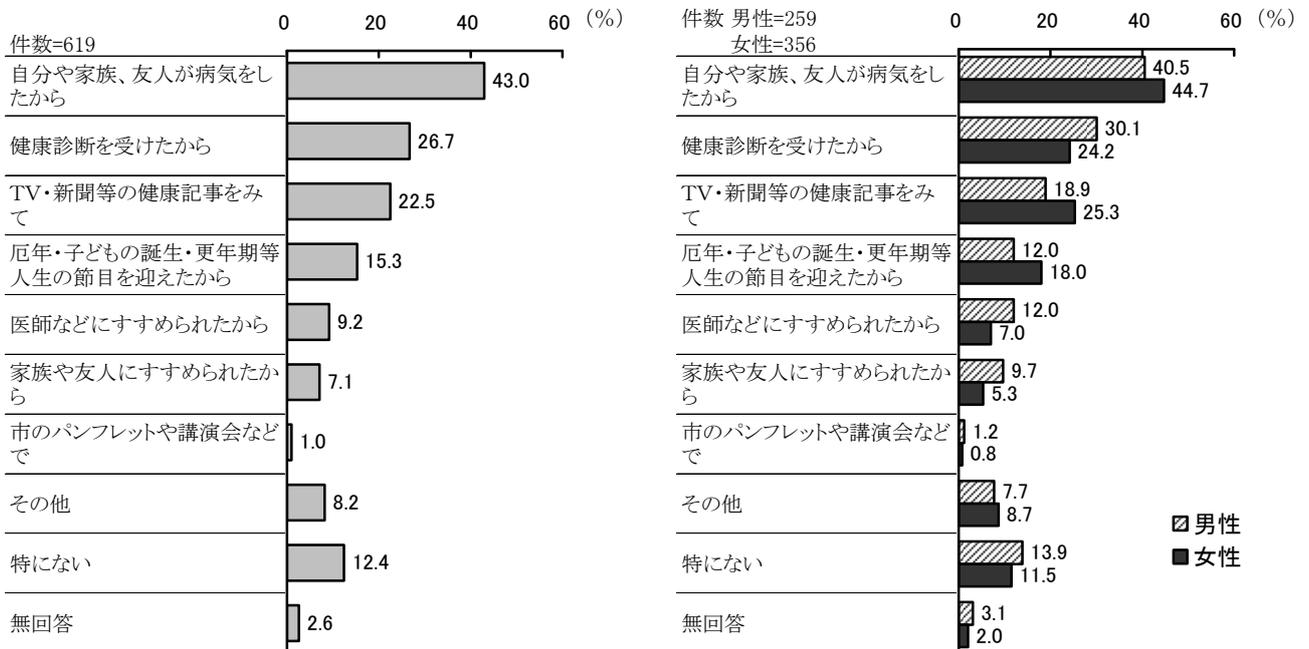


8-5 健康に気をつけるようになったきっかけ

【問39で「気をつけている」「少し気をつけている」と答えた方に伺います】

問39-1 健康に気をつけるようになったきっかけは何ですか。(〇は3つまで)

- 健康に気をつけるようになったきっかけは、「自分や家族、友人が病気をしたから」が43.0%で最も高く、他の項目を16.3ポイント以上引き離している。これに次いで「健康診断を受けたから」(26.7%)、「TV・新聞等の健康記事を読み」(22.5%)が2割台で続いている。
- 性別で見ると、「健康診断を受けたから」は若干男性の割合が高く、「TV・新聞等の健康記事を読み」「年・子どもの誕生・更年期等人生の節目を迎えたから」は女性が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、「自分や家族、友人が病気をしたから」が男性70歳以上と女性40歳代、60歳代の割合が高く5割を超えている。また、「年・子どもの誕生・更年期等人生の節目を迎えたから」は男性40～50歳代と女性30～50歳代が高く2割を超えている。

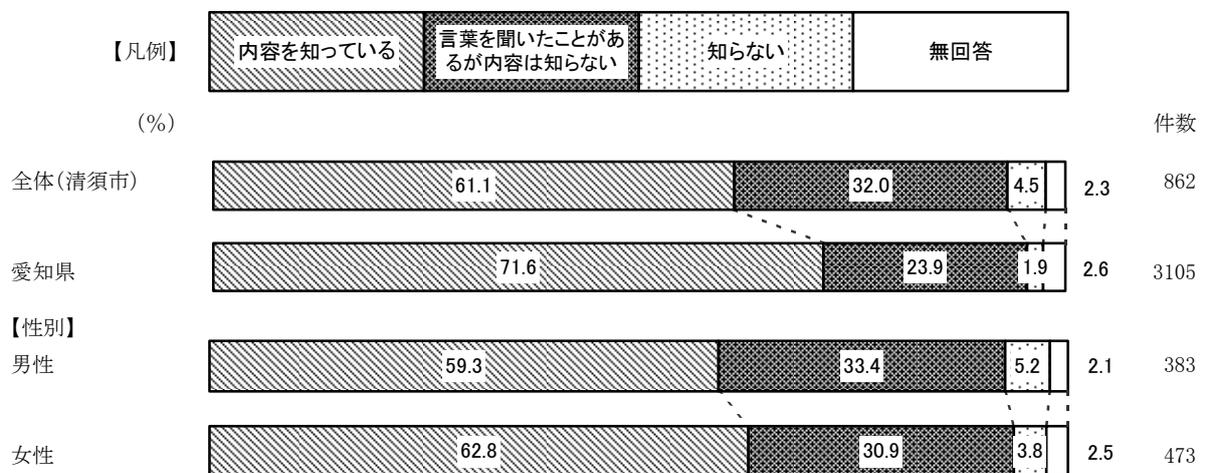


	件数	自分や家族、友人が病気をしたから (%)	健康診断を受けたから (%)	TV・新聞等の健康記事を読み (%)	年・子どもの誕生・更年期等人生の節目を迎えたから (%)	医師などにすすめられたから (%)	家族や友人にすすめられたから (%)	市のパンフレットや講演会などで (%)	その他 (%)	特になし (%)	無回答 (%)
全体	619	43.0	26.7	22.5	15.3	9.2	7.1	1.0	8.2	12.4	2.6
男性20歳代	20	20.0	15.0	15.0	5.0	-	20.0	-	10.0	35.0	-
30歳代	38	26.3	18.4	18.4	10.5	2.6	10.5	-	2.6	36.8	2.6
40歳代	34	26.5	29.4	11.8	26.5	-	11.8	-	8.8	23.5	-
50歳代	37	37.8	40.5	16.2	24.3	18.9	2.7	-	5.4	8.1	-
60歳代	67	40.3	31.3	20.9	9.0	16.4	9.0	3.0	14.9	1.5	6.0
70歳以上	63	65.1	34.9	23.8	3.2	19.0	9.5	1.6	3.2	4.8	4.8
女性20歳代	41	24.4	14.6	31.7	4.9	-	9.8	-	14.6	31.7	-
30歳代	62	35.5	22.6	25.8	27.4	1.6	9.7	-	11.3	14.5	-
40歳代	50	58.0	28.0	26.0	38.0	2.0	-	2.0	4.0	10.0	-
50歳代	55	41.8	25.5	21.8	25.5	9.1	7.3	-	10.9	10.9	-
60歳代	69	56.5	27.5	23.2	10.1	11.6	2.9	2.9	8.7	2.9	2.9
70歳以上	78	46.2	24.4	25.6	6.4	12.8	3.8	-	5.1	6.4	6.4

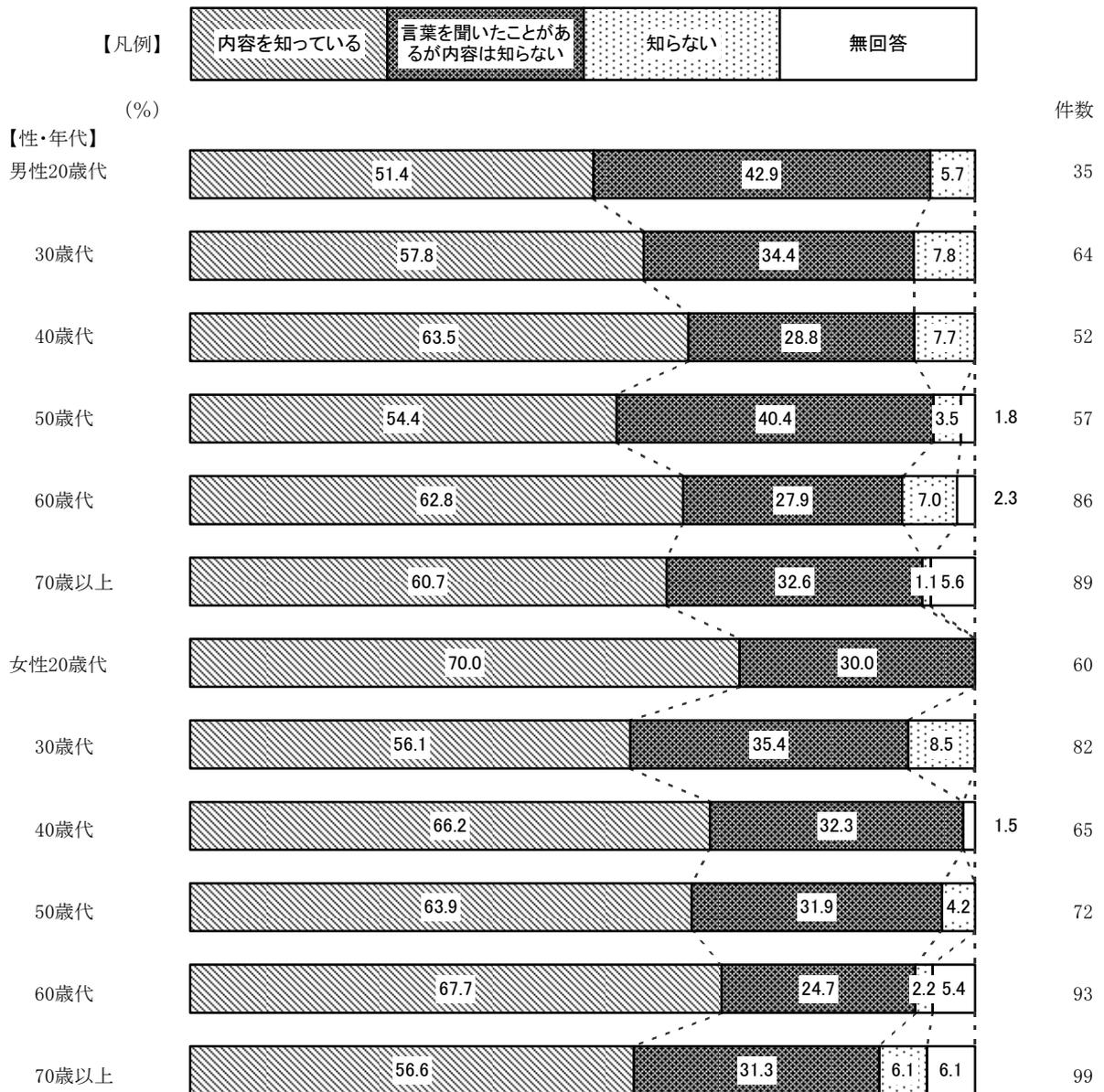
8-6 生活習慣病の認知度

問40 「生活習慣病」（がん、心臓病、脳卒中、糖尿病、歯周病など日頃の生活習慣が発症に深く関与する病気）について知っていますか。（○は1つ）

- 生活習慣病の認知度は、「内容を知っている」が61.1%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが内容は知らない」が32.0%となっており、これらを合わせた認知者は93.1%と9割以上を占めている。
- 愛知県と比較すると、認知者の割合に大きな差はみられないが、「内容を知っている」は10.5ポイント下回っている。
- 性別でみても、大きな差はみられない。



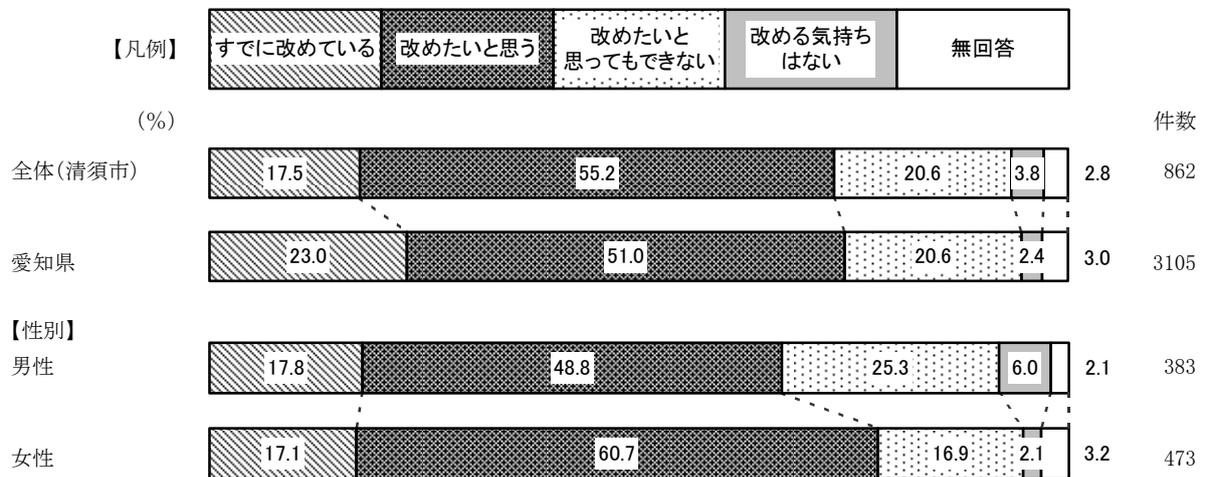
● 性・年代別で見ると、認知者の割合はいずれの性・年代層でも8割以上を占めている。



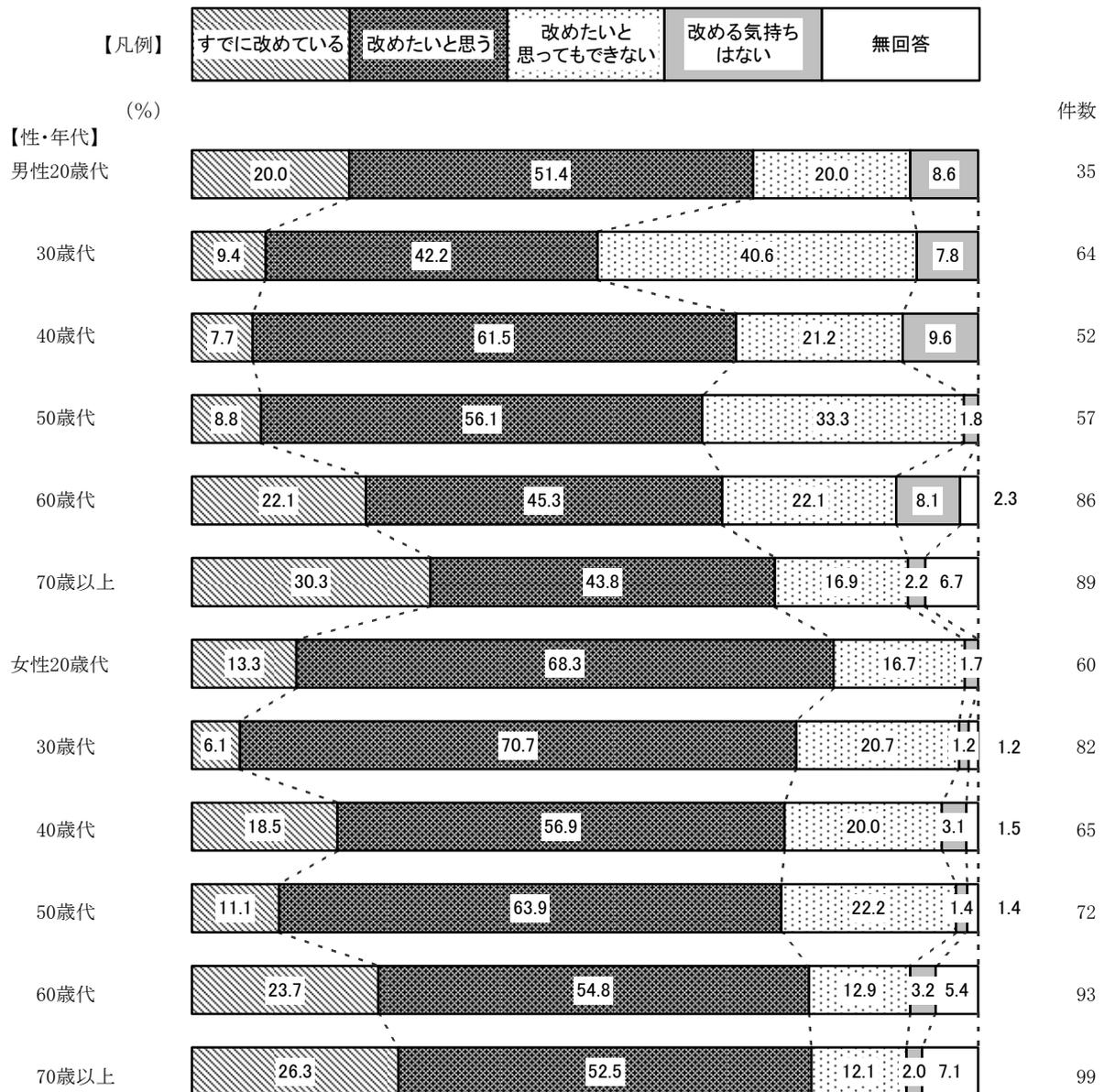
8-7 生活習慣の改善意向

問41 生活習慣病予防のために、健康的な生活習慣に改めたいと思いますか。(○は1つ)

- 生活習慣の改善意向は、「改めたいと思う」が55.2%で最も高く、次いで「改めたいと思ってもできない」が20.6%となっており、これらを合わせた『改善意向がある』人は75.8%と7割以上を占めている。また、「すでに改めている」は17.5%みられる。
- 愛知県と比較すると、「すでに改めている」は5.5ポイント下回っているものの、『改善意向がある』は清須市が75.8%、愛知県が71.6%で、若干上回っている。
- 性別で見ると、「改めたいと思う」は女性の割合が高く、「改めたいと思ってもできない」「改める気持ちはない」は男性が高くなっている。



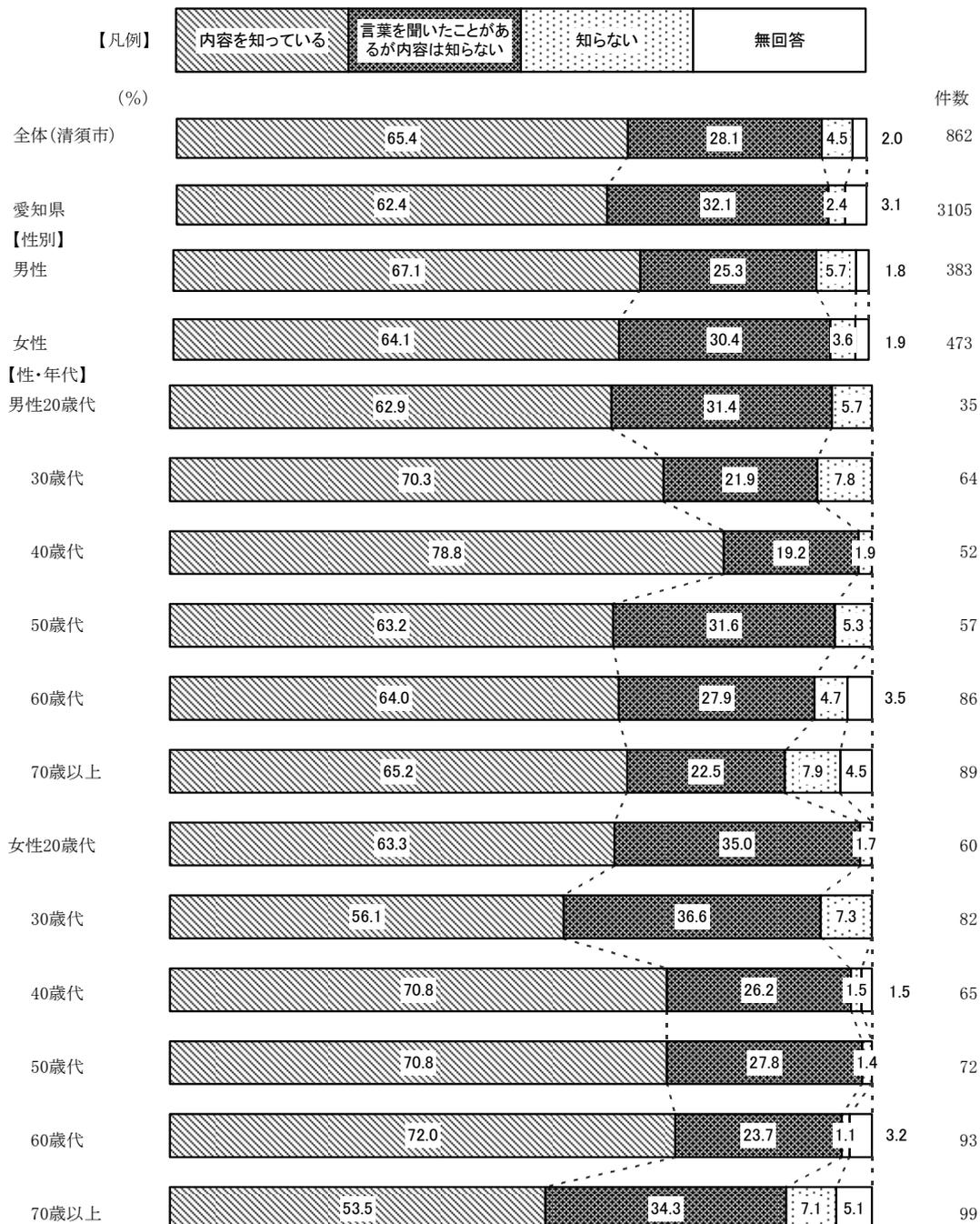
- 性・年代別でみると、「すでに改めている」は男女ともに60歳代、70歳以上といった高年齢層の割合が高く2割を超えている。また、「改めたいと思ってもできない」は男性30歳代(40.6%)、50歳代(33.3%)が高くなっている。



8-8 内臓脂肪症候群の認知度

問42 「内臓脂肪症候群」（メタボリックシンドローム：内臓脂肪が蓄積することによって、高血圧、高血糖、脂質異常を伴い、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病を発症しやすい状態）について知っていますか。（○は1つ）

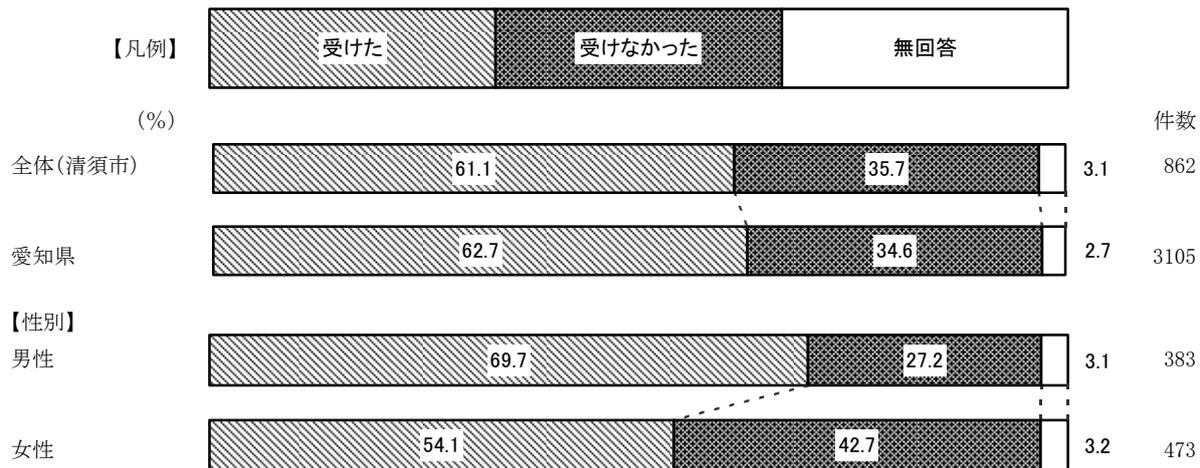
- 内臓脂肪症候群の認知度は、「内容を知っている」が65.4%で最も高く、次いで「聞いたことがあるが内容は知らない」が28.1%となっており、これらを合わせた認知者は93.5%と9割上を占めている。
- 愛知県と比較すると、「内容を知っている」は3.0ポイント上回っているが、「聞いたことがあるが内容は知らない」は4.0ポイント下回っている。
- 性別でみると、「聞いたことがあるが内容は知らない」は男性（25.3%）よりも女性（30.4%）の割合が高くなっている。
- 性・年代別でみると、「内容を知っている」は男性40歳代の割合が高く、約8割を占めている。



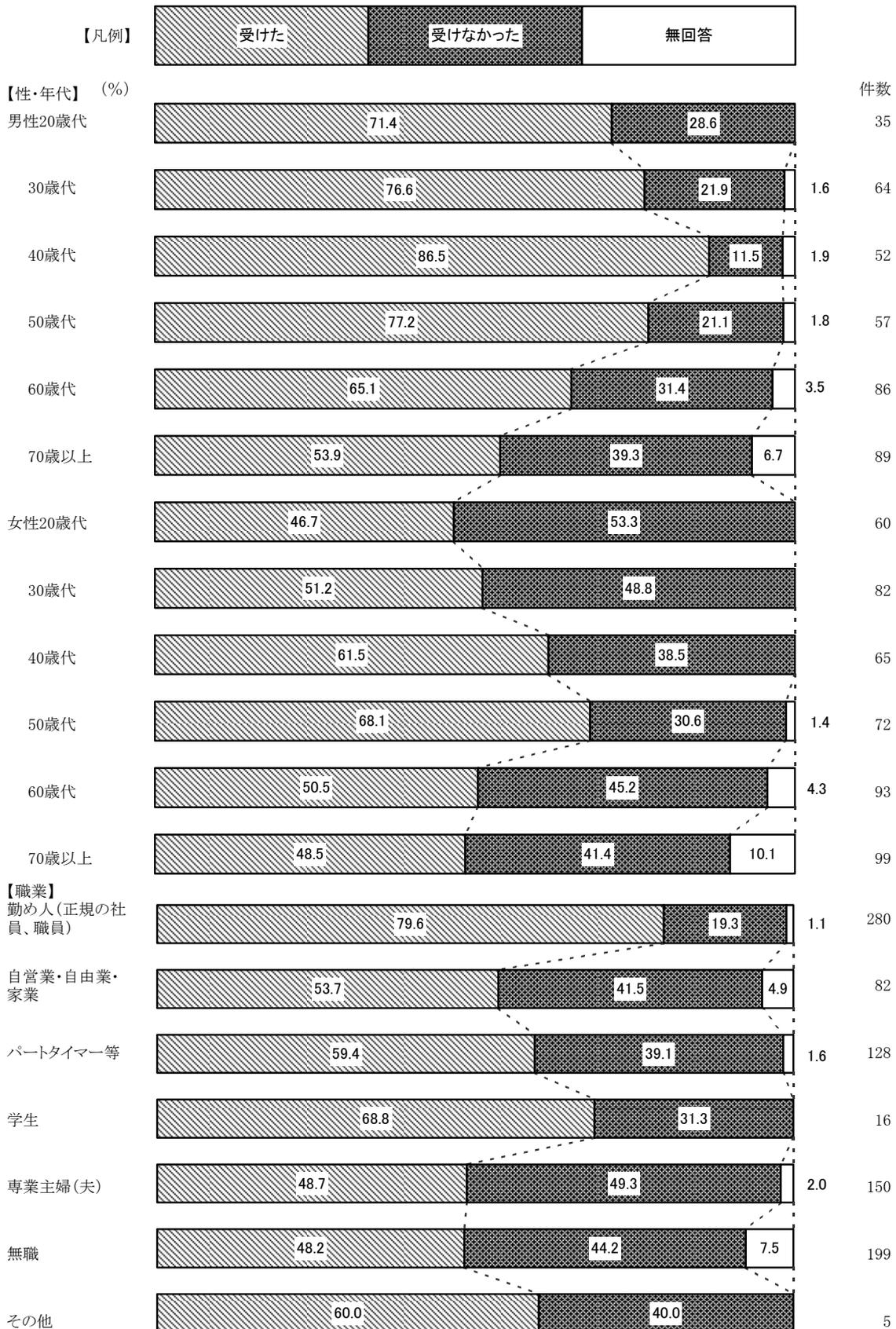
8-9 健診の受診状況

問43 過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドックを受けましたか。（○は1つ）

- 健診の受診状況は、「受けた」が 61.1%、「受けなかった」が 35.7%で、受けた人の割合が高くなっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別で見ると、「受けた」は女性（54.1%）よりも男性（69.7%）の割合が高くなっている。



- 性・年代別でみると、「受けた」は男性 30～50 歳代の割合が高くなっている。一方、「受けなかった」は女性 20～30 歳代、60 歳以上が高く 4 割を超えている。
- 職業別でみると、「受けた」は勤め人（正規の社員、職員）（79.6%）の割合が高く、専業主婦（夫）や無職は 5 割以下と低くなっている。



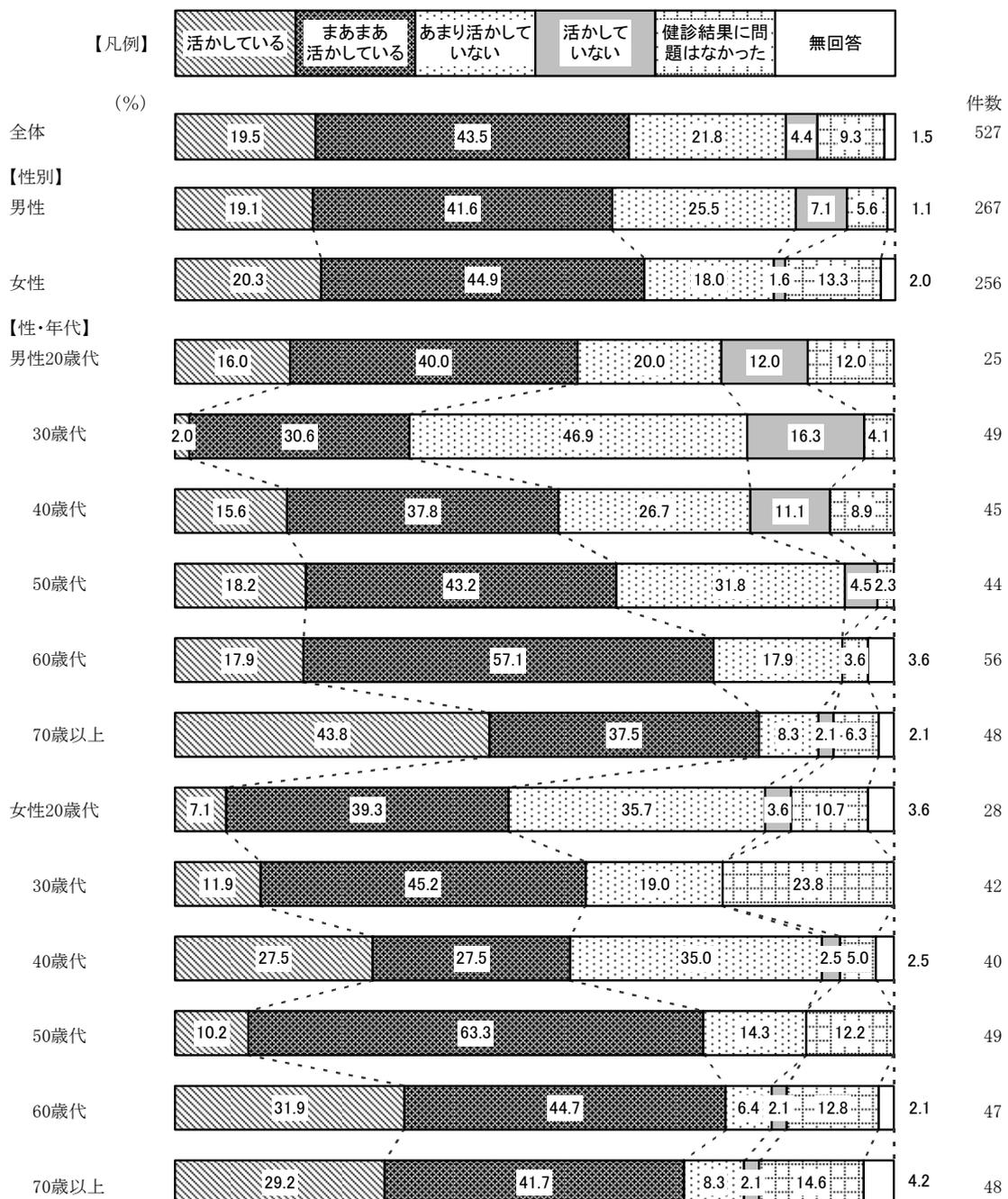
8-10 健診結果の活用

【問43で「受けた」と答えた方に伺います】

問43-1 健診結果に関心を持ち、その後の健康づくりに活かしていますか。(〇は1つ)

- 健診結果を活かしているかどうかをたずねたところ、「まあまあ活かしている」が43.5%で最も高く、これに「活かしている」(19.5%)を合わせた『活かしている』人は63.0%を占めている。一方、『活かしていない※』は26.2%となっている。
- 性別で見ると、『活かしていない』は女性(19.6%)よりも男性(32.6%)の割合が高く、「健診結果に問はなかった」は男性(5.6%)よりも女性(13.3%)が高くなっている。
- 性・年代別で見ると、『活かしている』は男性60歳以上と女性50歳以上の割合が高く7割以上となっているのに対し、男性30歳代では『活かしていない』が63.2%を占めている。

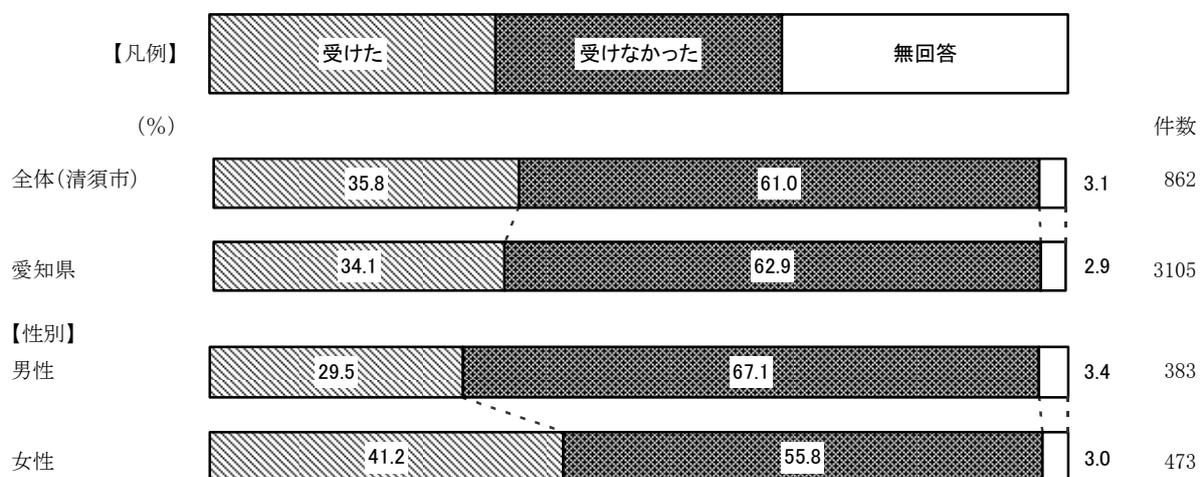
※「あまり活かしていない」「活かしていない」の計



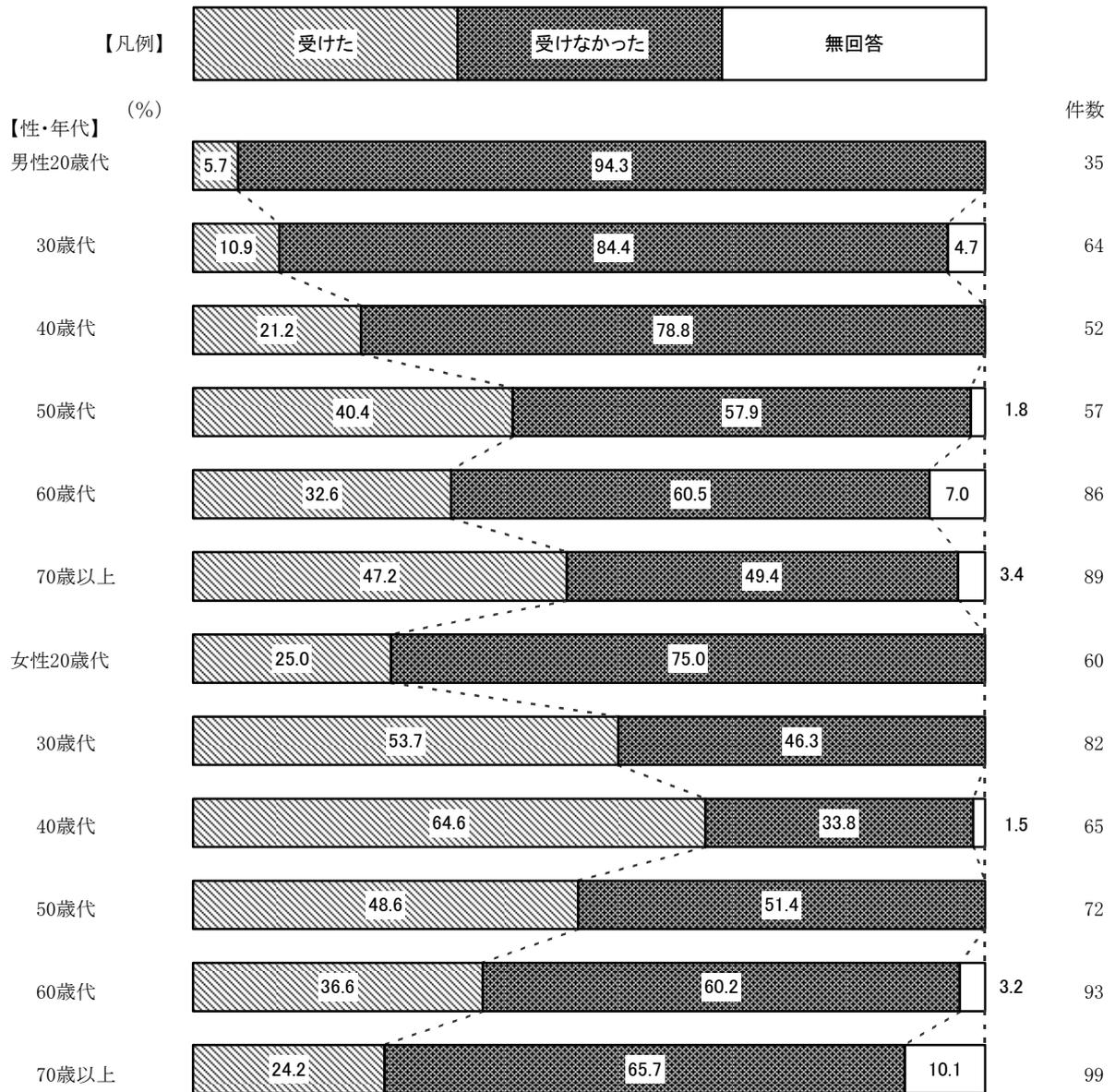
8-11 がん検診の受診状況

問44 過去1年間に、がん検診（胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、大腸がん、前立腺がん）を受けましたか。（〇は1つ）

- がん検診の受診状況は、「受けた」が 35.8%、「受けなかった」が 61.0%で、受けなかった人の割合が高くなっている。
- 愛知県と比較しても、大きな差はみられない。
- 性別でみると、「受けた」は男性（29.5%）よりも女性（41.2%）の割合が高く、11.7ポイントの差がみられる。



- 性・年代別で見ると、「受けた」は男性 70 歳以上と女性 30～50 歳代の割合が高く、「受けなかった」は男性 20～40 歳代と女性 20 歳代が高く 7 割を超えている。

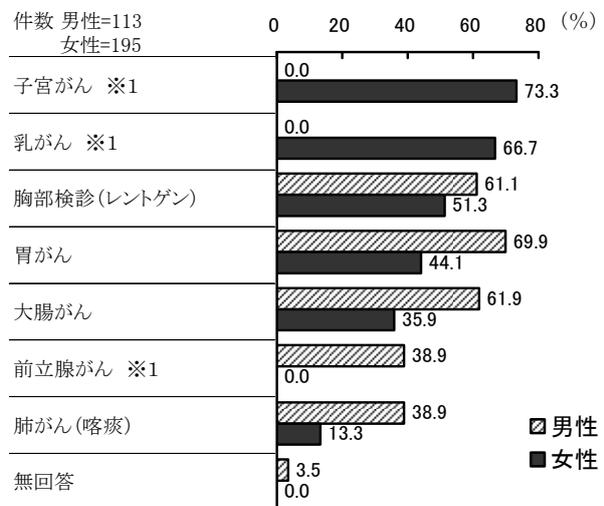
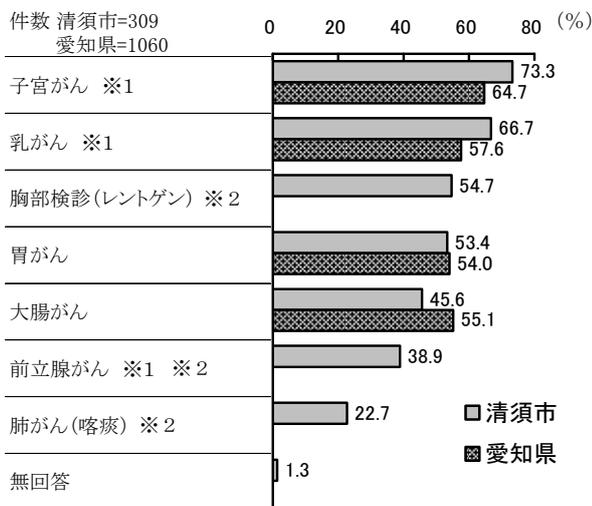


8-12 がん検診を受けた項目

【問44で「受けた」と答えた方に伺います】

問44-1 どの部位の検診を受けましたか。また、それはどこが実施するものでしたか。(〇はいくつでも)

- がん検診を受けた項目は、「子宮がん」(73.3%)、「乳がん」(66.7%)といった婦人科検診の受診率が高くなっている。これらに次いで「胸部検診(レントゲン)」(54.7%)、「胃がん」(53.4%)が5割台で続いている。
- 愛知県と比較すると、婦人科検診の受診率は高いが、「大腸がん」は低くなっている。
- 性別でみると、「胸部検診(レントゲン)」「胃がん」「大腸がん」「前立腺がん()」はいずれも男性の割合が高くなっている。



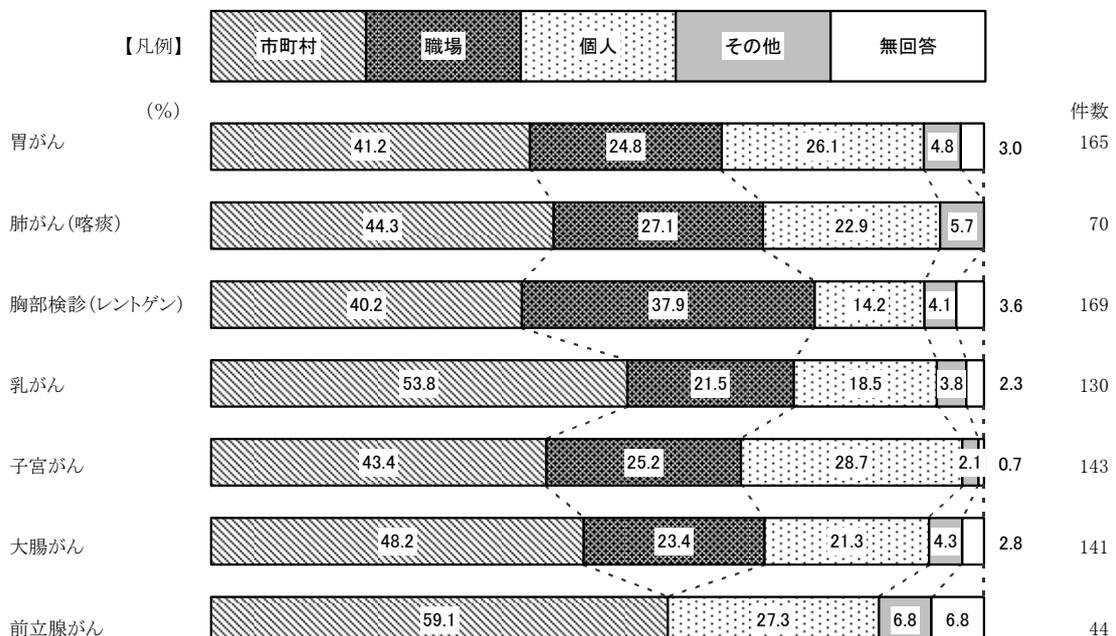
※1 「子宮がん検診」「乳がん検診」は女性のみ、「

胸部検診」は男性のみを件数(基数)として計

※2 「胸部検診(レントゲン)」「胃がん()」「

大腸がん」は清須市のみの項目。愛知県の「乳がん」は39.6%。

- がん検診の実施主体は、各項目とも「市町村」の割合が高く、4割以上となっている。

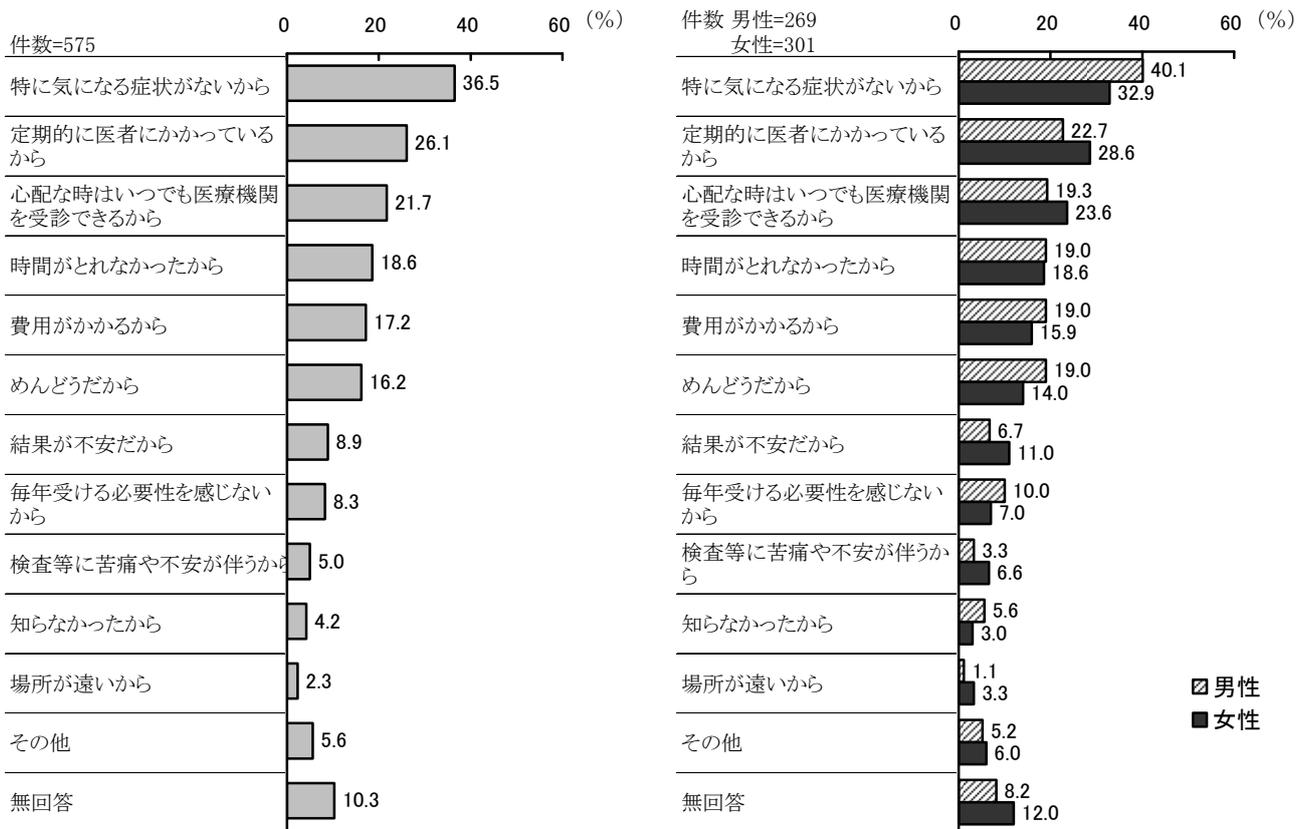


8-13 健（検）診を受けなかった理由

【問43または問44で「受けなかった」と答えた方に伺います】

問45 健（検）診を受けなかった理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- 健（検）診を受けなかった理由は、「特に気になる症状がないから」が36.5%で最も高く、次いで「定期的に医者にかかっているから」が26.1%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」が21.7%などとなっている。
- 性別でみると、「特に気になる症状がないから」は女性（32.9%）よりも男性（40.1%）が若干高くなっている。



- 性・年代別でみると、「定期的に医者にかかっているから」は男性 70 歳以上と女性 60 歳以上の割合が高く、「心配な時はいつでも医 機関を受診できるから」は女性 70 歳以上（43.3%）が高くなっている。また、「時間がとれなかったから」は女性 20 歳代（38.0%）が高くなっている。

	件数	い特 から に気 なる 症状 がな	て定 期的 に医 者 に か か つ	ら心 機 関 を 受 診 い つ で も か 医	ら時 間 が と れ な か つ た か	用 が か か る か ら	め ん ど う だ か ら	結 果 が 不 安 だ か ら	じ毎 年 受 け る 要 性 を 感	検 査 等 に 苦 や 不 安 が	知 ら な か つ た か ら	場 が い か ら	そ の 他	無 回 答
(%)														
全 体	575	36.5	26.1	21.7	18.6	17.2	16.2	8.9	8.3	5.0	4.2	2.3	5.6	10.3
男性20歳代	33	48.5	6.1	3.0	30.3	30.3	36.4	3.0	9.1	-	21.2	6.1	15.2	6.1
30歳代	55	49.1	3.6	3.6	29.1	30.9	21.8	10.9	18.2	7.3	9.1	-	3.6	3.6
40歳代	41	43.9	7.3	14.6	26.8	26.8	22.0	7.3	2.4	4.9	2.4	-	4.9	7.3
50歳代	33	30.3	24.2	27.3	18.2	21.2	27.3	6.1	12.1	3.0	-	3.0	9.1	3.0
60歳代	57	38.6	33.3	31.6	14.0	7.0	14.0	7.0	12.3	1.8	-	-	1.8	14.0
70歳以上	50	30.0	54.0	32.0	-	4.0	2.0	4.0	4.0	2.0	4.0	-	2.0	12.0
女性20歳代	50	38.0	-	8.0	38.0	34.0	26.0	8.0	10.0	4.0	14.0	4.0	4.0	14.0
30歳代	49	32.7	6.1	8.2	24.5	22.4	22.4	6.1	2.0	10.2	2.0	2.0	16.3	18.4
40歳代	29	34.5	10.3	13.8	27.6	31.0	27.6	31.0	6.9	20.7	-	3.4	6.9	10.3
50歳代	39	43.6	28.2	20.5	25.6	15.4	17.9	7.7	2.6	2.6	-	2.6	2.6	7.7
60歳代	66	25.8	42.4	33.3	9.1	4.5	3.0	15.2	10.6	6.1	-	3.0	3.0	12.1
70歳以上	67	28.4	61.2	43.3	-	3.0	1.5	6.0	7.5	3.0	1.5	4.5	4.5	9.0

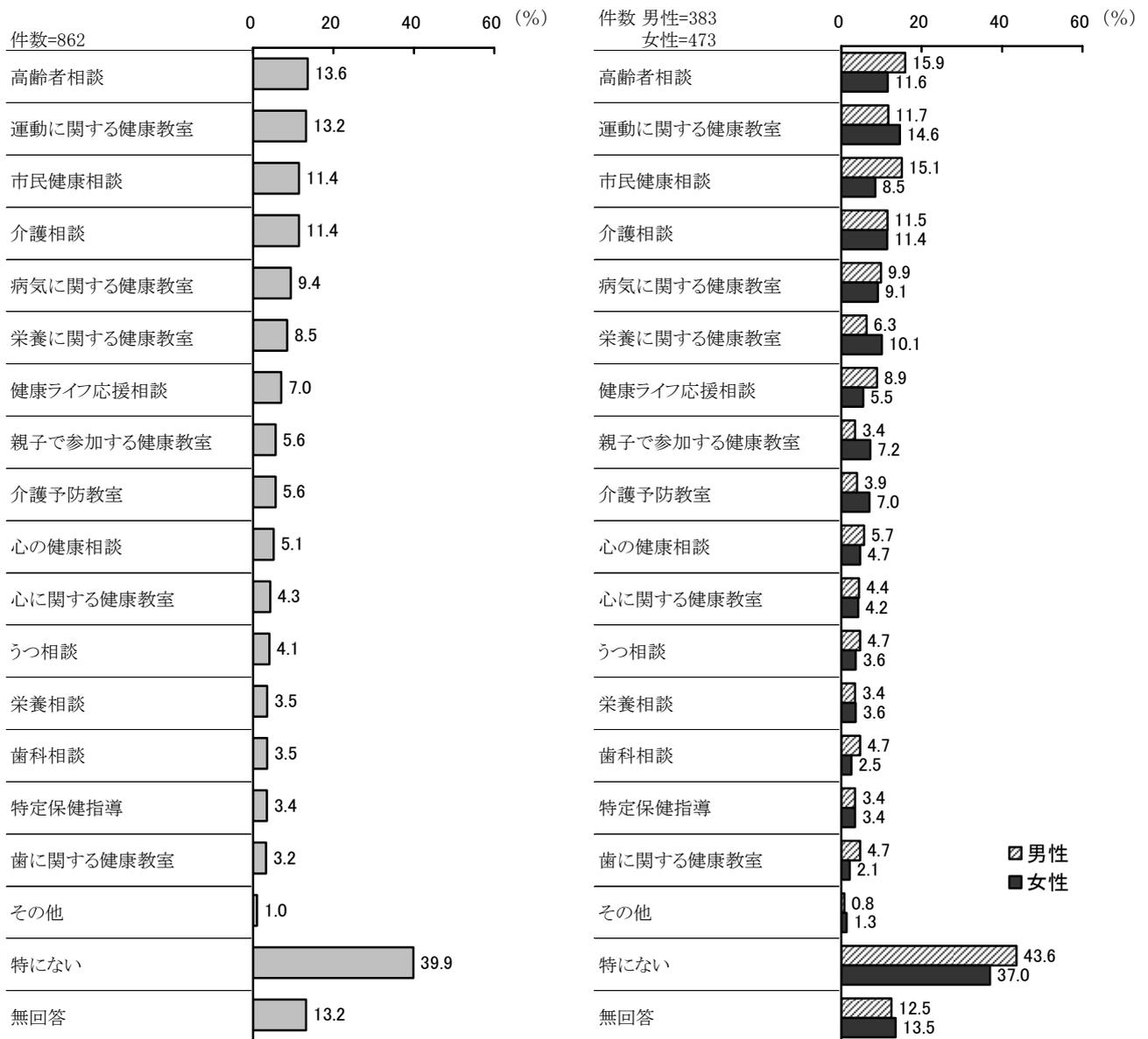
9 行政の取り組み等について

9-1 保健事業の利用意向

問46 市が行っている保健事業を今後利用したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- 保健事業の利用意向がある人※は46.9%で、体的には「高齢者相談」が13.6%、「運動に関する健康教室」が13.2%などとなっている。一方、「特にない」は39.9%となっている。
- 性別で見ると、「市民健康相談」「特にない」は男性の割合が高くなっている。

※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合



- 性・年代別でみると、「高齢者相談」「市民健康相談」は男女ともに70歳以上の割合が高く、「市民健康相談」「健康ライ」は男性50歳代が高くなっている。また、「親子で参する健康」は女性20～30歳代が高くなっている。一方、「特にない」は男性20～40歳代と女性20歳代が高く、約6割を占めている。

	件数	高齢者相談	運動に関する健康	市民健康相談	相談	病気に 関する健康	栄養に 関する健康	健康ライ 相談	親子で参 する健康		心の健康 相談	心に関する 健康	うつ相談
(%)													
全体	862	13.6	13.2	11.4	11.4	9.4	8.5	7.0	5.6	5.6	5.1	4.3	4.1
男性20歳代	35	-	11.4	5.7	-	2.9	8.6	-	2.9	-	8.6	5.7	2.9
30歳代	64	1.6	10.9	7.8	3.1	9.4	4.7	9.4	9.4	1.6	6.3	6.3	10.9
40歳代	52	5.8	15.4	5.8	5.8	7.7	5.8	5.8	9.6	-	7.7	5.8	7.7
50歳代	57	10.5	15.8	28.1	15.8	10.5	5.3	17.5	1.8	3.5	10.5	5.3	8.8
60歳代	86	19.8	10.5	20.9	15.1	10.5	3.5	8.1	-	7.0	3.5	1.2	1.2
70歳以上	89	38.2	9.0	15.7	19.1	13.5	10.1	9.0	-	6.7	2.2	4.5	-
女性20歳代	60	-	8.3	1.7	1.7	10.0	16.7	3.3	15.0	-	1.7	5.0	3.3
30歳代	82	2.4	17.1	2.4	4.9	6.1	13.4	6.1	23.2	1.2	7.3	3.7	4.9
40歳代	65	7.7	10.8	7.7	9.2	7.7	9.2	3.1	3.1	12.3	4.6	6.2	1.5
50歳代	72	6.9	18.1	13.9	15.3	8.3	6.9	8.3	-	9.7	6.9	5.6	2.8
60歳代	93	11.8	21.5	10.8	11.8	17.2	8.6	7.5	2.2	8.6	4.3	3.2	6.5
70歳以上	99	31.3	9.1	11.1	21.2	5.1	7.1	4.0	1.0	8.1	3.0	3.0	2.0

	栄養 相談	歯科 相談	特定 保健指	歯に 関する 健康	その 他	特に ない	無 回 答
(%)							
全体	3.5	3.5	3.4	3.2	1.0	39.9	13.2
男性20歳代	5.7	2.9	-	2.9	-	62.9	11.4
30歳代	4.7	1.6	3.1	6.3	3.1	59.4	10.9
40歳代	1.9	11.5	3.8	7.7	-	61.5	5.8
50歳代	1.8	5.3	3.5	3.5	-	40.4	7.0
60歳代	2.3	4.7	3.5	4.7	1.2	36.0	16.3
70歳以上	4.5	3.4	4.5	3.4	-	23.6	18.0
女性20歳代	5.0	3.3	-	3.3	-	60.0	6.7
30歳代	3.7	6.1	3.7	6.1	2.4	43.9	4.9
40歳代	3.1	-	1.5	1.5	-	44.6	10.8
50歳代	4.2	1.4	1.4	-	2.8	41.7	5.6
60歳代	2.2	2.2	5.4	1.1	1.1	23.7	18.3
70歳以上	4.0	2.0	5.1	1.0	1.0	22.2	28.3

9-2 実施希望の保健事業

問47 問46の他に、あるとよいと思う事業があれば、お書きください。

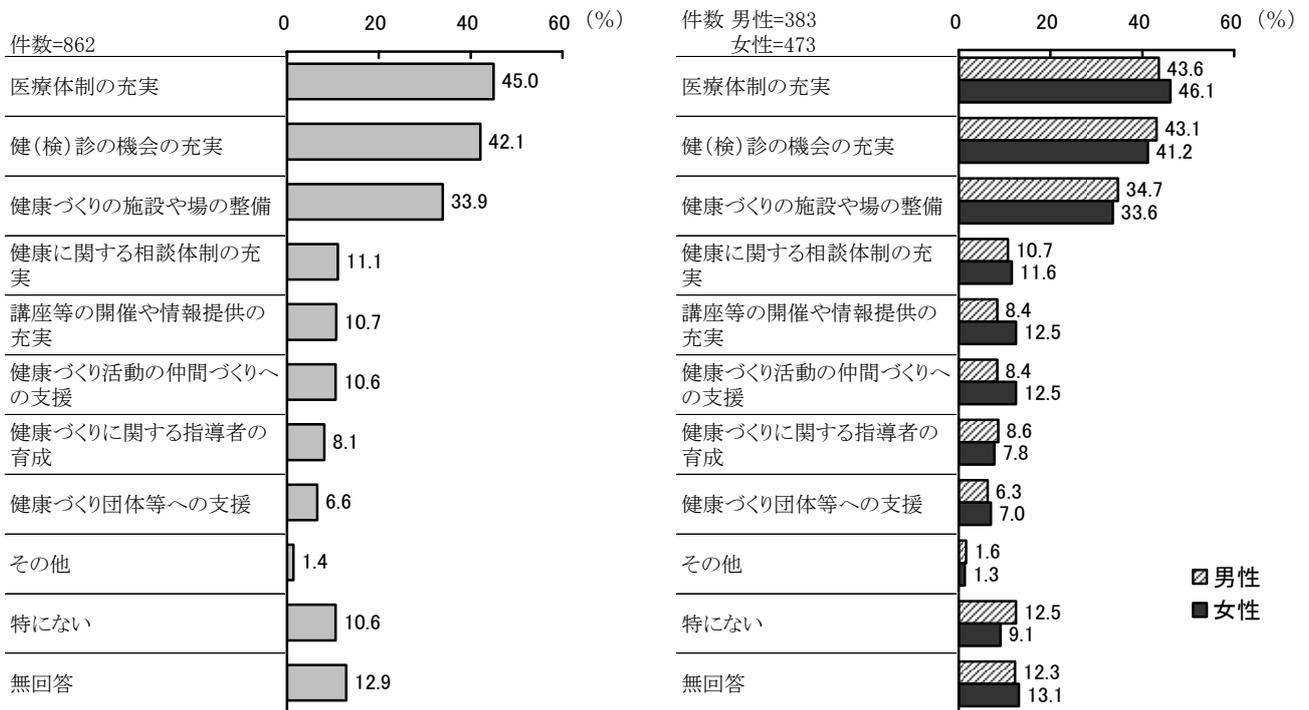
- あるとよいと思う事業をたずねたところ、32件の意見が得られた。「女性の病気に関する相談」、「夜間や 日の事業実施」「安く健（検）診を受けられるように」などの意見が得られた。

	内 容	件数
●	健康 くり や健康相談に関すること	13
1	女性特有の子 や乳がんなどについての相談ができるところや できる 等がほしい。	1
2	女性の病気に関する相談（できれば女性の 生だと い）。	1
3	婦人病専 の相談 。	1
4	職 は人間 等の相談が 要。また、 日 日の相談も 要。	1
5	多くは勤 者に 要な事業内容なのに、その人 が利用できない時間に多く設定されているので意味がない。やるなら夜間や 日 にやるべきである。	1
6	どの事業であっても平日は活用できない。	1
7	年期 についての相談。	1
8	人に せない身内のこと。	1
9	健康相談だけでなく、実 に年齢にあった体 をやってほしい。	1
10	の のために を う の 。	1
11	健康的に イ トする やウ ー ンのイ ント。	1
12	相談や ではなく、もっと 力のあるものがあっても いのでは。ただし市民が出向くのではなく、そちらに出向いてもらう でないと意味がない。	1
13	相談と健康 との内容が重複しているのではないかと思う。	1
●	健康診査・がん検診等に関すること	9
14	がん・心臓等の各 検査・検診について、 人 ではなく、市が半分位出してくれるような医 体 にしてほしい。	1
15	人間 等をもっと安くできるような 。	1
16	無料健康診 。	1
17	検診には高い 用がかかると思っていたり、受けたくても手 に受けられない市民が多い状況を するために、1000 検診のようなものを3か月に一度 度やって、少しでも生活習慣病の 改善に取り組んでほしい。	1
18	がん検診。	1
19	・ 検査。	1
20	検診が 保のみ対象になってから、市の取り組みへの関心が れた。	1
21	高齢者は保健 まで行けない人が多い。もっと身 な 民 を利用することはできないか。	1
22	保以外（社保等）でも住民健診ができるようにしてほしい。	1
●	スポー ・運動に関すること	5
23	運動 ラ 等の 進。	1
24	運動する場 があれば い。	1
25	運動相談 。	1
26	スポー ラ 。	1
27	夜 くまでやっているスポー ム・プール等の施設。	1
●	その他	5
28	子 がんの 。	1
29	職域健診との連 （職場の健診結果とその保健指 内容を居住地での保健指 当と連 して一 性をもたせる）。	1
30	食 に関する 。	1
31	家庭内での 方法、手順等。	1
32	行政が行う 要はまったくない。	1

9-3 行政が力を入れて取り組むべきこと

問48 市民の皆様が心身ともに健康に暮らすまちをつくるために、行政はどのような取り組みに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

- 行政が力を入れて取り組むべきだと思うことは、「医療体制の充実」(45.0%)、「健(検)診の機会の充実」(42.1%)、「健康づくりの施設や場の整備」(33.9%)が高くなっている。
- 性別でみても大きな差はみられない。
- 性・年代別でみると、「健(検)診の機会の充実」は女性20歳代(63.3%)の割合が高くなっている。



	件数	医療体制の充実	健(検)診の機会の充実	健康づくりの施設や場の整備	健康に関する相談体制の充実	講座等の開催や情報提供の充実	健康づくり活動の仲間づくりへの支援	健康づくりに関する指導者の育成	健康づくり団体等への支援	その他	特にない	無回答
全体 (%)	862	45.0	42.1	33.9	11.1	10.7	10.6	8.1	6.6	1.4	10.6	12.9
男性20歳代	35	51.4	37.1	28.6	17.1	11.4	14.3	8.6	8.6	5.7	17.1	5.7
30歳代	64	46.9	42.2	31.3	4.7	9.4	7.8	10.9	3.1	1.6	14.1	7.8
40歳代	52	48.1	53.8	30.8	9.6	5.8	3.8	7.7	3.8	1.9	17.3	1.9
50歳代	57	45.6	43.9	35.1	15.8	10.5	7.0	8.8	10.5	1.8	12.3	10.5
60歳代	86	37.2	47.7	45.3	9.3	7.0	9.3	7.0	8.1	1.2	12.8	12.8
70歳以上	89	40.4	34.8	31.5	11.2	7.9	9.0	9.0	4.5	-	6.7	24.7
女性20歳代	60	53.3	63.3	40.0	8.3	11.7	18.3	6.7	6.7	-	5.0	1.7
30歳代	82	54.9	48.8	40.2	7.3	11.0	7.3	4.9	3.7	2.4	8.5	4.9
40歳代	65	55.4	52.3	26.2	10.8	12.3	10.8	6.2	1.5	3.1	7.7	3.1
50歳代	72	51.4	44.4	38.9	18.1	16.7	13.9	9.7	11.1	2.8	6.9	6.9
60歳代	93	44.1	29.0	30.1	15.1	12.9	17.2	9.7	9.7	-	9.7	21.5
70歳以上	99	25.3	23.2	27.3	10.1	11.1	9.1	8.1	8.1	-	14.1	30.3

9-4 自由意見

問49 健康に関するご意見・ご要望をご自由にお書きください。

- 健康に関する 意見・ 要望をたずねたところ、107 人から 132 件の意見がえられた。得られた意見は以下の通りである。

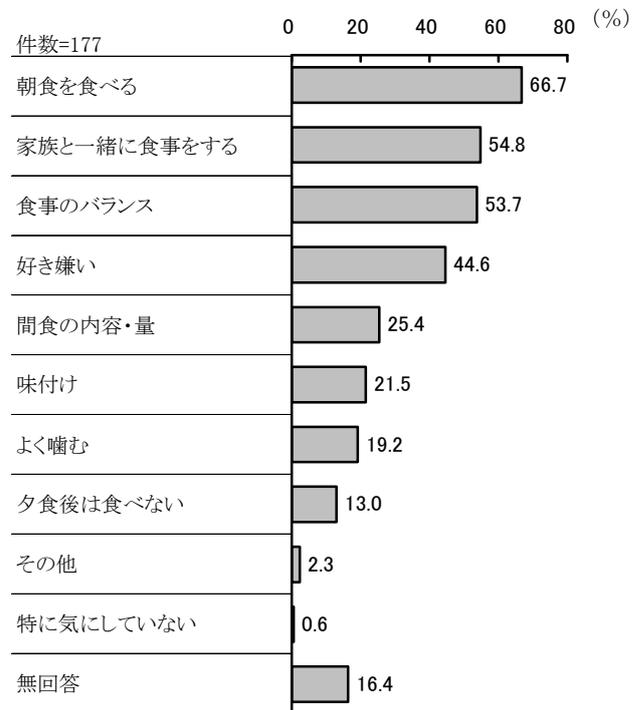
	内 容	件数
●	健康診査・がん検診等に関すること	31
1	市の健診が1日で むようにしてほしい。	4
2	検診の し込み方法の改善（会場 込は、 者には しい）。	2
3	健診の 込方法を郵送方法（ ）にしてほしい。	2
4	事を まなければならぬ人もあるので、検診は 日も受けられるようにしてほしい。	2
5	乳がん検診の 当医が男性だったので、 を感じた。女性に配慮してほしい。	2
6	その他（健康診 を無料にしてほしい。特定健康診査を一か で受診できるようにしてほしい。など）	19
●	スポー ・運動に関すること	18
7	安全に ン やウ ー ン できる場 があるとよい。	3
8	市営プールを開設してほしい。	2
9	その他（内川の を楽しみにしています。運動のできるような い がほしい。など）	13
●	健康 くり施策などに関すること	16
10	その他（健康に対する行政の取り組みは、非常に いと思います。健康に不安を感じる高齢者になってから、健康への意識が高まるのが現実であるため、もっと若い世代から高い意識を持てるような取り組みを市にお いしたい。など）	16
●	健康 ・健康相談に関すること	16
11	行政事業は平日の 間の開 なので、 日や夜間に開 してほしい。	2
12	その他（市が実施している保健事業を各地区で実施してほしい。男性が気 に参 できるがあるとよい。など）	12
●	医 ・病院等に関すること	13
13	市に 合病院をつくってほしい。	6
14	その他（かかりつけ医がないので、どこへ行ったらよいかわからない。 時の対 法のマアルがあると い。など）	7
●	健康 くりに取り組んでいること	14
15	その他（自分の身体を自分で る。生活習慣病にならないように、食生活に気をつけたい。生活習慣病にならないように、食生活に気をつけたい。など）	11
●	報 の充実に関すること	6
16	的に 報 をしてほしい。	2
17	その他（合 し他の地区にどのような施設があるのかわからないので、 報 をしてほしい。報等で、市の保健事業をもっと知る機会を設ける。など）	4
●	アンケートに関すること	6
18	アンケートをきっかけに、健康 くりを意識して生活していこうと思いました。	3
19	その他（アンケート調査は、若い人の意見を取り入れてほしい。アンケートをもっと にしてほしい。など）	3
●	その他	12
20	その他（夫婦二人で く、 気で長生きし、楽しく生きていきたい。まだあまり実感がないのでわからない。など）	11

10 中学生以下の子どもがいる保護者への質問

10-1 子どもの食について気をつけていること

問50 お子さんの「食」について、気をつけていることは何ですか（○はいくつでも）

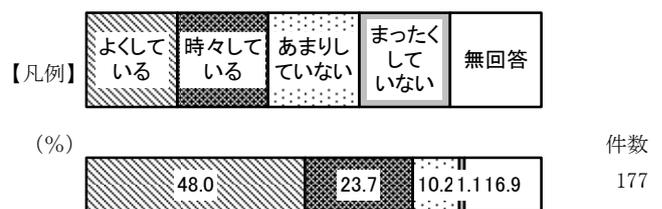
- 子どもの食について気をつけていることは、「朝食を食べる」が66.7%で最も高く、次いで「家族と一緒に食事をする」(54.8%)、「食事のバランス」(53.7%)が5割台で、「好き嫌い」(44.6%)が4割台で続いている。



10-2 子どもの運動

問51 お子さんは、運動や身体を動かす遊びをしていますか。（○は1つ）

- 子どもが身体を動かしているかどうかたずねたところ、「よくしている」が48.0%で最も高く、「時々している」が23.7%となっており、『している』が71.7%となっている。一方、『していない※』は11.3%となっている。

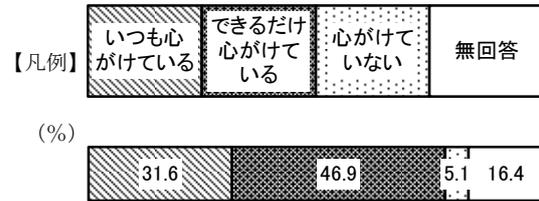


※「あまりしていない」「まったくしていない」の計

10-3 子どもの生活習慣

問52 お子さんは、早寝・早起きなど規則正しい生活習慣を心がけていますか。(○は1つ)

● 子どもが規則正しい生活習慣を心がけているかについては、「できるだけ心がけている」(46.9%)と「いつも心がけている」(31.6%)を合わせた『心がけている』は78.5%を占めている。一方、「心がけていない」は5.1%となっている。

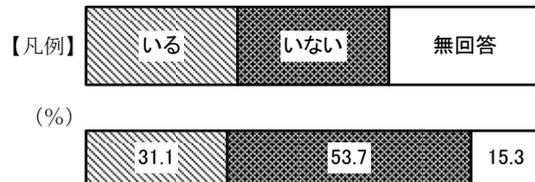


件数
177

10-4 家庭内喫煙者の有無

問53 家族にたばこを吸う人はいますか。(○は1つ)

● 家族に喫煙者がいるかどうかについては、「いる」が31.1%で、およそ3人に1人の割合となっている。

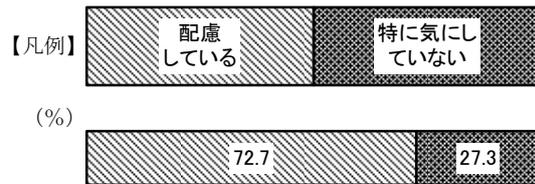


件数
177

10-5 子どもの受動喫煙への配慮

【問53で「いる」と答えた方に伺います】
問53-1 お子さんのいるところでたばこを吸わないよう(子どもが煙を吸わないよう)に配慮していますか。(○は1つ)

● 子どもがいるところでの喫煙に配慮しているかについては、「配慮している」が72.7%を占めているが、「特に気にしていない」も27.3%みられる。

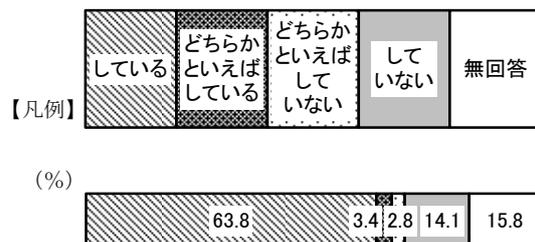


件数
55

10-6 子どもの飲酒

問54 お子さんには酒をすすめないようにしていますか。(○は1つ)

● 子どもに酒をすすめないようにしているかどうかをたずねたところ、『(すすめないように)している』※1が67.2%、『していない』※2は16.9%となっている。



件数
177

※1 「している」「どちらかといえばしている」の計
※2 「どちらかといえばしていない」「していない」の計

10-7 子どもの歯科健診

問55 お子さんを歯科医院の定期健診に連れて行っていますか。(○は1つ)

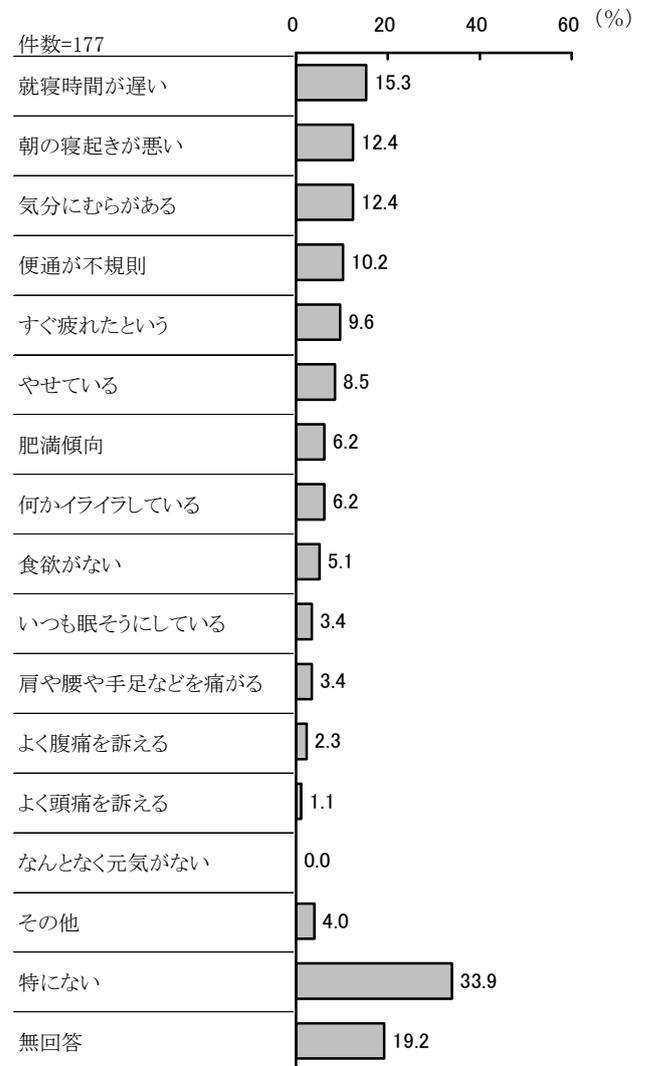
● 子どもを歯科医院の定期健診に連れて行っているかどうかたずねたところ、「はい(連れて行っている)」が52.5%と半数以上を占めている。一方、「いいえ(連れて行っていない)」は31.6%となっている。



10-8 子どもの様子で気になっていること

問56 お子さんの様子で、現在気になっていることは何ですか。(○はいくつでも)

● 子どもの様子で気になっていることがある人※は46.9%で、体的には「寝時間が遅い」が15.3%で最も高く、次いで「朝の寝起きが悪い」「気分がむらがある」が同率12.4%などとなっている。一方、「特にない」は33.9%となっている。



※全体から「特にない」「無回答」を除いた割合